

# 10 SRS エアバッグ・プリテンショナー

**注意事項** ..... 10 - 2

**取り扱い・作業上の注意** ..... 10 - 2

        一般的な注意事項 ..... 10 - 2

        スパイラルケーブル

            (コンビネーションスイッチ内蔵) ... 10 - 2

        センターエアバッグセンサー ASSY ..... 10 - 2

        ステアリングホイールパッド (運転席側エアバッグ)

            & パッセンジャーエアバッグ ASSY

                (助手席側エアバッグ) ... 10 - 3

        サイドエアバッグ ASSY ..... 10 - 4

        シートベルト ASSY (プリテンショナー) ..... 10 - 5

        ワイヤハーネス・コネクター ..... 10 - 5

        コネクターショート機構 ..... 10 - 5

        衝突などで損傷を受けた車両の処置 ..... 10 - 8

        注意事項 ..... 10 - 8

        SRS エアバッグの点検が必要なケース ..... 10 - 8

**SRS エアバッグ・**

**プリテンショナー付**

**シートベルト**... 10 - 9

準備品 ..... 10 - 9

部品配置図 ..... 10 - 10

回路図 ..... 10 - 10

トラブルシューティング ..... 10 - 13

    トラブルシューティングの進め方 ..... 10 - 13

    ダイアグノーシス点検 ..... 10 - 14

    フローチャートによるトラブルシューティング ..... 10 - 16

ステアリングホイール & パッド ..... 10 - 44

    脱着構成図 ..... 10 - 44

    ステアリングホイール & パッド

        取りはずし作業上の留意点... 10 - 44

    ステアリングホイール & パッド

        取り付け作業上の留意点... 10 - 45

パッセンジャーエアバッグ ASSY ..... 10 - 45

    脱着構成図 ..... 10 - 45

    パッセンジャーエアバッグ ASSY

        取りはずし作業上の留意点... 10 - 46

    パッセンジャーエアバッグ ASSY

        取り付け作業上の留意点... 10 - 46

スパイラルケーブル ..... 10 - 47

    脱着構成図 ..... 10 - 47

    スパイラルケーブル取り付け作業上の留意点... 10 - 47

センターエアバッグセンサー ASSY ..... 10 - 48

    脱着構成図 ..... 10 - 48

    センターエアバッグセンサー ASSY

        取りはずし作業上の留意点... 10 - 48

        センターエアバッグセンサー ASSY

            取り付け作業上の留意点... 10 - 49

    サイドエアバッグ ASSY ..... 10 - 49

        脱着構成図 ..... 10 - 49

        サイドエアバッグ ASSY 取りはずし作業上の留意点 ... 10 - 50

        サイドエアバッグ ASSY 取り付け作業上の留意点 ..... 10 - 50

    サイドエアバッグセンサー ASSY ..... 10 - 51

        脱着構成図 ..... 10 - 51

        サイドエアバッグセンサー ASSY

            取りはずし作業上の留意点... 10 - 51

        サイドエアバッグセンサー ASSY

            取り付け作業上の留意点... 10 - 52

単体点検 ..... 10 - 52

    スパイラルケーブル ..... 10 - 52

    センターおよびサイドエアバッグセンサー ASSY... 10 - 52

エアバッグ, シートエアバッグおよび

    プリテンショナー廃却時の注意... 10 - 53

    エアバッグ (ステアリングホイールパッドおよび

        パッセンジャーエアバッグ), シートエアバッグ

        およびプリテンショナー廃却時の注意... 10 - 53

エアバッグ

    (ステアリングホイールパッド) 廃却... 10 - 53

    エアバッグシステム装着車廃車時の展開要領 ..... 10 - 53

    ステアリングホイールパッド単品廃却時の展開要領 ... 10 - 54

    エアバッグ廃却要領 ..... 10 - 56

パッセンジャーエアバッグ ASSY

    (助手席側エアバッグ) 廃却... 10 - 56

    エアバッグシステム装着車を廃車する場合 ..... 10 - 56

    パッセンジャーエアバッグ ASSY

        単品廃却時の展開要領... 10 - 56

    パッセンジャーエアバッグ廃却要領 ..... 10 - 58

サイドエアバッグ廃却 ..... 10 - 58

    サイドエアバッグシステム装着車廃却時の展開要領 ... 10 - 58

    サイドエアバッグ単品廃却時の展開要領 ..... 10 - 59

    サイドエアバッグ廃却要領 ..... 10 - 60

プリテンショナー

    (シートベルト ASSY) 廃却... 10 - 60

    プリテンショナー装着車廃車時の展開要領 ..... 10 - 60

    プリテンショナー (シートベルト ASSY)

        単品廃却時の展開要領... 10 - 61

    プリテンショナー廃却要領 ..... 10 - 61

センターおよび

    サイドエアバッグセンサー ASSY 廃却... 10 - 62

## 注意事項

### 取り扱い・作業上の注意

エアバッグ・プリテンショナーシステムは正しい手順・方法で作業を実施しないと、作業中に誤作動し重大な事故につながるおそれがある。また、間違った修理を行うと、必要なときに作動しない可能性がある。エアバッグシステムのサービス（部品の脱着、点検、交換など）は次の事項をよく読み本書に記載された正しい手順・方法で作業を行う。

#### 全般的な注意事項

1. 作業は**ダイアグノーシスコードの確認を行った後、イグニッションスイッチを OFF (LOCK) し、バッテリーの ⊖ターミナルをはずした後、90 秒経過してから開始する。**
  - エアバッグシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーの ⊖ターミナルをはずしてから 90 秒経過しないうちに作業を開始するとエアバッグが展開する可能性がある。
  - バッテリーの ⊖ターミナルをはずすと、以下のシステムはメモリーが消去されるため作業前に各システムのメモリー内容を記録して作業後再セットする。  
〈参考〉 バッテリーの ⊖ターミナルをはずすとメモリーが消去されるもの。  
 クロック、ラジオ、トリップメーターなど
2. エアバッグシステムの電気的な点検にはトヨタエレクトリカルテスターを使用する。
3. 他の車両のエアバッグ・プリテンショナー部品は絶対に使用せず部品交換時は必ず新品を取り付ける。
4. エアバッグ・プリテンショナー部品を落下させたり、ケースやブラケット、コネクタにひび割れ、へこみ、欠けがある場合は新品と交換する。
5. エアバッグ・プリテンショナー部品は絶対に分解しない。
6. エアバッグ・プリテンショナー部品は高熱や火気に直接さらさない。
7. エアバッグ・プリテンショナーシステム周辺には注意事項を記載したラベルが貼付してあるので、これらの指示に従うとともに汚れ、破損がある場合は新品と交換する。

#### スパイラルケーブル (コンビネーションスイッチ内蔵) T0061569

1. **スパイラルケーブルを取り付ける場合は必ずセンター合わせを行う。**
  - 以下の作業を行い部品相互の位置関係が変わるとステアリングホイールを操作したときスパイラルケーブルが断線するおそれがあるので、スパイラルケーブルのセンター合わせ、切り離し部品のマーキングを行う。  
(「ステアリングホイール & パッド」参照)  
〈参考〉 スパイラルケーブルのセンター合わせ、切り離し部品のマーキングが必要な作業
  - (1) ステアリング関係  
 ステアリングホイール、ステアリングコラム、ステアリングインターミディエイトシャフトなど
  - (2) ボデー関係  
 インストルメントセーフティパッド
  - (3) ボデー電気関係  
 コンビネーションスイッチ

#### センターエアバッグセンサー ASSY

1. 衝突によりエアバッグが展開した場合必ずセンサー ASSY を交換する。
2. コネクタの脱着およびセンサー ASSY の脱着は、必ずバッテリーの ⊖ターミナルをはずした後、90 秒以上経過してから行う。

ステアリングホイールパッド (運転席側エアバッグ)  
& パッセンジャーエアバッグ ASSY  
(助手席側エアバッグ)

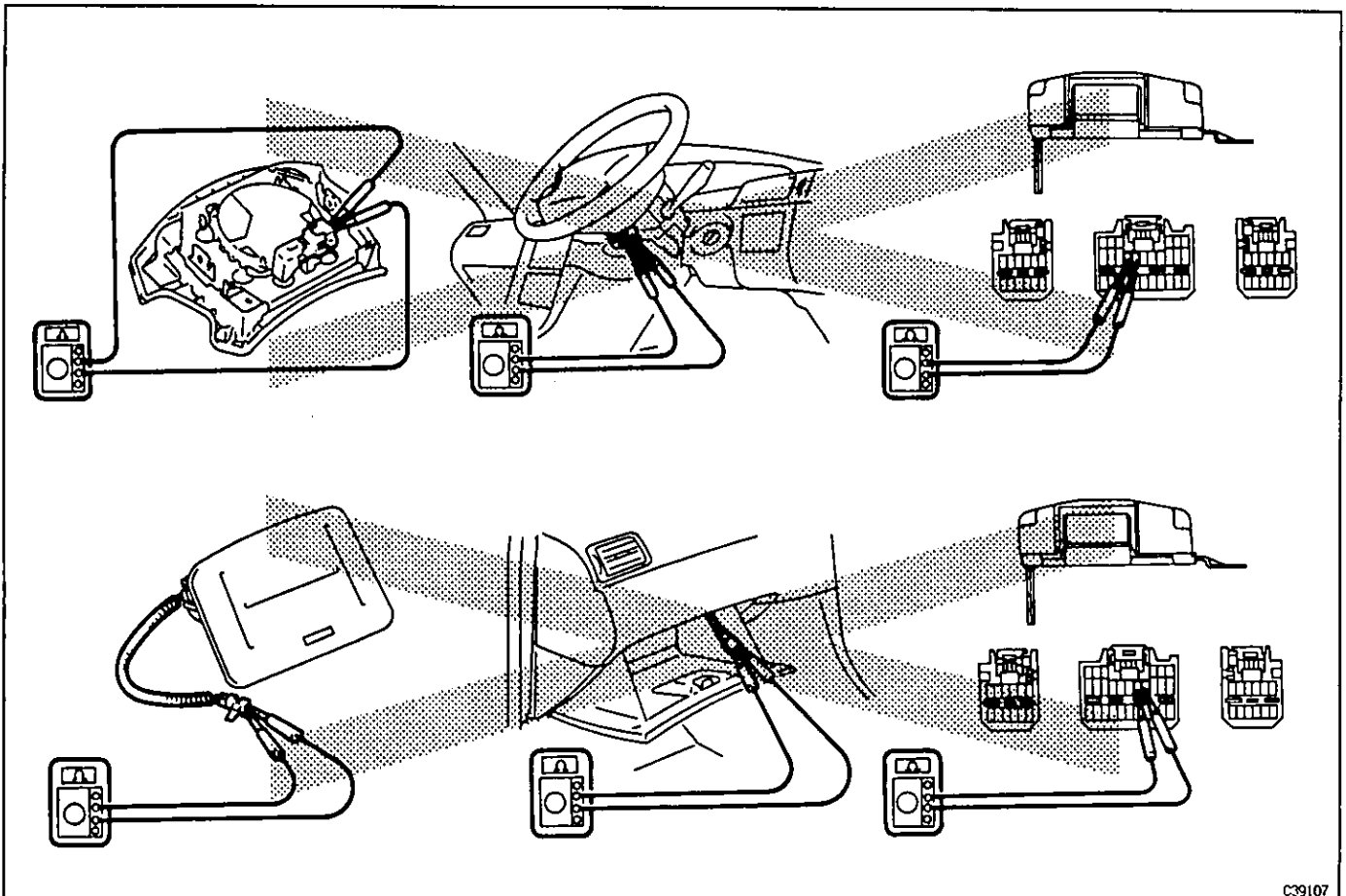
1. 作業時などパッドを一時的にでも取りはずす場合は、二重ロックタイプコネクターをロックし、必ずパッド面を上にして保管する。またパッドの上に物を置いたり、パッドの重ね置きをしない。  
○ 万一、何らかの原因でエアバッグが展開したとき、金属面が上を向いていると重大な事故につながるおそれがある。
2. ステアリングホイールパッドおよびパッセンジャーエアバッグの抵抗測定は絶対に行わない。  
○ テスターの電流によってエアバッグが展開する可能性があり大変危険である。
3. エアバッグが非展開の衝突時でもステアリングホイールパッドおよびパッセンジャーエアバッグの点検を実施する。

(「取扱い・作業上の注意」-「全般的な注意事項」参照)

4. エアバッグにグリース、洗浄剤、オイル、水などを付着させない。付着した場合は乾いた布などで速やかに拭き取る。
5. エアバッグは高温 (雰囲気温度 93°C 以上)、多湿を避けた、電気ノイズの影響を受けにくい場所で保管、取り扱いを行う。
6. 車両やステアリングホイールパッドおよびパッセンジャーエアバッグ ASSY 単品は SST を使用して、エアバッグを展開してから廃棄する。

(「エアバッグ (ステアリングホイールパッド) 廃却」参照)

(「パッセンジャーエアバッグ ASSY (助手席側エアバッグ) 廃却」参照)

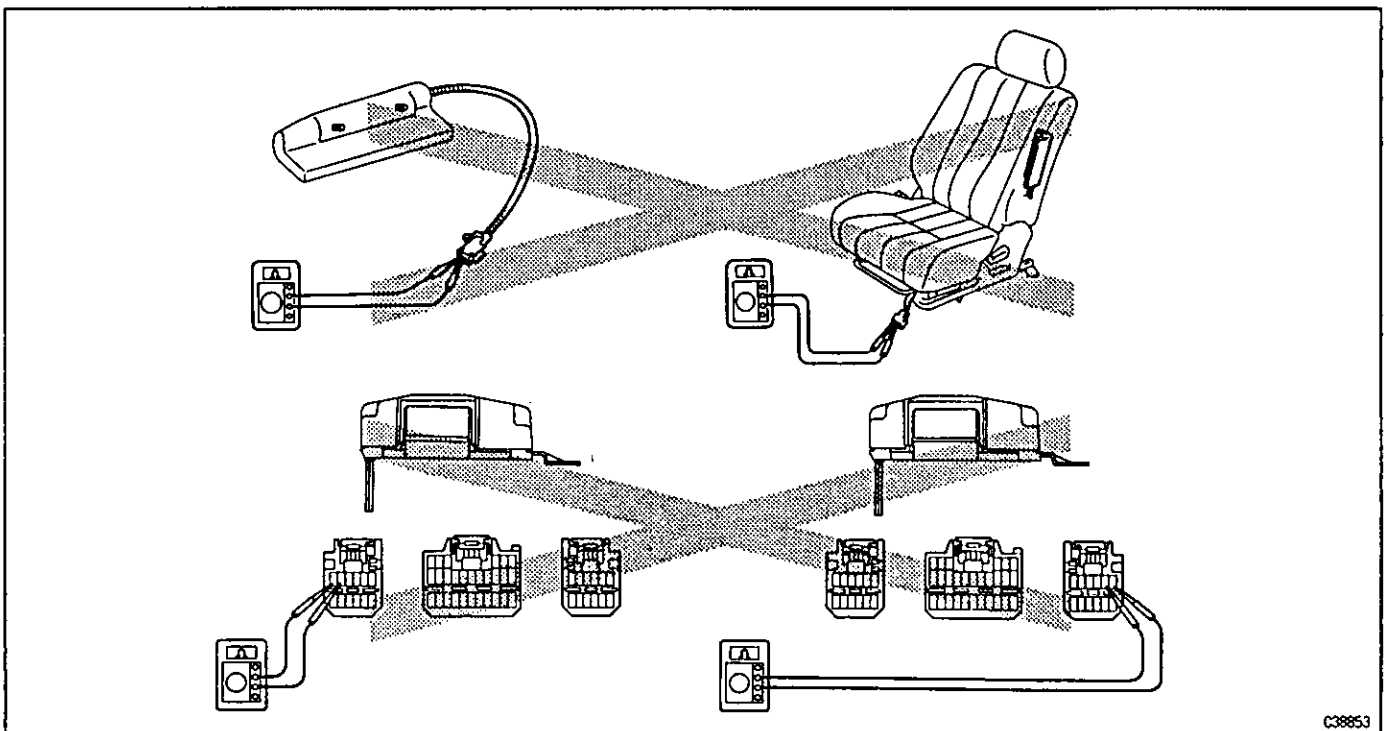


10

C39107

## サイドエアバッグ ASSY

1. サイドエアバッグの抵抗測定は絶対に行わない。  
○ テスターの電流によってエアバッグが展開する可能性があり大変危険である。
2. サイドエアバッグが非展開の衝突時でも点検を実施する。  
(「取扱い・作業上の注意」 - 「全般的な注意事項」参照)
3. サイドエアバッグにグリース、洗浄剤、オイル、水などを付着させない。付着した場合は乾いた布などで速やかに拭き取る。
4. サイドエアバッグは高温 (雰囲気温度 93°C 以上)、多湿を避けた、電気ノイズの影響を受けにくい場所で保管、取り扱いを行う。
5. 車両やサイドエアバッグ単品は SST を使用して、展開してから廃棄する。  
(「サイドエアバッグ廃却」参照)



C38653

## シートベルト ASSY (プリテンショナー)

## 1. プリテンショナーの抵抗測定は絶対に行わない。

○ テスターの電流によってプリテンショナーが展開する可能性があり危険である。

## 2. プリテンショナーが非展開の衝突時でもシートベルト ASSY の点検を実施する。

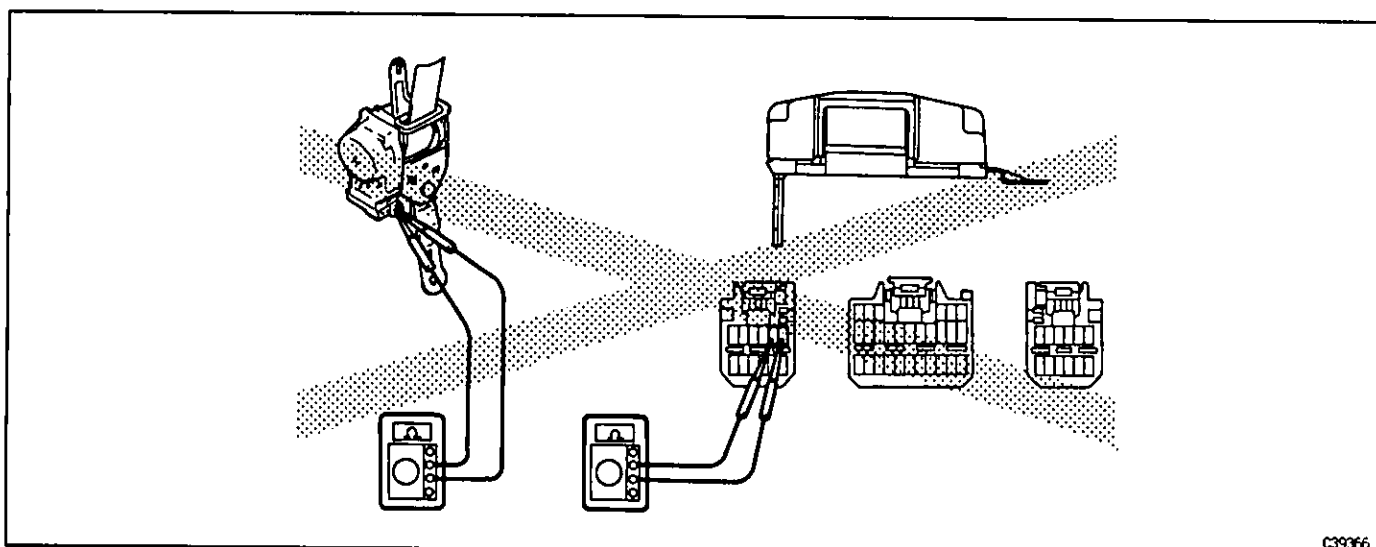
(「ボデー」—「フロント&リアシートベルト」—「フロントシートベルト」—「フロントシートベルト点検」参照)

## 3. プリテンショナーにグリース、洗浄剤、オイル、水などを付着させない。付着した場合は乾いた布などで速やかに拭き取る。

## 4. プリテンショナーは高温 (雰囲気温度 93°C 以上)、多湿を避けた、電気ノイズの影響を受けにくい場所で保管、取り扱いを行う。

## 5. 車両やシートベルト ASSY 単品は SST を使用して、プリテンショナーを展開してから廃棄する。

(「プリテンショナー (シートベルト ASSY) 廃却」参照)



C39366

10

## ワイヤハーネス・コネクタ

## 1. エアバッグシステムのワイヤハーネス・コネクタはエンジンルーム内の不出部分を除き、黄色で統一し他のシステムと区別してあるので取り扱いには十分注意する。

## 2. エアバッグシステムには特殊なコネクタが採用してあるので取り扱いには注意する。

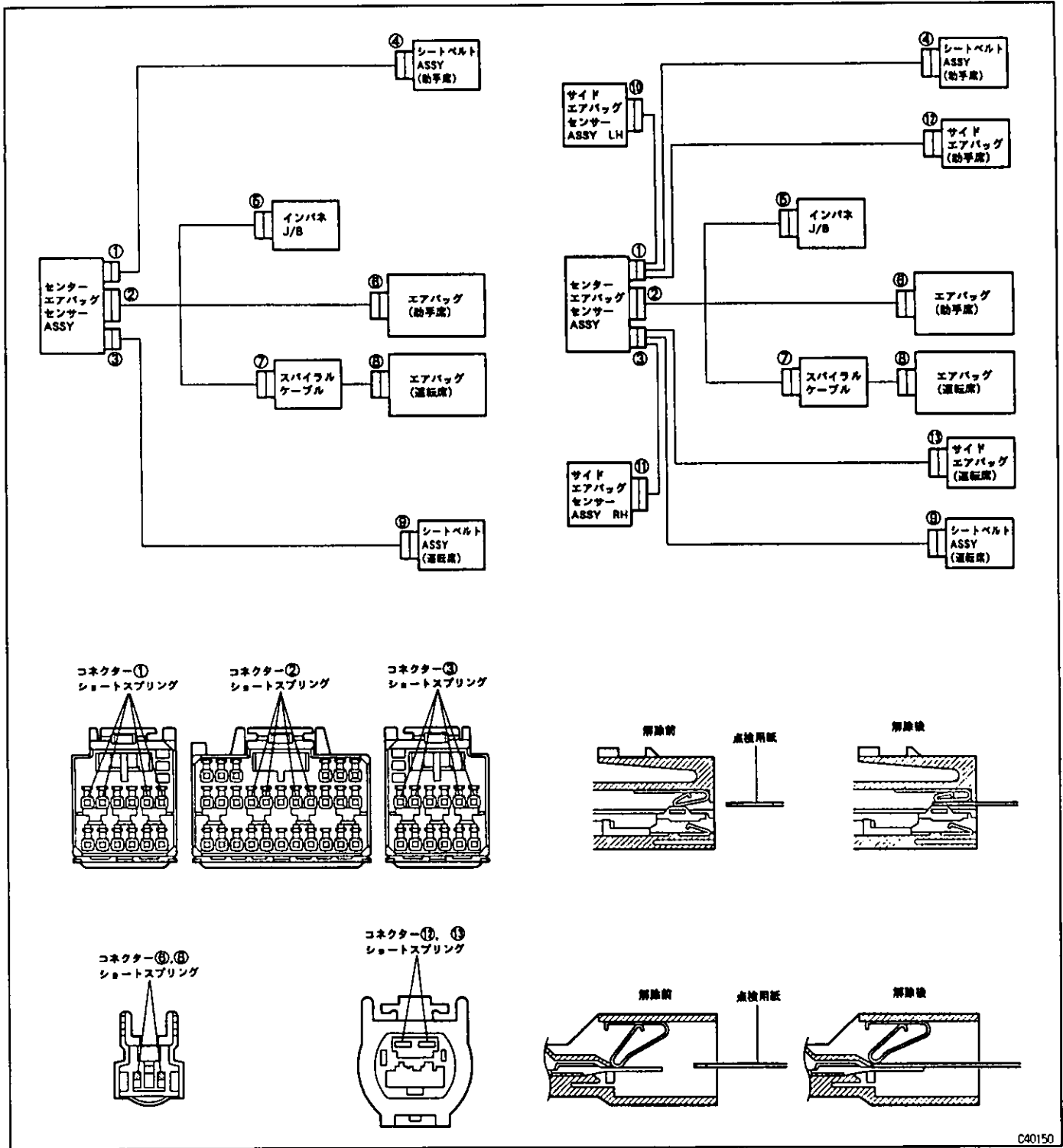
## コネクタショート機構

T0082890

**注意** ・トラブルシューティングで指示のない限りコネクタのショート機構を解除しない。

・厚すぎる紙を挿入すると、端子ショートスプリングを損傷するおそれがあるため、端子と同等の厚さの紙を使用する。

**参考** エアバッグシステムの点火回路のコネクタには静電気などによる誤爆防止のため、ショート機構付きコネクタが用いられコネクタを解放した状態では、エアバッグ側の端子が短絡する。

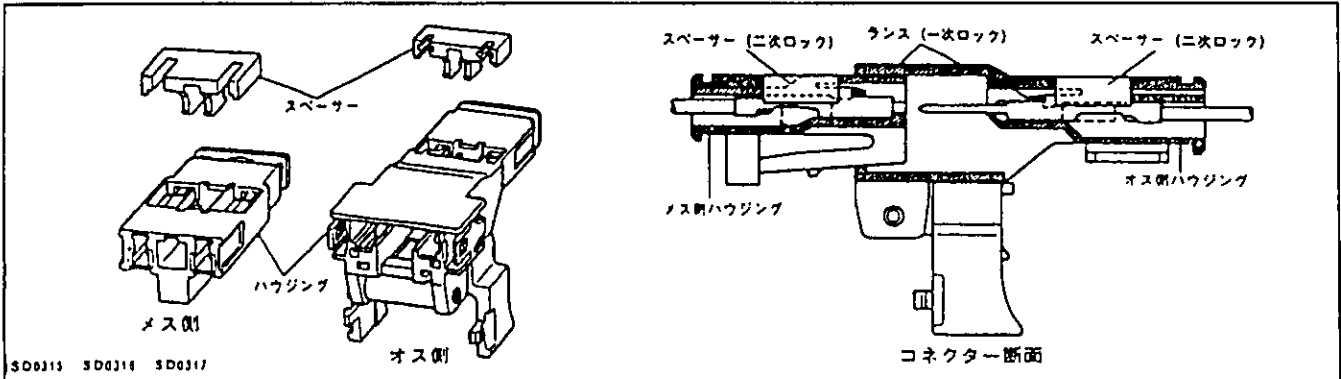


C40150

| 機構名          | 適用   |
|--------------|--|
| ターミナル二重ロック機構 | コネクタ-①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬ |
| ターミナルショート機構  | コネクタ-①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑧, ⑨, ⑫, ⑬          |
| 半かん合検出機構     | コネクタ-①, ②, ③                               |
| コネクタ二重ロック機構  | コネクタ-⑥, ⑦, ⑧, ⑩, ⑬                         |

(1) ターミナル二重ロック機構

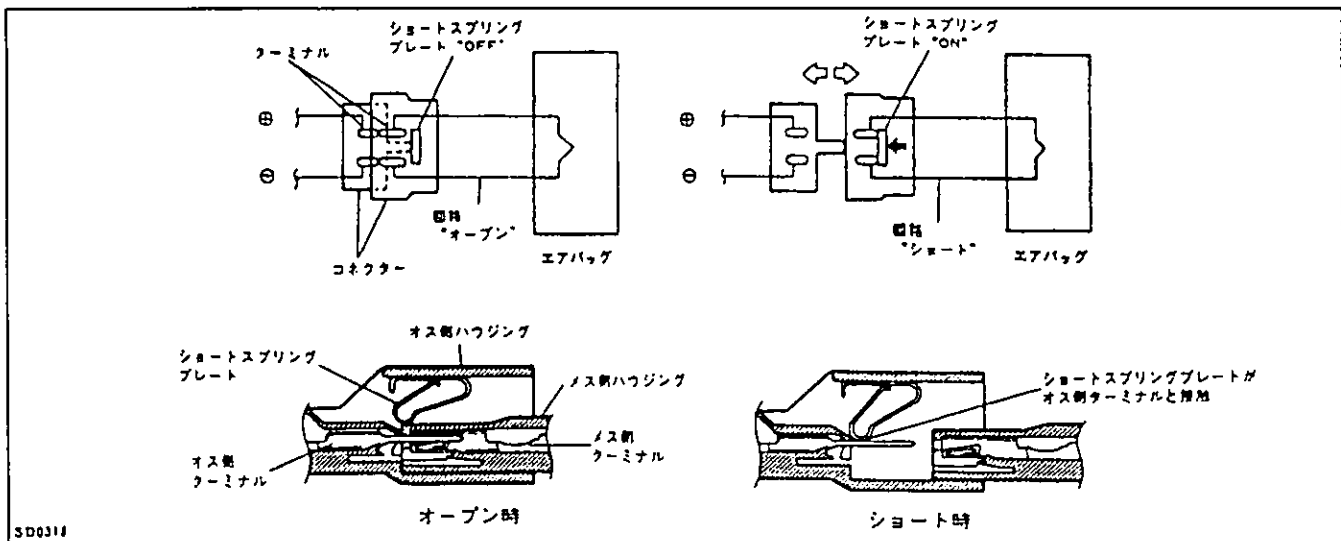
コネクタはハウジングとスペーサーの2ピース構造で、ターミナルの保持をランス（一次ロック）およびスペーサー（二次ロック）の二重で行う。これにより、ターミナル保持力を向上し、端子抜け防止をしている。



(2) ターミナルショート機構

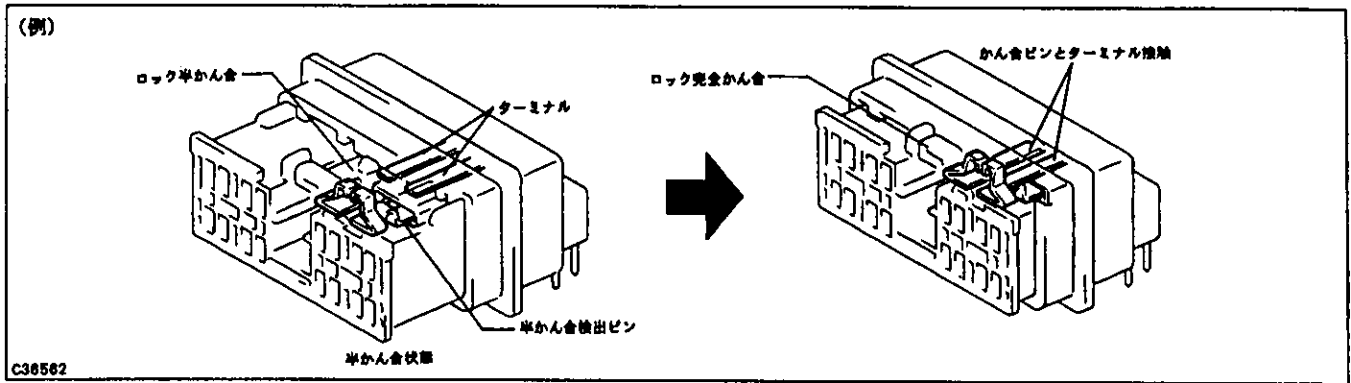
この機構は、整備作業上の誤爆を防止するためのもので、センターエアバッグセンサー ASSY とエアバッグ間のコネクタに設定されている。

コネクタ内部にはショートスプリングプレートが設けられており、コネクタをはずすと、エアバッグの電源側ターミナルとアース側ターミナルが自動的に短絡するため、エアバッグ側が閉回路（両ターミナル間に電位差が発生しない）となる。



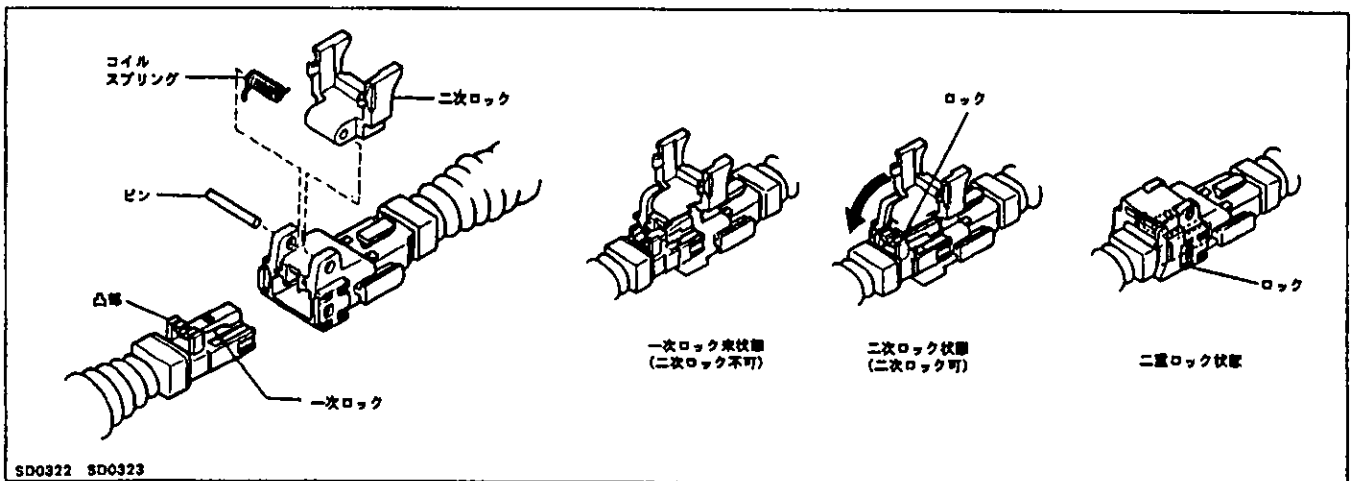
(3) 半かん合検出機構

この機構は、コネクタが確実に接続されているかどうか電気的に検出する機構です。コネクタが完全かん合すると接続されるかん合検出ピンを使用し、センサーのインプット側とアウトプット側を直列に接続することにより、センターエアバッグセンサー ASSY（コンピューター）に電流を流し、半かん合状態を検出している。コネクタ内壁に傾斜部が設定されており、コネクタ接続時、かん合検出ピンはこれに沿って差し込まれる。そしてコネクタが完全に差し込まれると、かん合検出ピンは傾斜部からはずれてターミナルに接触する構造となっている。



#### (4) コネクター二重ロック機構

この機構は、点火用ワイヤハーネスのコネクターに用いられており、コネクター同士（オス、メス）を二重でロックすることで接続の信頼性を向上させている。一次ロックがされていないと、凸部が邪魔をして二次ロックができない構造となっている。



JB4042

T0082861

## 衝突などで損傷を受けた車両の処置

### 注意事項

1. 電気式の溶接機を使用する場合は、エアバッグを取りはずしてから作業を行う。
2. センサーに衝撃が加わる可能性がある場合は事前にセンサーを取りはずす。
3. センサーを高温にさらさない。

## SRS エアバッグの点検が必要なケース

T0082863

(参考) 次の場合は、SRS エアバッグシステムの各構成部品の点検を行う。



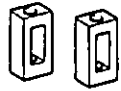
- 1 エアバッグ非展開の軽微なものも含め、衝突などで車両が損傷した場合
- 2 ダイグノーシスコードが出力された場合

SRS エアバッグ・

プリテンショナー付  
シートベルト

準備品


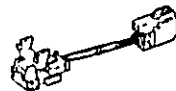
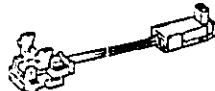
SST

|   |               |          |                  |
|---|---------------|----------|------------------|
|  | 09950-50010   | ブラーCセット  |                  |
|  | (09951-05010) | ハンガー 150 | ステアリングホイール取りはずし用 |
|  | (09952-05010) | スライドアーム  | ステアリングホイール取りはずし用 |
| センターボルト150<br>09953-04020   |               |          | ステアリングホイール取りはずし用 |
| ***   |               | 標準       | ステアリングホイール取りはずし用 |

工具

|                                  |       |  |   |
|----------------------------------|-------|--|---|
| トルクスソケットレンチ (T30)<br>09042-00010 | 70019 |  | ステアリングホイールパッド脱着用                              |
| トルクスソケットレンチ (T40)<br>09042-00020 | 70020 |  | ・センターエアバッグ ASSY 脱着用<br>・サイドエアバッグセンサー ASSY 脱着用 |

計器

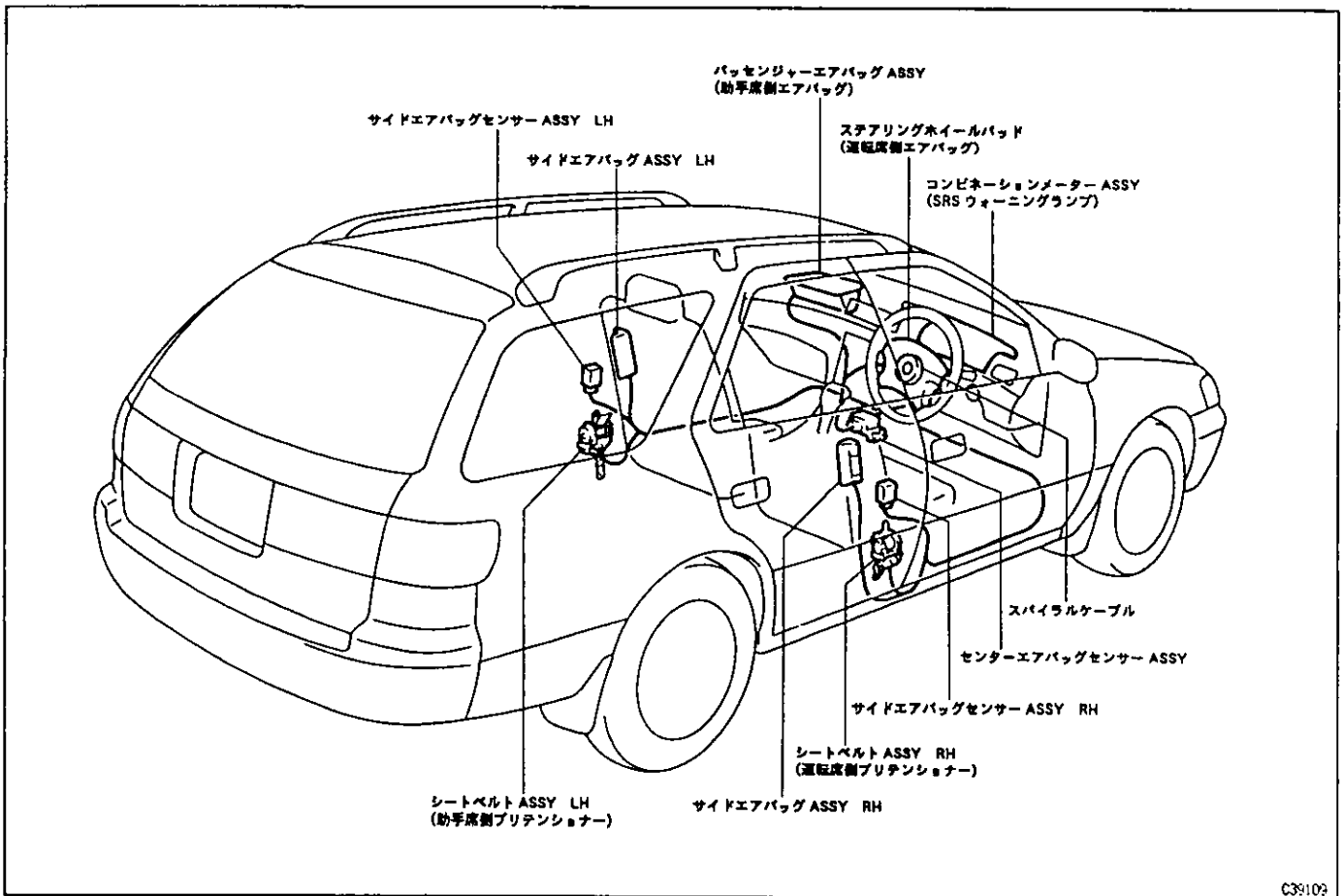
|   |             |                             |                                  |
|---|-------------|-----------------------------|----------------------------------|
| トヨタ電気カルテスター<br>09082-00012  | 70029       |                             | 各部位検用                            |
| ミニテスリード<br>09083-00060  | 70240       |                             | 各部位検用                            |
|  | 09082-00710 | エアバックディプロイメント<br>ワイヤ        | エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテン<br>ショナー廃却用 |
|  | 09082-00730 | エアバックディプロイメント<br>ワイヤサブハーネス1 | サイドエアバッグ廃却用                      |
|  | 09082-00740 | エアバックディプロイメント<br>ワイヤ2       | プリテンショナー廃却用                      |
| ダイアグノーシスチェックワイヤ<br>09843-18020  | 70258       |                             | ダイアグノーシス点検用                      |
| トヨタダイアグノーシスリーダーセット<br>09991-50100   | 70244       |                             | ダイアグノーシス点検用                      |

|  |       |                               |
|--|-------|-------------------------------|
| プログラム IC カード EGS 3<br>09991-50320          | 70243 | ダイアグノーシス点検用                   |
| 油脂・その他                                     |       |                               |
| 保護めがね, 手袋, ビニール袋                           | 72000 | エアバッグ, サイドエアバッグおよびプリテンショナー廃却用 |
| ワイヤハーネス (芯線断面積 1.25mm <sup>2</sup> )       | 52010 | エアバッグおよびサイドエアバッグ廃却用           |
| ボルト 2本 (首下長さ 35mm以上, ピッチ 1.0mm, 呼び径 6.0mm) | 54807 | エアバッグ (運転席側) 廃却用              |
| 自動車用 12V バッテリー                             | 52506 | エアバッグ, サイドエアバッグおよびプリテンショナー廃却用 |
| ディスクホイール付きタイヤ 2本, タイヤ 3本                   | 55003 | エアバッグ (運転席側) 廃却用              |
| ディスクホイール付きタイヤ 1本, タイヤ 4本                   | 55004 | エアバッグ (助手席側) およびサイドエアバッグ廃却用   |
| ホイール付きタイヤ 1本 (タイヤ幅 185mm程度)                | 55006 | プリテンショナー廃却用                   |

部品配置図

10092642

10

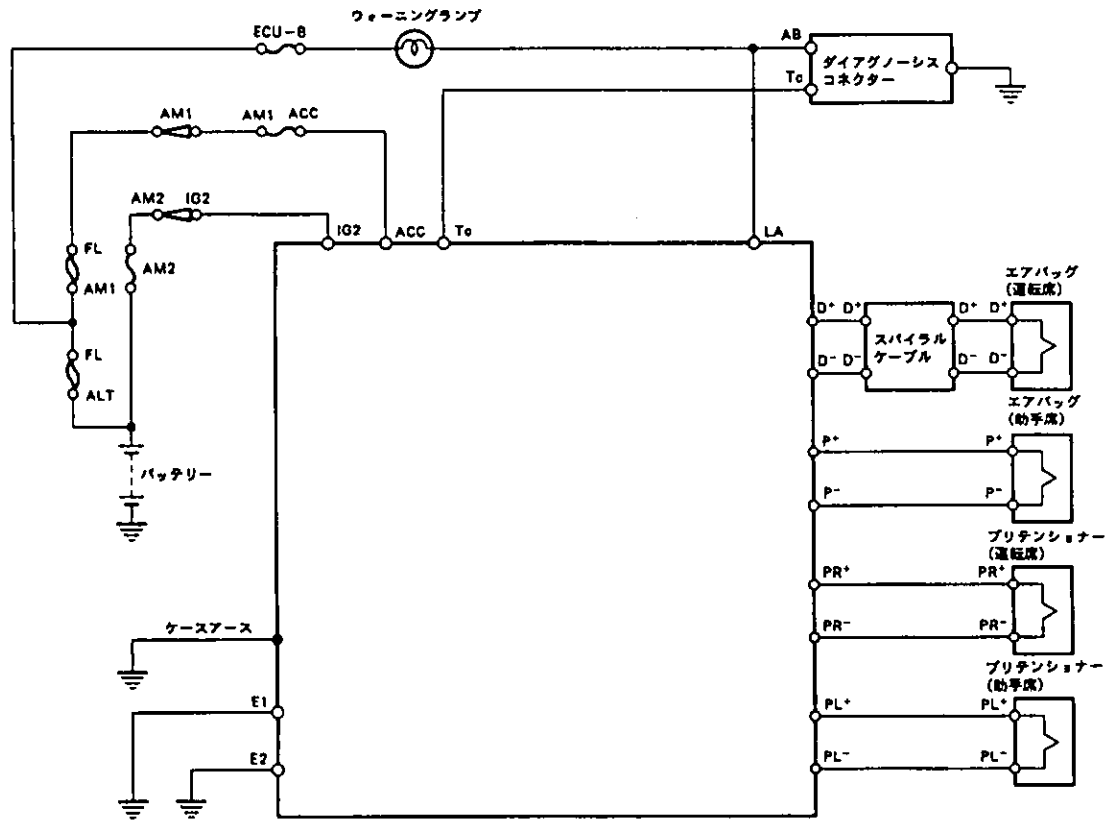


C39102

回路図

T0052944

サイドエアバッグ無し車



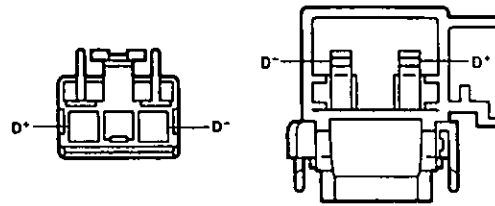
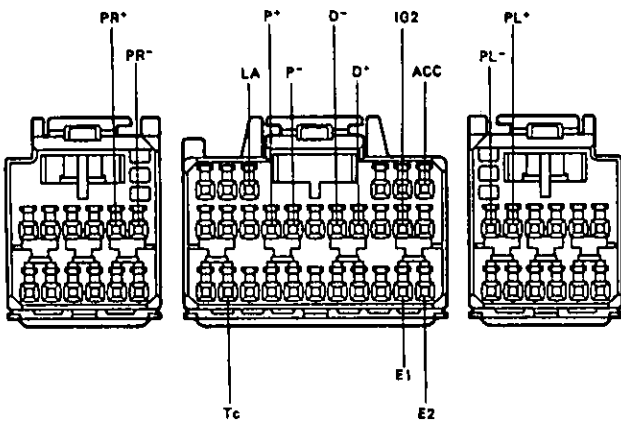
センターエアバッグセンサー ASSY

スパイラルケーブル

センターエアバッグセンサー ASSY

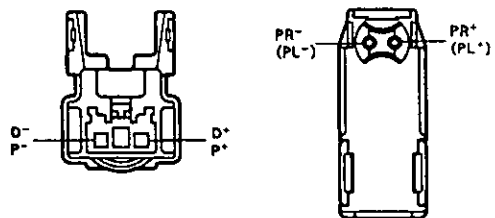
(エアバッグ側)

(センターエアバッグセンサー ASSY 側)



エアバッグ

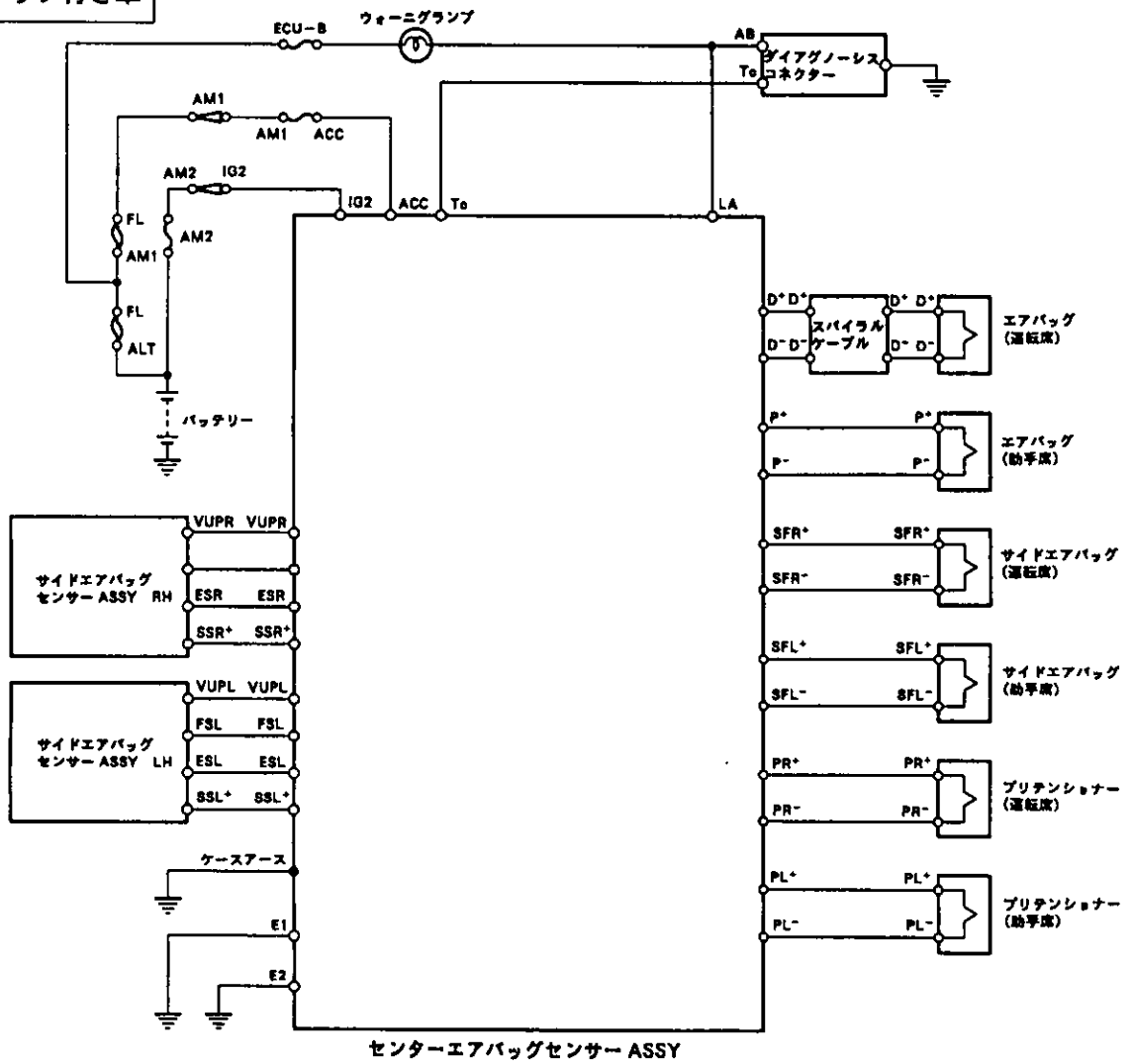
プリテンショナー



10

C40145

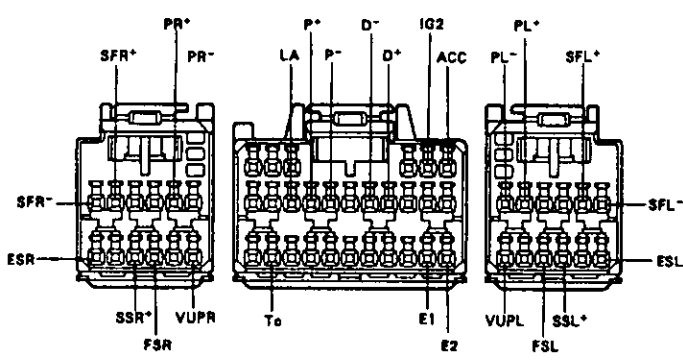
サイドエアバッグ付き車



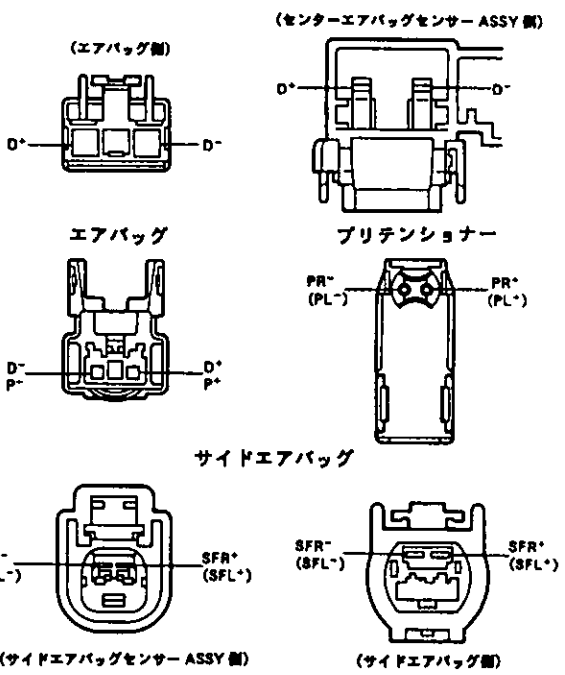
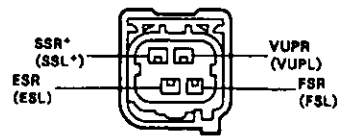
10

センターエアバッグセンサー ASSY

スパイラルケーブル



サイドエアバッグセンサー ASSY

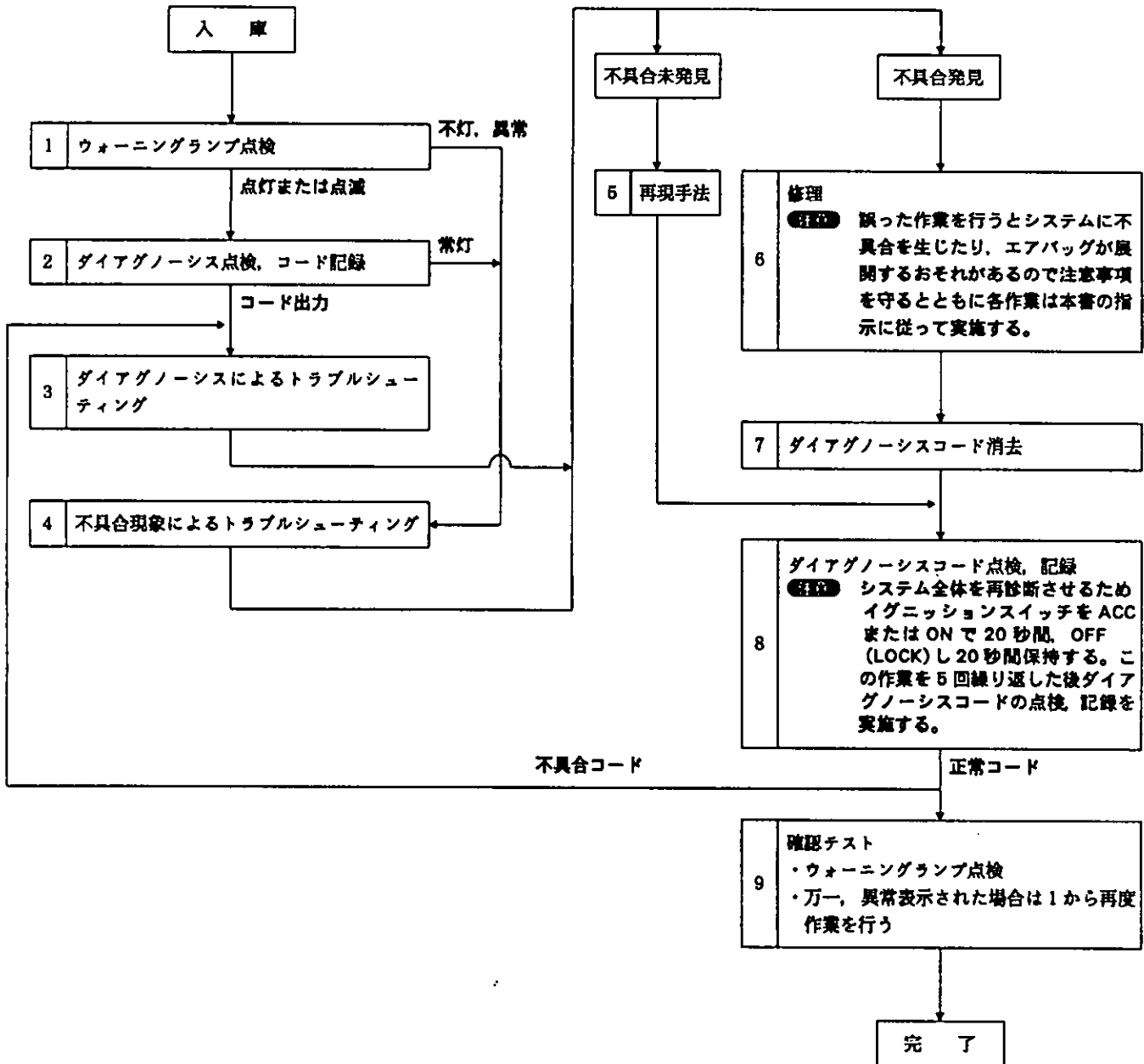


# トラブルシューティング

## トラブルシューティングの進め方

効率よく正確なトラブルシューティングを行うため、次の手順に従って作業を実施する。

**注意** 不具合状況を的確に判断するために必ず作業前にダイアグノーシス点検を実施する。

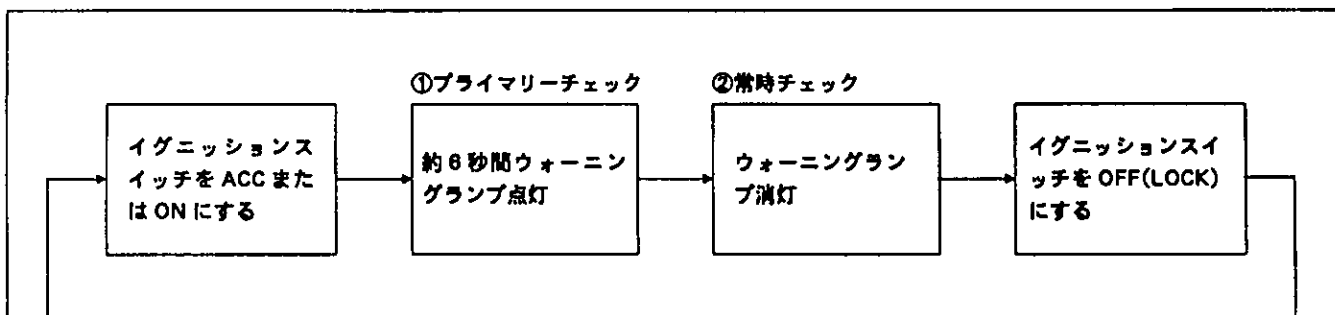


10

## ダイアグノーシス点検

(参考) エアバッグシステムのダイアグノーシスについて

- ・センターエアバッグセンサー ASSY は自己診断装置を有しているが、診断機能は以下のように①プライマリーチェック、②常時チェックの2つの期間に分けて作動する。



### ① プライマリーチェック

- ・バッテリー接続後2秒以上経過している場合にのみイグニッションスイッチをACCまたはONにしてから、約6秒間ウォーニングランプを点灯し診断を行う。

**注意** バッテリー接続時イグニッションスイッチをOFF (LOCK) しておく。

- ・プライマリーチェックではセンターエアバッグセンサー ASSY 内のセンターエアバッグセンサー、点火判定回路の診断などを行う。
- ・万一、プライマリーチェックで不具合が発見されると、6秒経過後もウォーニングランプは点灯または点滅する。

### ② 常時チェック

- ・プライマリーチェックが終了（6秒経過後ウォーニングランプが消灯）すると、センターエアバッグセンサー ASSY はシステムを点火可能状態にするとともに、システムに異常がないかを常時監視する。

- ・万一、常時チェックで不具合が検出されると、センターエアバッグセンサー ASSY は以下のように作動する。

(a) ウォーニングランプが点灯または点滅……不具合コードが検出された場合で、ウォーニングランプを点灯または点滅する。

(b) ウォーニングランプが点灯して消灯する…電源電圧が低下したときウォーニングランプが点灯し、その後電圧が正常に復帰すると10秒後にウォーニングランプを消灯する。

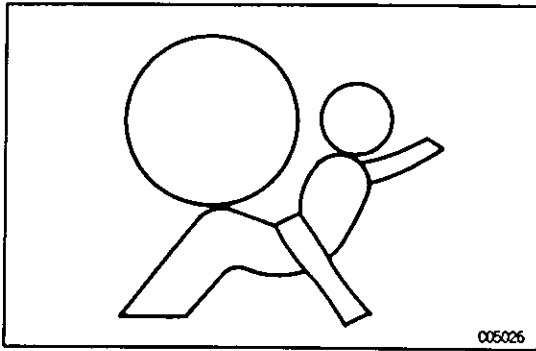
### まとめ

#### システムが正常な場合

プライマリーチェック期間（イグニッションスイッチをACCまたはONにしてから、約6秒間）のみウォーニングランプが点灯する。

#### システムに異常が発生している場合

- プライマリーチェック期間を過ぎてもウォーニングランプが点灯または点滅する。
- プライマリーチェック期間を過ぎて一度消灯して再度ウォーニングランプが点灯または点滅する。
- ランプ切れなどによるウォーニングランプ不灯。

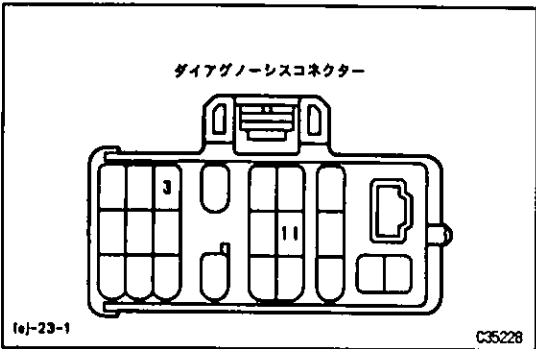


005026

1 ウォーニングランプ点検

- (1) イグニッションスイッチを ACC または ON にしたとき、ウォーニングランプが点灯することを確認する。
  - (2) 約6秒経過するとウォーニングランプが消灯することを確認する。
- (参考)
- ・イグニッションスイッチを ACC または ON にしたとき、ウォーニングランプが点灯したままの場合はエアバッグシステムに不具合が発生している。
  - ・約6秒経過後もウォーニングランプがときどき点灯したり、イグニッションスイッチが OFF (LOCK) でも点灯する場合はウォーニングランプシステムのショートが考えられる。

2 ダイアグノーシスコード読み取り



6j-23-1

C35228

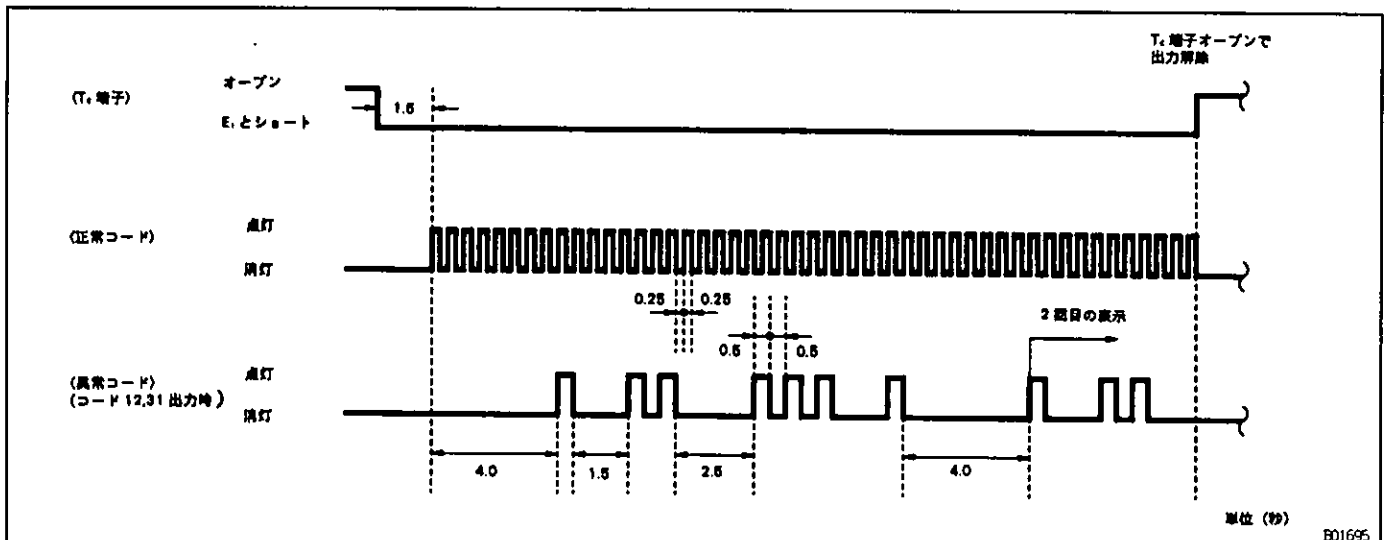
ウォーニングランプによる読み取り

- (1) イグニッションスイッチを ACC または ON にして、20秒間待機する。
  - (参考) センターエアバッグセンサー ASSY がシステムの自己診断を完了するのに約20秒かかる。
  - (2) ダイアグノーシスコネクターの 11 (T<sub>c</sub>) ↔ 3 (E<sub>1</sub>) 端子間を短絡し、ウォーニングランプの点滅回数を読み取る。
  - (参考)
    - ・ダイアグノーシスコードが複数ある場合には、数字の小さい順に出力し、全コード出力後2回目の表示を行う。
    - ・ダイアグノーシスコード
- (「フローチャートによるトラブルシューティング」参照)

トヨタダイアグノーシスリーダーによる読み取り

- (1) トヨタダイアグノーシスリーダーを使用して、ダイアグノーシスコードを読みとる。
  - ・エンジンシステムコード
- 1MZ-FE, 2MZ-FE, 5S-FE……805

10



単位 (秒)

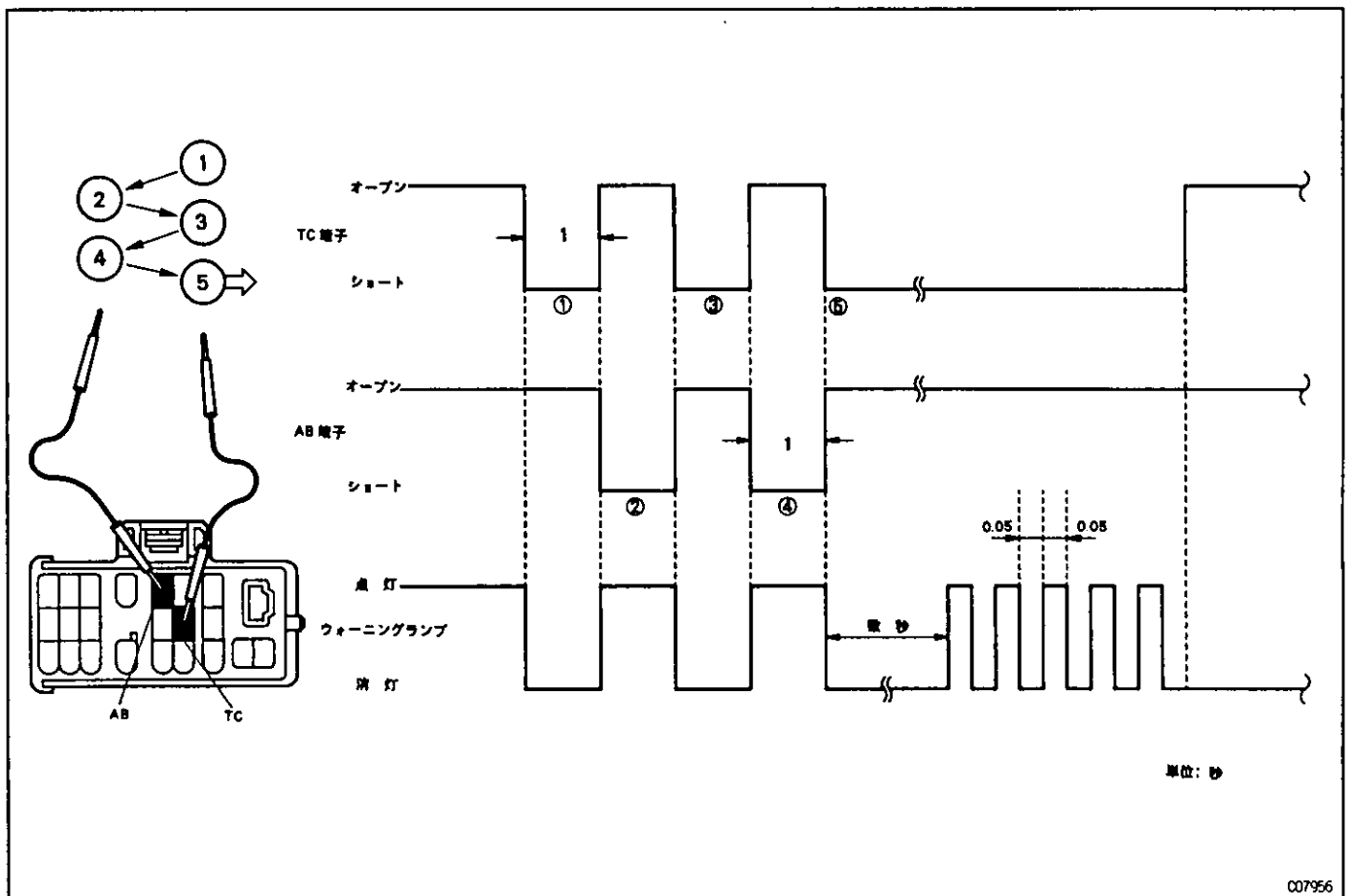
B01695

3 ダイアグノーシスコード消去

- (1) イグニッションスイッチを OFF (LOCK) にする。
- (2) ダイアグノーシスコネクターの T<sub>c</sub> および AB 端子にそれぞれリード線を接続する。
- (3) イグニッションスイッチを ACC または ON にして約 6 秒待機する。
- (4) 図のように 1 秒周期で T<sub>c</sub> および AB 端子を交互にボデーアースする。
- (5) ウォーニングランプがこまかく点灯 (消去完了コード) することを確認する。

〈参考〉 ・ T<sub>c</sub> 端子と AB 端子を交互にアースするとき、一方のアースを解除するすると同時に他方をアースする。

・ 消去完了コードが出力されない場合は、再度行う。

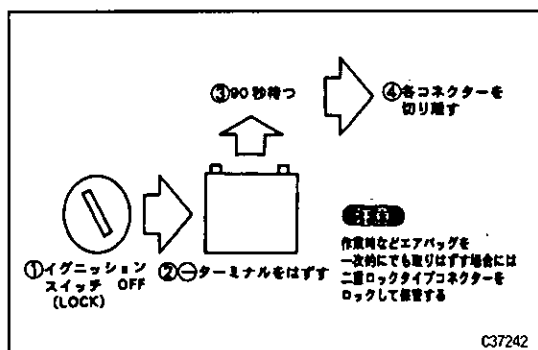


C07956

フローチャートによるトラブルシューティング

点検前準備

**注意** トラブルシューティングを行うとき、短絡、電圧および抵抗測定の場合はコネクターの W/H 側から測定する。



C37242

ダイアグノーシスコードおよび不具合現象一覧表

**注意** 不具合現象を把握した後、該当するフローチャートに従って点検する。

1 フローチャートの見方

- ◇ ……作業する項目
- ……点検する項目
- ……不具合要因

| 項目                      | ダイアグノーシスコード |      | 診断内容  | 該当フローチャート |
|-------------------------|-------------|------|---|-----------|
|                         | 運転席側        | 助手席側 |   |           |
| ダイアグノーシスコード別トラブルシューティング | 11          | —    | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (運転席側) 間がアースと短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY 内のセンターエアバッグセンサーが常時 ON している。         | 1         |
|                         | 12          | —    | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (運転席側) 間 W/H が電源と短絡している。  | 2         |
|                         | 13          | —    | ・エアバッグ (運転席側) 内で点火装置が短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (運転席側) 間 W/H が短絡している。                           | 3         |
|                         | 14          | —    | ・エアバッグ (運転席側) 内で点火装置が断線している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (運転席側) 間 W/H が断線している。                           | 4         |
|                         | 31          | —    | ・センターエアバッグセンサー内部が故障している。  | 5         |
|                         | 32          | 33   | ・サイドエアバッグセンサー ASSY 内部が故障している。   | 6         |
|                         | 41          | 45   | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ サイドエアバッグ間 W/H がアースと短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY 内のセンターエアバッグセンサーが常時 ON している。         | 7         |
|                         | 42          | 46   | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ サイドエアバッグ間 W/H が電源と短絡している。   | 8         |
|                         | 43          | 47   | ・サイドエアバッグ内で点火装置が短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ サイドエアバッグ間 W/H が短絡している。                                     | 9         |
|                         | 44          | 48   | ・サイドエアバッグ内で点火装置が断線している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ サイドエアバッグ間 W/H が断線している。                                     | 10        |
|                         | —           | 51   | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (助手席側) 間 W/H がアースと短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY 内のセンターエアバッグセンサーが常時 ON している。    | 11        |
|                         | —           | 52   | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (助手席側) 間 W/H が電源と短絡している。  | 12        |
|                         | —           | 53   | ・エアバッグ (助手席側) 内で点火装置が短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (助手席側) 間 W/H が短絡している。                           | 13        |
|                         | —           | 54   | ・エアバッグ (助手席側) 内で点火装置が断線している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ エアバッグ (助手席側) 間 W/H が断線している。                           | 14        |
|                         | 61          | 71   | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ プリテンショナー (運転席側) 間 W/H がアースと短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY 内のセンターエアバッグセンサーが常時 ON している。 | 15        |
|                         | 62          | 72   | ・センターエアバッグセンサー ASSY ~ プリテンショナー間 W/H が電源と短絡している。   | 16        |
|                         | 63          | 73   | ・プリテンショナー内で点火装置が短絡している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ プリテンショナー間 W/H が短絡している。                                     | 17        |
|                         | 64          | 74   | ・プリテンショナー内で点火装置が断線している。<br>・センターエアバッグセンサー ASSY ~ プリテンショナー間 W/H が断線している。                                     | 18        |

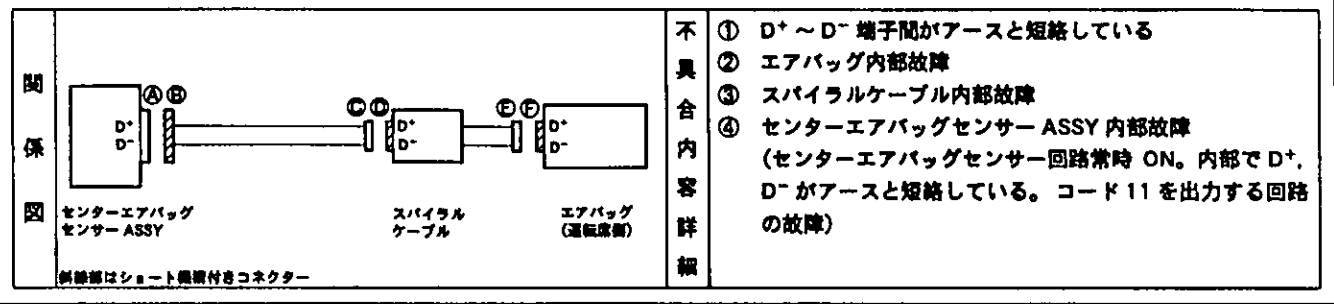
10

| 項目         | 不 具 合 現 象                                     | 点 検 部 位                | 該当フローチャート |
|------------|---|------------------------|-----------|
| 不具合現象別トラブル | ・ウォーニングランプが点灯したがダイアグノーシスコードが正常表示する。           | 電源電圧系統                 | 19        |
|            | ・ウォーニングランプがでたらめ表示する。                          | センターエアバッグセンサー ASSY 交換  | —         |
|            | ・IG スイッチ OFF 時ウォーニングランプが常灯する。                 | ウォーニングランプ系統            | 20        |
|            | ・IG スイッチを ACC または ON にしてもウォーニングランプが点灯。        |                        | 21        |
|            | ・ダイアグノーシスコードが表示されない。<br>・ダイアグノーシスコードが常時出力される。 | ダイアグノーシスコネクターの Tc 端子系統 | 22        |

1      **ダイアグ 11**      **点火回路（アース短絡）**

**解説**

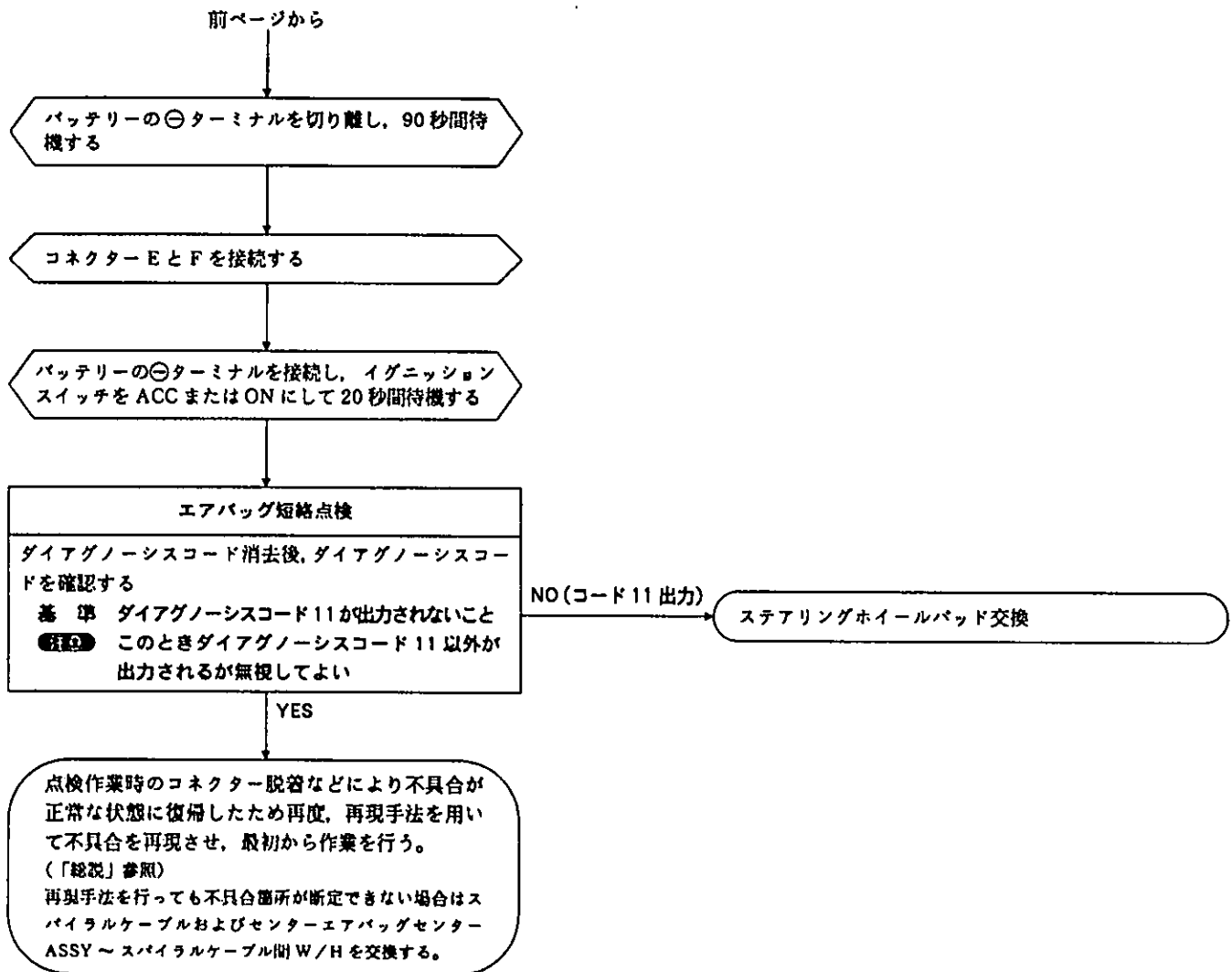
・点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル（コンビネーションスイッチ内蔵）、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火（展開）信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。  
 ・コード "11" を記憶したとき、以下のフローチャートに従って点検を行っても不具合箇所が断定できない場合は、エアバッグ関連部品（ワイヤハーネスも含む）を全て交換する。



```

    graph TD
        Start([コネクタ A と B, E と F を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ E 間短絡点検  
コネクタ E の D+, D- 端子 ~ ボデーアース間の抵抗値を確認する  
基準値 1MΩ以上]
        Step1 -- YES --> Step2([コネクタ A と B を接続する])
        Step1 -- NO --> Step3([コネクタ C と D を切り離す])
        Step2 --> Step4([コネクタ E の D+, D- 端子間を短絡させる])
        Step4 --> Step5([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
        Step5 --> Step6[センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 11 が出力されないこと  
注意 このときダイアグノーシスコード 11 以外が出力されるが無視してよい]
        Step6 -- YES --> End1([次のページへ])
        Step6 -- NO(コード 11 出力) --> Step7([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
        Step3 --> Step8[コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検  
コネクタ B の D+, D- 端子 ~ ボデーアース間の抵抗値を確認する  
基準値 1MΩ以上]
        Step8 -- YES --> Step6
        Step8 -- NO --> Step9([ワイヤハーネス(B ~ C 間)、コネクタ B および C の修理または交換])
        Step9 --> Step10[スパイラルケーブル短絡点検  
コネクタ E の D+, D- 端子 ~ ボデーアース間の抵抗値を確認する  
基準値 1MΩ以上]
        Step10 -- YES --> Step6
        Step10 -- NO --> Step11([スパイラルケーブル交換])
        Step11 --> Step12([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。〔解説〕参照  
再現手法を行っても不具合箇所が断定できない場合はスパイラルケーブルおよびセンターエアバッグセンサー ASSY ~ スパイラルケーブル間 W/H を交換する。])
    
```

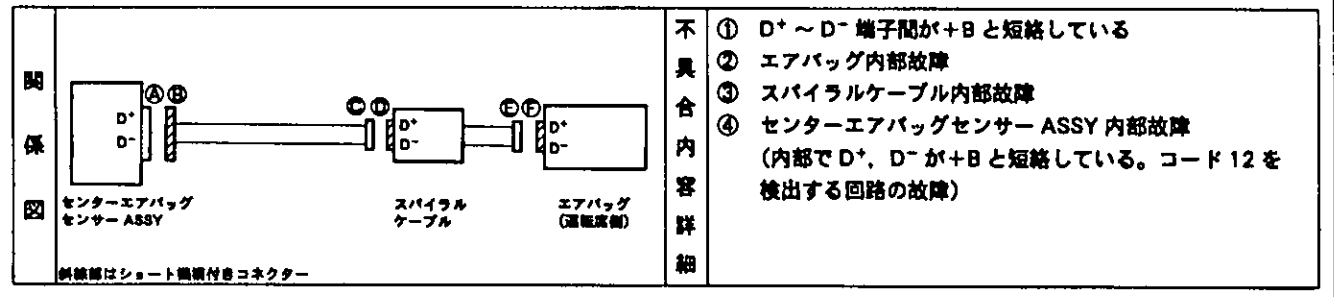
10



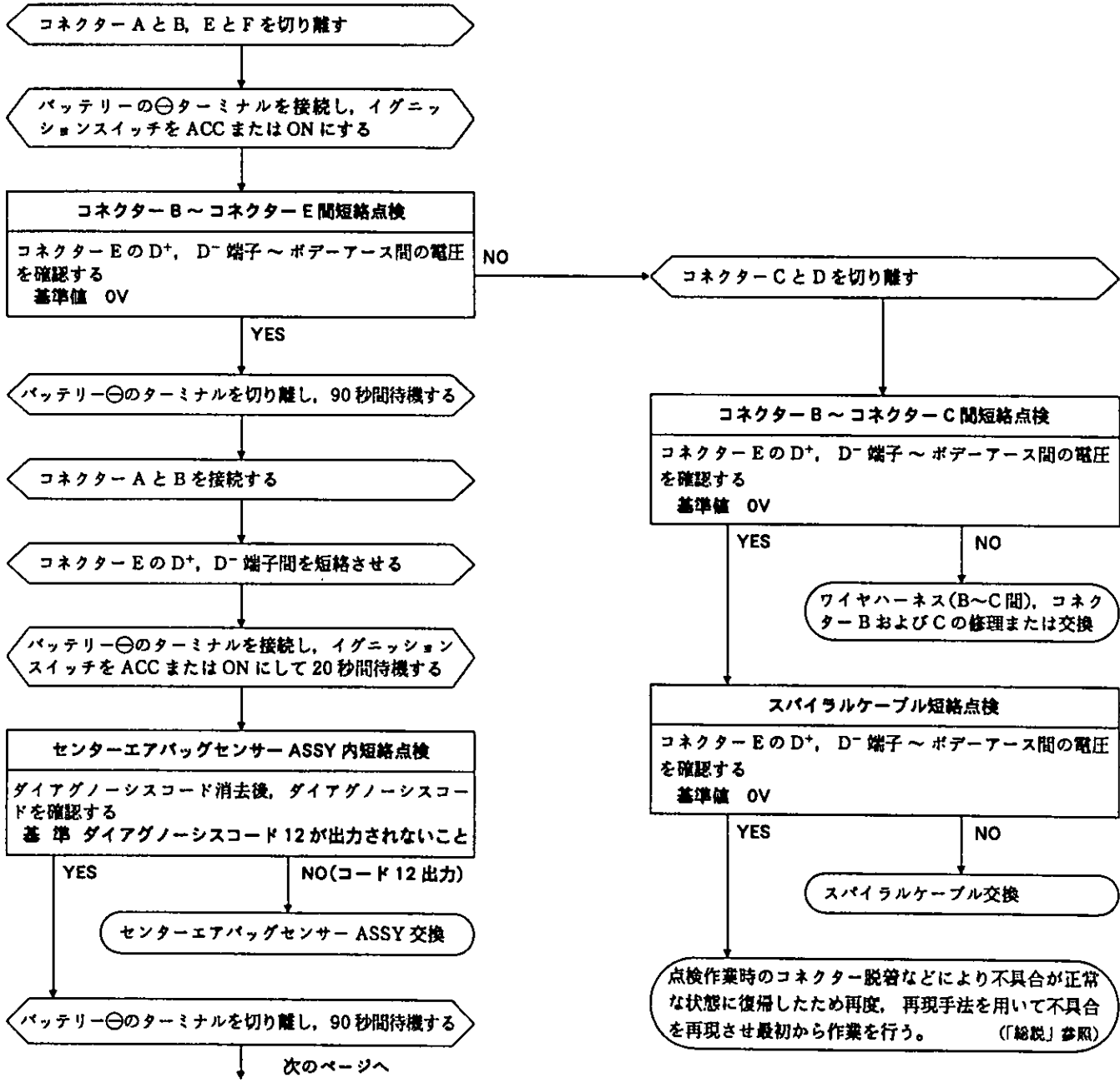
|   |         |               |
|---|---------|---------------|
| 2 | ダイアグ 12 | 点火回路 (+B と短絡) |
|---|---------|---------------|

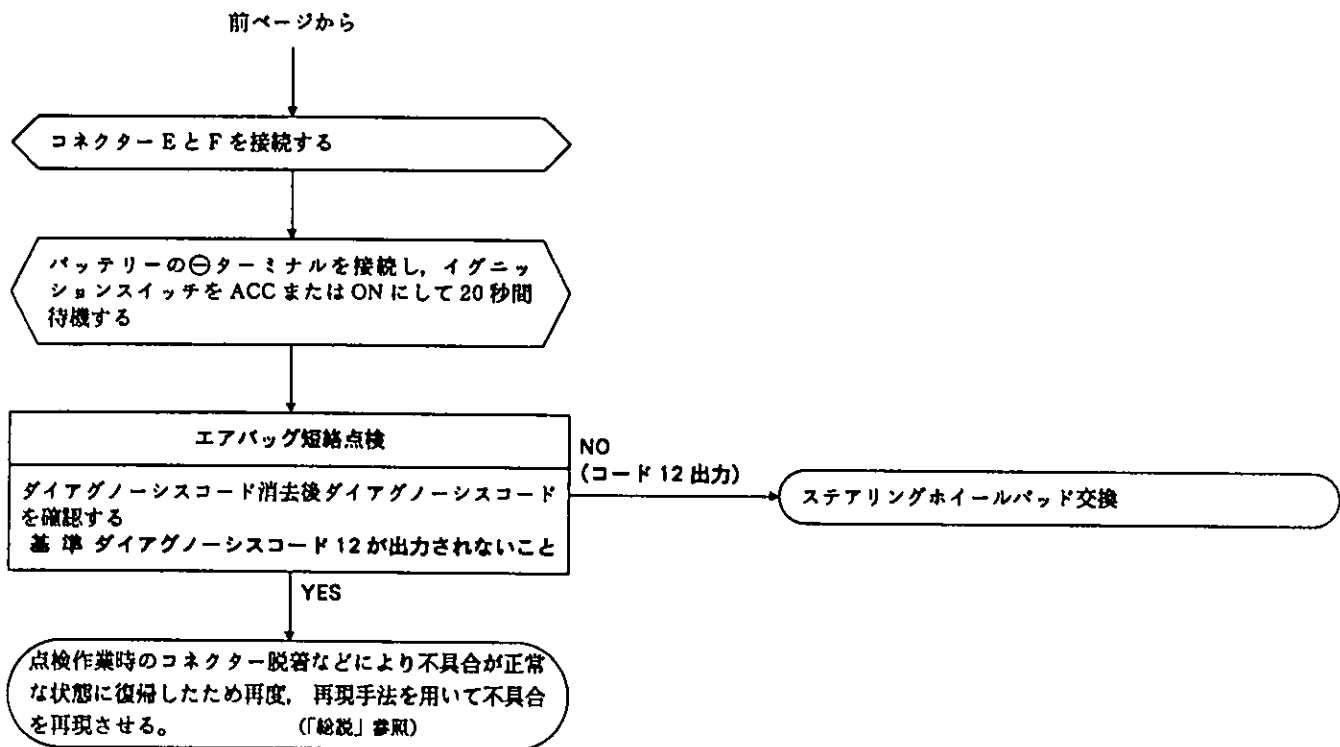
**解説**

点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル (コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火 (展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



10

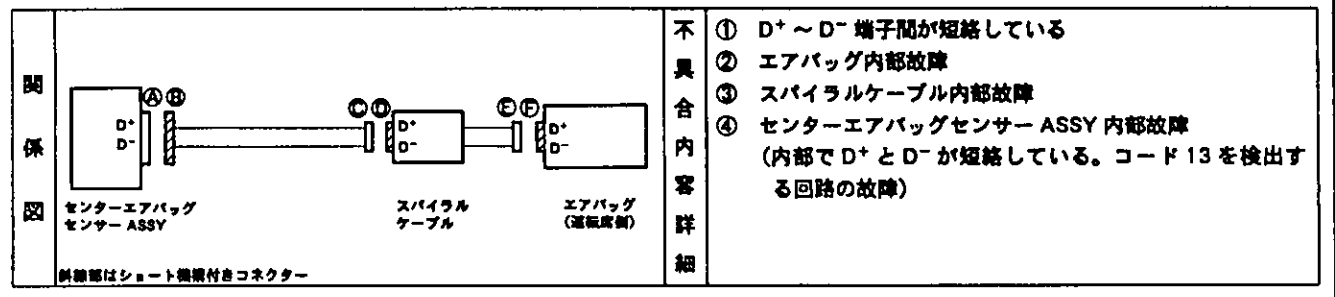




3 **ダイアグ 13** 点火回路 (D<sup>+</sup> ~ D<sup>-</sup> 端子間短絡)

**解説**

点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル (コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火 (展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



10

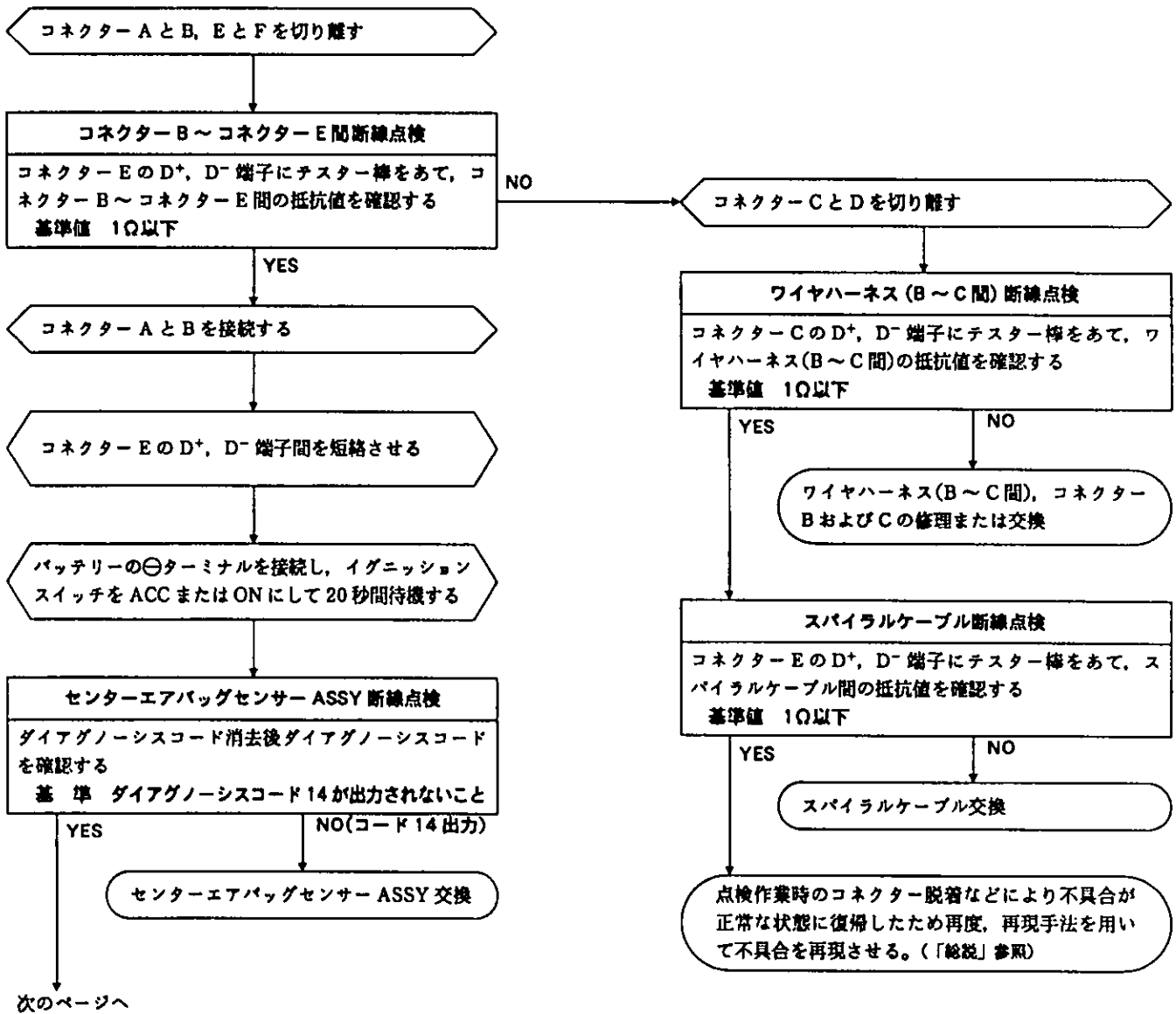
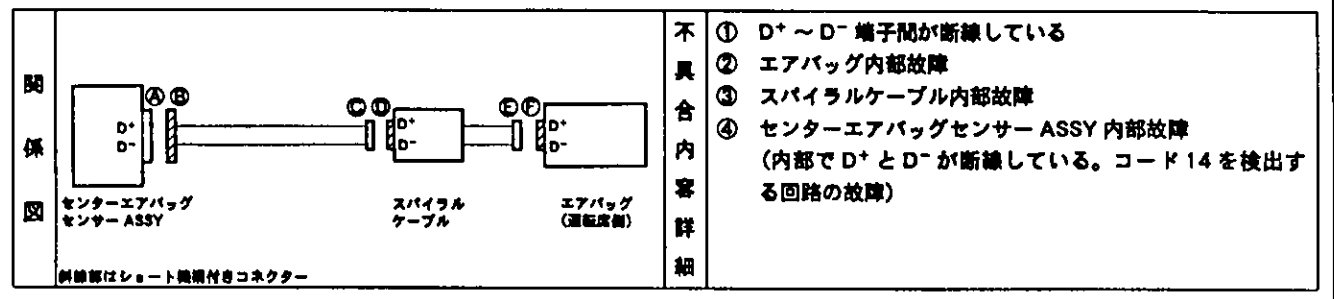
```

    graph TD
        Start([コネクタ A と B, E と F を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ E 間短絡点検  
コネクタ E の D+, D- 端子にテスター棒をあて、コネクタ B ~ コネクタ E 間の抵抗値を確認する  
基準値 1MΩ以上  
④⑤ このときコネクタ B のショート機構を解除する]
        Step1 -- NO --> Step2([コネクタ C と D を切り離す])
        Step1 -- YES --> Step3([コネクタ A と B を接続する])
        Step2 --> Step4[ワイヤハーネス (B ~ C 間) 短絡点検  
コネクタ C の D+, D- 端子にテスター棒をあてスパイラルケーブル間の抵抗値を確認する  
基準値 1MΩ以上  
④⑤ このときコネクタ B のショート機構を解除する]
        Step4 -- YES --> Step5([ワイヤハーネス (B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
        Step4 -- NO --> Step6[スパイラルケーブル短絡点検  
コネクタ E の D+, D- 端子にテスター棒をあてワイヤハーネス (B ~ E 間) の抵抗値を確認する  
基準値 1MΩ以上  
④⑤ このときコネクタ D のショート機構を解除する]
        Step6 -- YES --> Step7([スパイラルケーブル交換])
        Step6 -- NO --> Step8([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。〔総説〕参照])
        Step3 --> Step9[バッテリーの ⊖ 端子を接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にする]
        Step9 --> Step10[センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検  
ダイアグノシスコード消去後、ダイアグノシスコードを確認する  
基準 ダイアグノシスコード 13 が出力されないこと]
        Step10 -- YES --> Step11([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
        Step10 -- NO (コード 13 出力) --> Step12([ステアリングホイールパッド交換])
        Step11 --> Step13([バッテリーの ⊖ 端子を切り離し、90 秒間待機する])
        Step13 --> Step14([コネクタ E と F を接続する])
        Step14 --> Step15[バッテリーの ⊖ 端子を接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する]
        Step15 --> Step16[エアバッグ短絡点検  
ダイアグノシスコード消去後、ダイアグノシスコードを確認する  
基準 ダイアグノシスコード 13 が出力されないこと]
        Step16 -- YES --> Step17([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。〔総説〕参照])
        Step16 -- NO (コード 13 出力) --> Step12
    
```

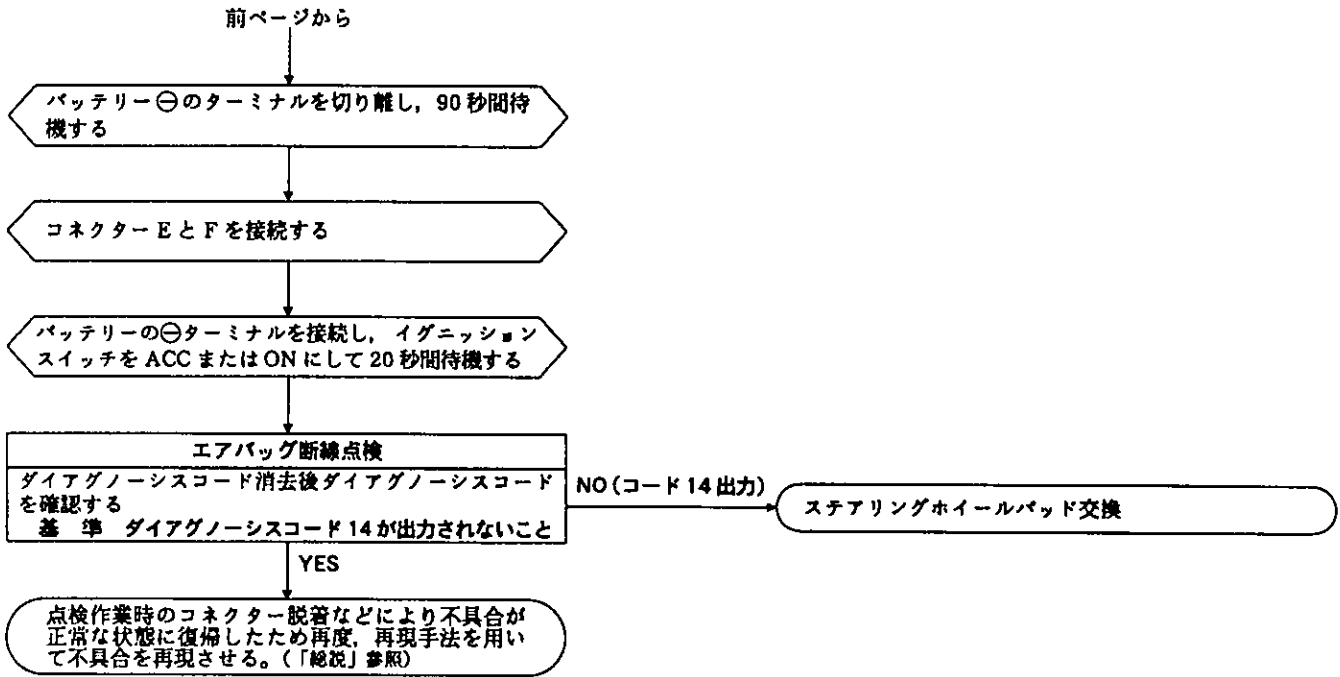
|   |         |  |
|---|---------|--|
| 4 | ダイアグ 14 | 点火回路 (D <sup>+</sup> ~ D <sup>-</sup> 端子間断線) |
|---|---------|--|

**解説**

点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル (コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火 (展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



10



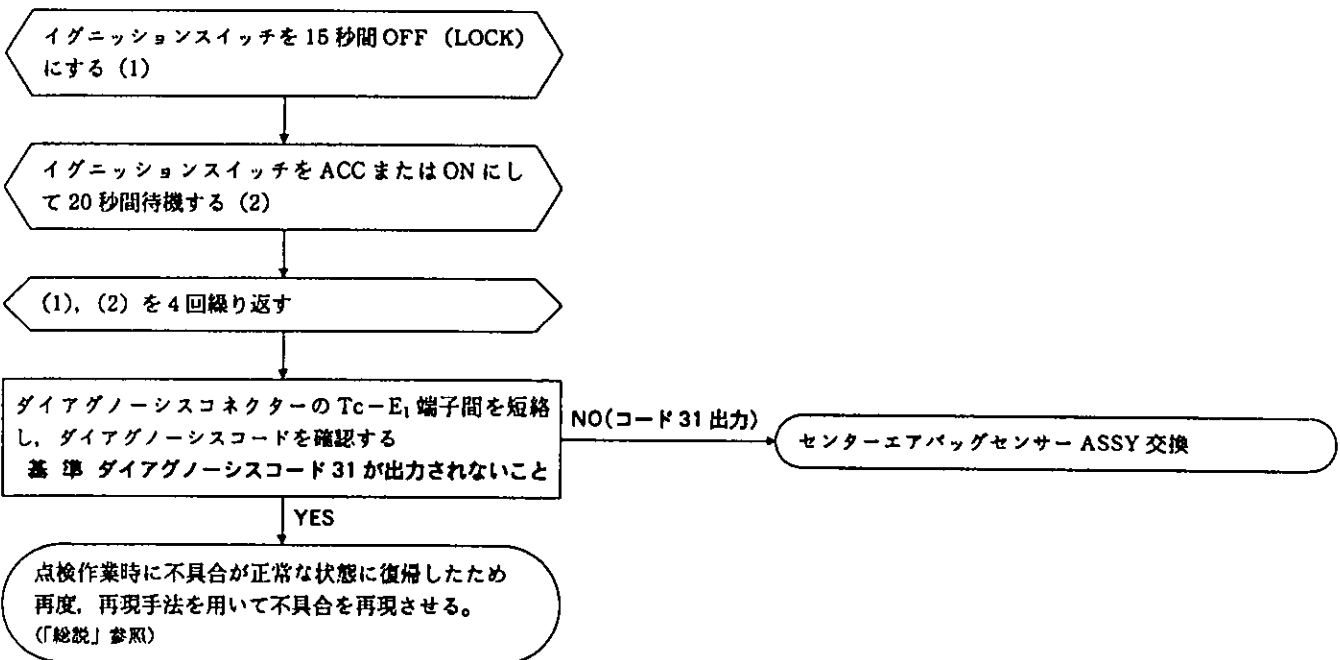
JB4205

|   |      |    |                         |
|---|------|----|-------------------------|
| 5 | ダイアグ | 31 | センターエアバッグセンサー ASSY 内部故障 |
|---|------|----|-------------------------|

解説

センターエアバッグセンサー ASSY はセーフィングセンサー、エアバッグ点火コントロール、駆動回路や診断回路などで構成されている。

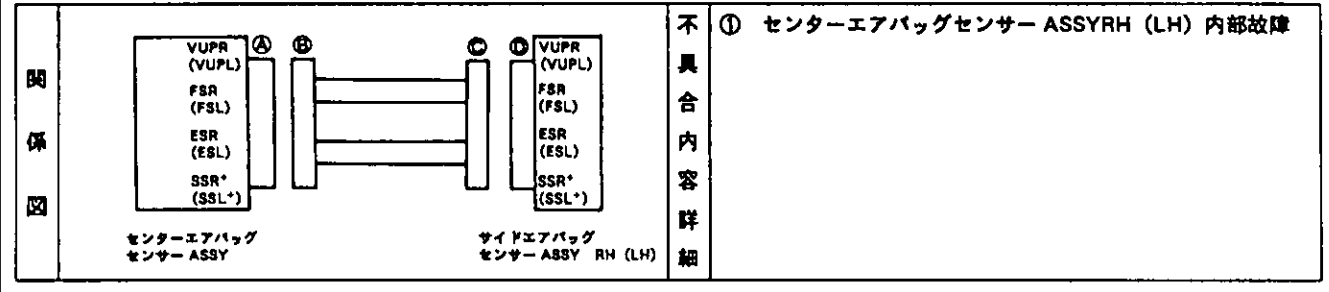
- |                                 |                           |
|---------------------------------|---------------------------|
| 不<br>具<br>合<br>内<br>容<br>詳<br>細 | ① センターエアバッグセンサー ASSY 内部故障 |
|---------------------------------|---------------------------|



JB4206

6 ダイアグ 32, 33 サイドエアバッグセンサー ASSY 内部故障

解説  
 サイドエアバッグセンサー ASSY は G センサー、通信回路などで構成されている。



```

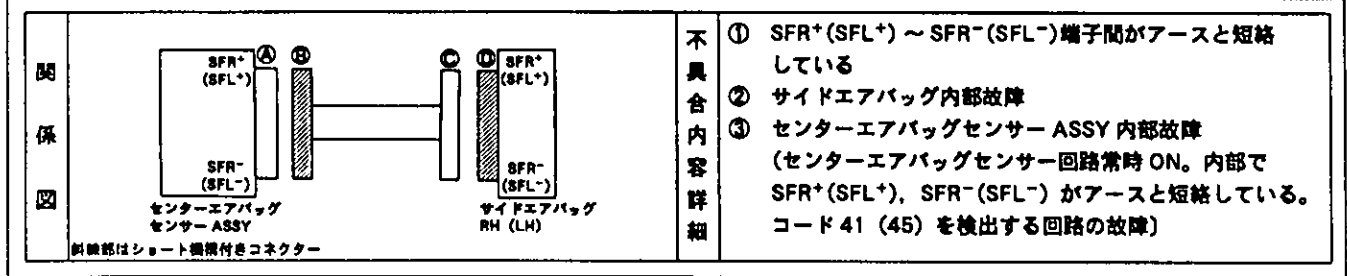
    graph TD
        Start([イグニッションスイッチを 15 秒間 OFF (LOCK) にする (1)]) --> Step2([イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する (2)])
        Step2 --> Step3([ (1), (2) を 4 回繰り返す ])
        Step3 --> Step4[ダイアグノーシスコネクターの Tc-E1 端子間を短絡し、ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 32 (33) が出力されないこと]
        Step4 -- NO (コード 32(33)出力) --> Step5[サイドエアバッグセンサー ASSY RH (LH) のコネクタ点検  
コネクター A と B, C と D のかん合が正常か確認する]
        Step4 -- YES --> End1([点検作業時に不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。  
(「総説」参照)])
        Step5 -- NO --> Step6([コネクター B および C の修理または交換])
        Step5 -- YES --> Step7([ (1), (2) を 4 回繰り返す ])
        Step7 --> Step8[ダイアグノーシスコネクターの Tc-E1 端子間を短絡し、ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 32 (33) が出力されないこと]
        Step8 -- YES --> End1
        Step8 -- NO (コード 32(33)出力) --> End2([サイドエアバッグセンサー ASSY RH (LH) 交換])
    
```

10

7      ダイアグ 41, 45      点火回路 (アース短絡)

解説

点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



10

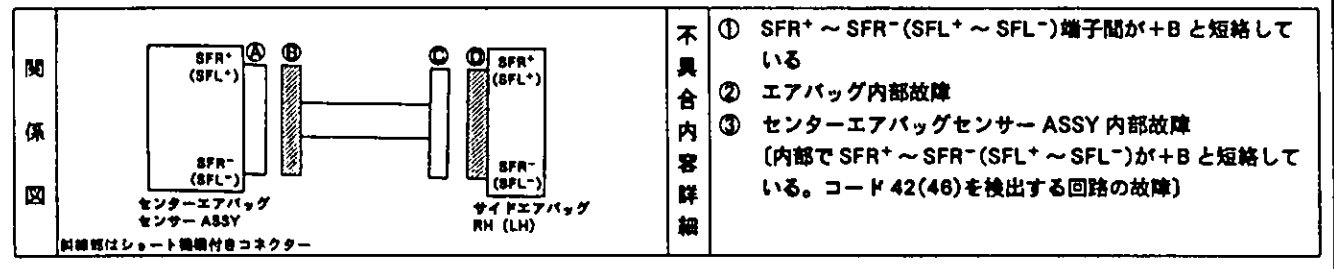
```

    graph TD
      Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検  
コネクタ C の SFR+(SFL+), SFR-(SFL-) 端子 ~ ボデーアース間の抵抗値を確認する  
基準値 1MΩ 以上]
      Step1 -- NO --> Repair1([ワイヤハーネス(B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
      Step1 -- YES --> Step2([コネクタ A と B を接続する])
      Step2 --> Step3([コネクタ C の SFR+(SFL+), SFR-(SFL-) 端子間を短絡する])
      Step3 --> Step4([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
      Step4 --> Step5[パッセンジャーエアバッグ短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 41(45) が出力されないこと]
      Step5 -- NO (コード 41(45) 出力) --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
      Step5 -- YES --> Step6([バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する])
      Step6 --> Step7([コネクタ C と D を接続する])
      Step7 --> Step8([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
      Step8 --> Step9[エアバッグ短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 41(45) が出力されないこと]
      Step9 -- NO (コード 41(45) 出力) --> Repair3([サイドエアバッグ RH (LH) 交換])
      Step9 -- YES --> Repair4([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。(「総説」参照)])
    
```

8      ダイアグ 42, 46      点火回路(+B と短絡)

解説

点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



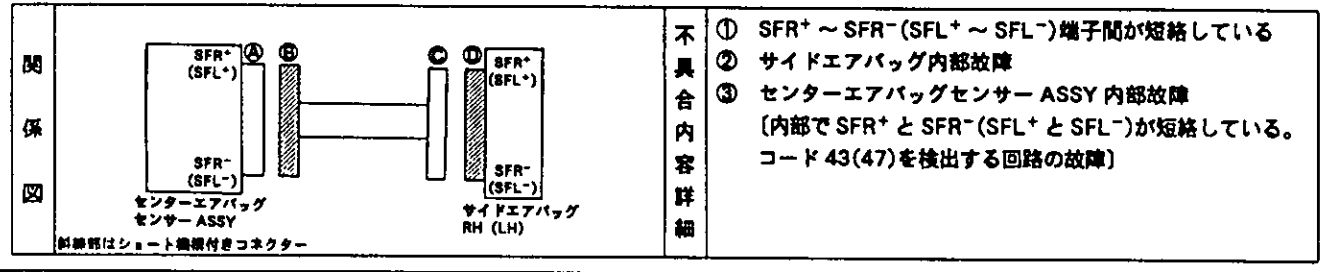
```

    graph TD
      Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[バッテリーの⊖ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にする]
      Step1 --> Step2[コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検  
コネクタ C の SFR+(SFL+), SFR-(SFL-)端子間 ~ ボデーアース間の抵抗値を確認する  
基準値 0V]
      Step2 -- NO --> Repair1([ワイヤハーネス(B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
      Step2 -- YES --> Step3([コネクタ A と B を接続する])
      Step3 --> Step4([コネクタ C の SFR+(SFL+), SFR-(SFL-)端子間を短絡する])
      Step4 --> Step5[バッテリーの⊖ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する]
      Step5 --> Step6[センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 42(46)が出力されないこと]
      Step6 -- NO (コード 42(46)出力) --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
      Step6 -- YES --> Step7([バッテリーの⊖ターミナルを切り離し、90 秒間待機する])
      Step7 --> Step8([コネクタ C と D を接続する])
      Step8 --> Step9[サイドエアバッグ短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 42(46)が出力されないこと]
      Step9 -- NO (コード 42(46)出力) --> Repair3([サイドエアバッグ RH (LH) 交換])
      Step9 -- YES --> Repair4([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。(「総説」参照)])
    
```

9      ダイアグ 43, 47      点火回路 [SFR+ ~ SFR-(SFL+ ~ SFL-)端子間短絡]

解説

点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



```

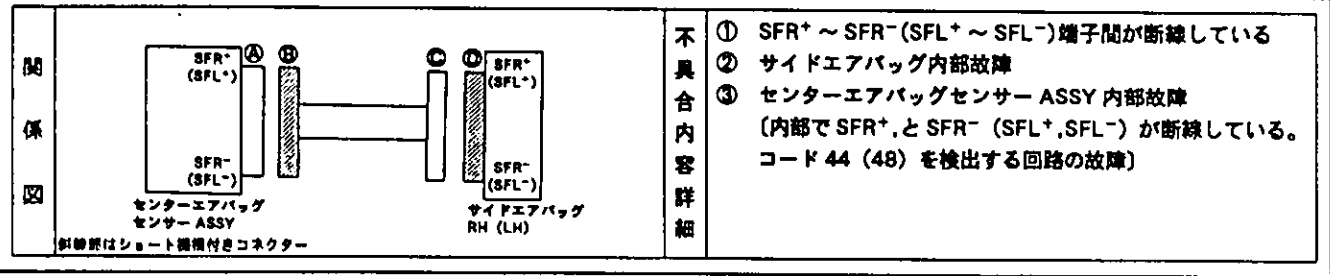
    graph TD
        Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検]
        Step1 -- NO --> Repair1([ワイヤハーネス(B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
        Step1 -- YES --> Step2([コネクタ A と B を接続する])
        Step2 --> Step3([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
        Step3 --> Step4[センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検]
        Step4 -- NO [コード 43(47)出力] --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
        Step4 -- YES --> Step5([バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する])
        Step5 --> Step6([コネクタ C と D を接続する])
        Step6 --> Step7([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
        Step7 --> Step8[サイドエアバッグ短絡点検]
        Step8 -- NO [コード 43(47)出力] --> Repair3([サイドエアバッグ RH (LH) 交換])
        Step8 -- YES --> End([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。〔「解説」参照〕])
    
```

10

10 ダイアグ 44, 48 点火回路 (SFR+ ~ SFR- (SFL+ ~ SFL-) 端子間断線)

解説

点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



```

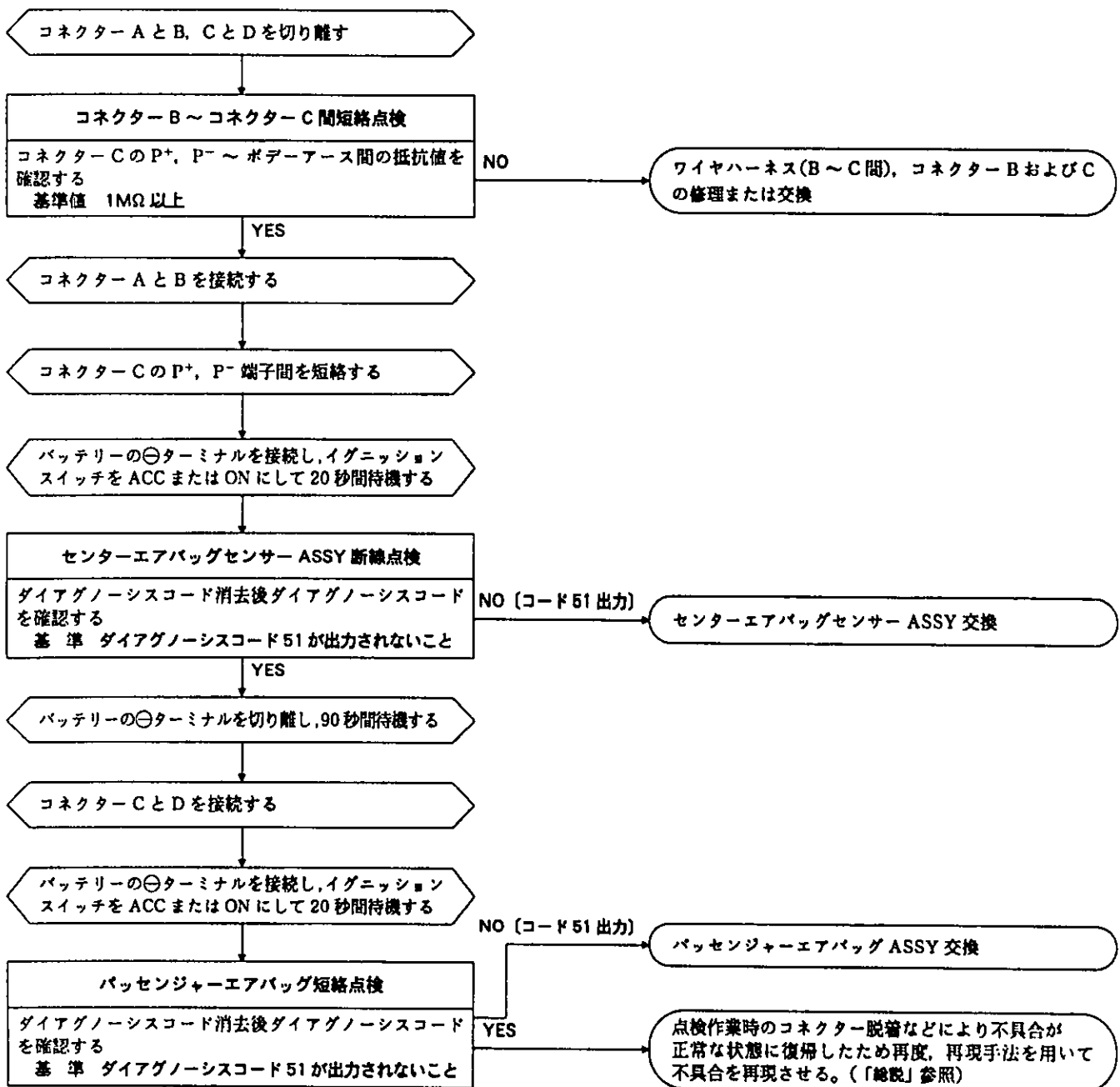
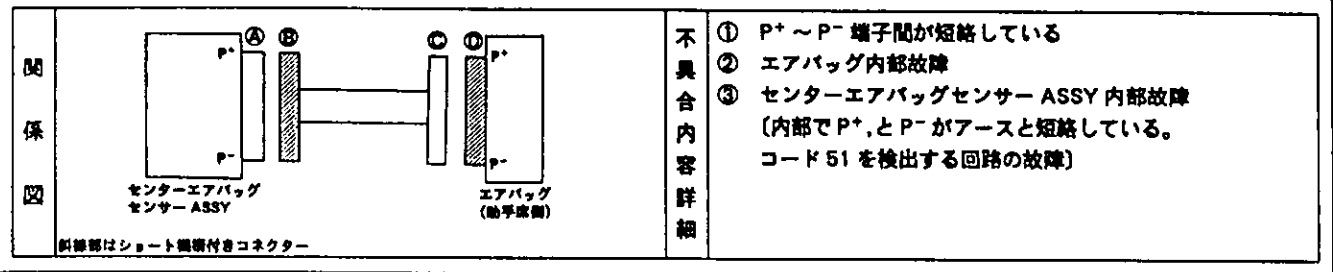
    graph TD
        Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ C 間断線点検]
        Step1 -- NO --> Repair1([ワイヤハーネス(B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
        Step1 -- YES --> Step2([コネクタ A と B を接続する])
        Step2 --> Step3([コネクタ C の SFR+(SFL+), SFR-(SFL-) 端子間を短絡する])
        Step3 --> Step4([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し, イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
        Step4 --> Step5[センターエアバッグセンサー ASSY 断線点検]
        Step5 -- NO [コード 44(48) 出力] --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
        Step5 -- YES --> Step6([バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し, 90 秒間待機する])
        Step6 --> Step7([コネクタ C と D を接続する])
        Step7 --> Step8([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し, イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
        Step8 --> Step9[サイドエアバッグ断線点検]
        Step9 -- NO [コード 44(48) 出力] --> Repair3([サイドエアバッグ RH(LH) 交換])
        Step9 -- YES --> Repair4([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度, 再現手法を用いて不具合を再現させる。(「総説」参照)])
    
```

10

|    |         |             |
|----|---------|-------------|
| 11 | ダイアグ 51 | 点火回路(アース短絡) |
|----|---------|-------------|

**解説**

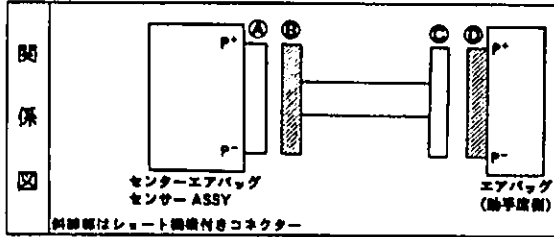
点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



12      ダイアグ 52      点火回路(+B と短絡)

解説

点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



- 不具合内容詳細
- ① P+ ~ P- 端子間が+B と短絡している
  - ② エアバッグ内部故障
  - ③ センターエアバッグセンサー ASSY 内部故障  
(内部で P+ と P- が+B と短絡している。  
コード 52 を検出する回路の故障)

```

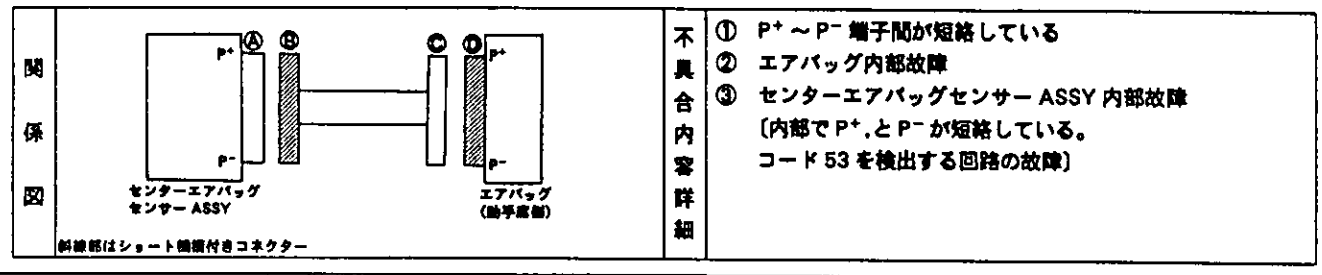
    graph TD
        Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にする]
        Step1 --> Step2[コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検  
コネクタ C の P+, P- 端子 ~ ボデーアース間の電圧を確認する  
基準値 0V]
        Step2 -- NO --> Repair1([ワイヤハーネス(B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
        Step2 -- YES --> Step3[バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する]
        Step3 --> Step4[コネクタ A と B を接続する]
        Step4 --> Step5[コネクタ C の P+, P- 端子間を短絡する]
        Step5 --> Step6[バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する]
        Step6 --> Step7[センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 52 が出力されないこと]
        Step7 -- NO(コード 52 出力) --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
        Step7 -- YES --> Step8[バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する]
        Step8 --> Step9[コネクタ C と D を接続する]
        Step9 --> Step10[バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する]
        Step10 --> Step11[パッセンジャーエアバッグ短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 52 が出力されないこと]
        Step11 -- NO(コード 52 出力) --> Repair3([パッセンジャーエアバッグ交換])
        Step11 -- YES --> Repair4([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。(「総説」参照)])
    
```

10

13      **ダイアグ 53**      **点火回路(P+ ~ P- 端子間短絡)**

**解説**

点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



```

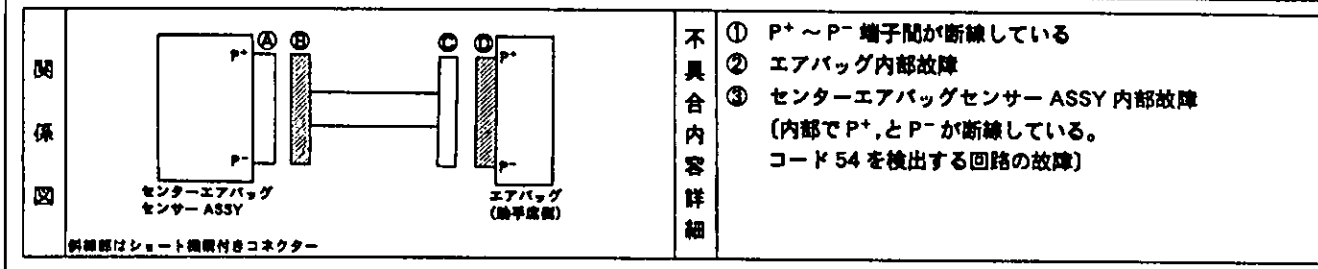
    graph TD
        Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ G 間短絡点検]
        Step1 -- NO --> Repair1([ワイヤハーネス(B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
        Step1 -- YES --> Step2([コネクタ A と B を接続する])
        Step2 --> Step3([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
        Step3 --> Step4[センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検]
        Step4 -- NO (コード 53 出力) --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
        Step4 -- YES --> Step5([バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する])
        Step5 --> Step6([コネクタ C と D を接続する])
        Step6 --> Step7([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
        Step7 --> Step8[エアバッグ短絡点検]
        Step8 -- NO (コード 53 出力) --> Repair3([パッセンジャーエアバッグ ASSY 交換])
        Step8 -- YES --> End([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。(「総説」参照)])
    
```

10

14      **ダイアグ 54**      **点火回路(P+ ~ P- 端子間断線)**

**解説**

点火回路は、エアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。  
この回路は展開条件が成立したとき点火(展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



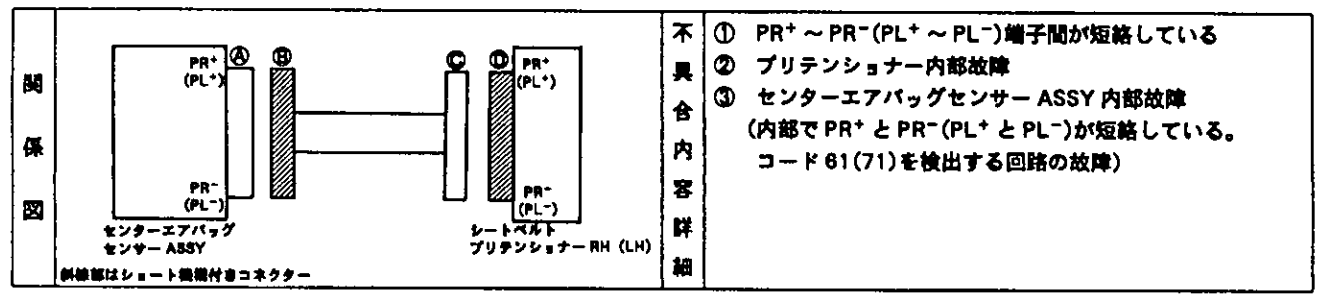
```

    graph TD
      Start([コネクタ A と B, E と F を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ C 間断線点検  
コネクタ C の P+, P- 端子にテスター棒をあて、コネクタ B ~ コネクタ C 間の抵抗値を確認する  
基準値 1Ω 以下]
      Step1 -- NO --> Repair1(ワイヤハーネス(B ~ C間), コネクタ B および C の修理または交換)
      Step1 -- YES --> Step2([コネクタ A と B を接続する])
      Step2 --> Step3([コネクタ C の P+, P- 端子間を短絡する])
      Step3 --> Step4([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
      Step4 --> Step5[センターエアバッグセンサー ASSY 断線点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 54 が出力されないこと]
      Step5 -- NO [コード 54 出力] --> Repair2(センターエアバッグセンサー ASSY 交換)
      Step5 -- YES --> Step6([バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する])
      Step6 --> Step7([コネクタ E と F を接続する])
      Step7 --> Step8([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
      Step8 --> Step9[エアバッグ断線点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 54 が出力されないこと]
      Step9 -- NO [コード 54 出力] --> Repair3(パッセンジャーエアバッグ交換)
      Step9 -- YES --> Repair4(点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。〔総説〕参照)
    
```

|    |            |              |
|----|------------|--------------|
| 15 | ダイアグ 61,71 | 点火回路 (アース短絡) |
|----|------------|--------------|

**解説**

点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火(展開)信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



```

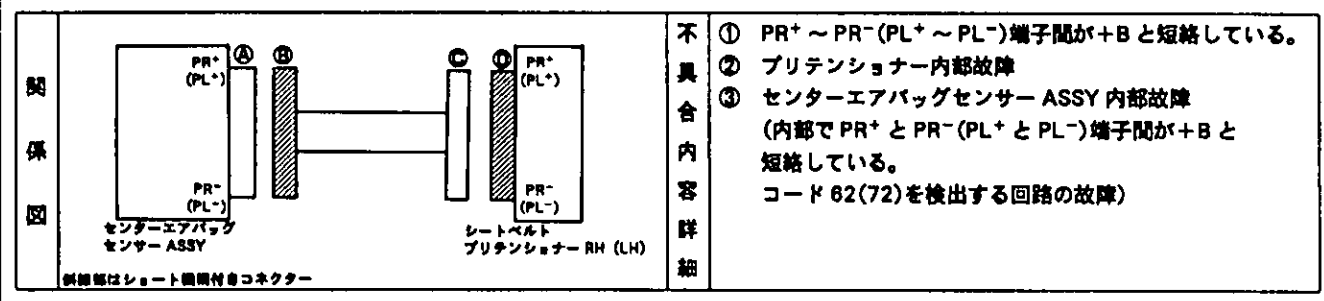
    graph TD
      Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検  
コネクタ C の PR+, PR-(PL+, PL-)端子 ~ ボデーアース間の抵抗値を確認する  
基準値 ∞Ω]
      Step1 -- NO --> Repair1([ワイヤハーネス (B ~ C 間), コネクタ B およびコネクタ C の修理または交換])
      Step1 -- YES --> Step2([コネクタ A と B を接続する])
      Step2 --> Step3([コネクタ C の PR+ と PR-(PL+ と PL-)端子間を短絡させる])
      Step3 --> Step4([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
      Step4 --> Step5[センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 61(71)が出力されないこと]
      Step5 -- NO [コード 61(71)出力] --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
      Step5 -- YES --> Step6([バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する])
      Step6 --> Step7([コネクタ C と D を接続する])
      Step7 --> Step8([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
      Step8 --> Step9[プリテンショナー短絡点検  
ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 61(71)が出力されないこと]
      Step9 -- NO [コード 61(71)出力] --> Repair3([プリテンショナー ASSY 交換])
      Step9 -- YES --> Repair4([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる  
(「総説」参照)])
    
```

10

16      ダイアグ 62,72      点火回路 (+B と短絡)

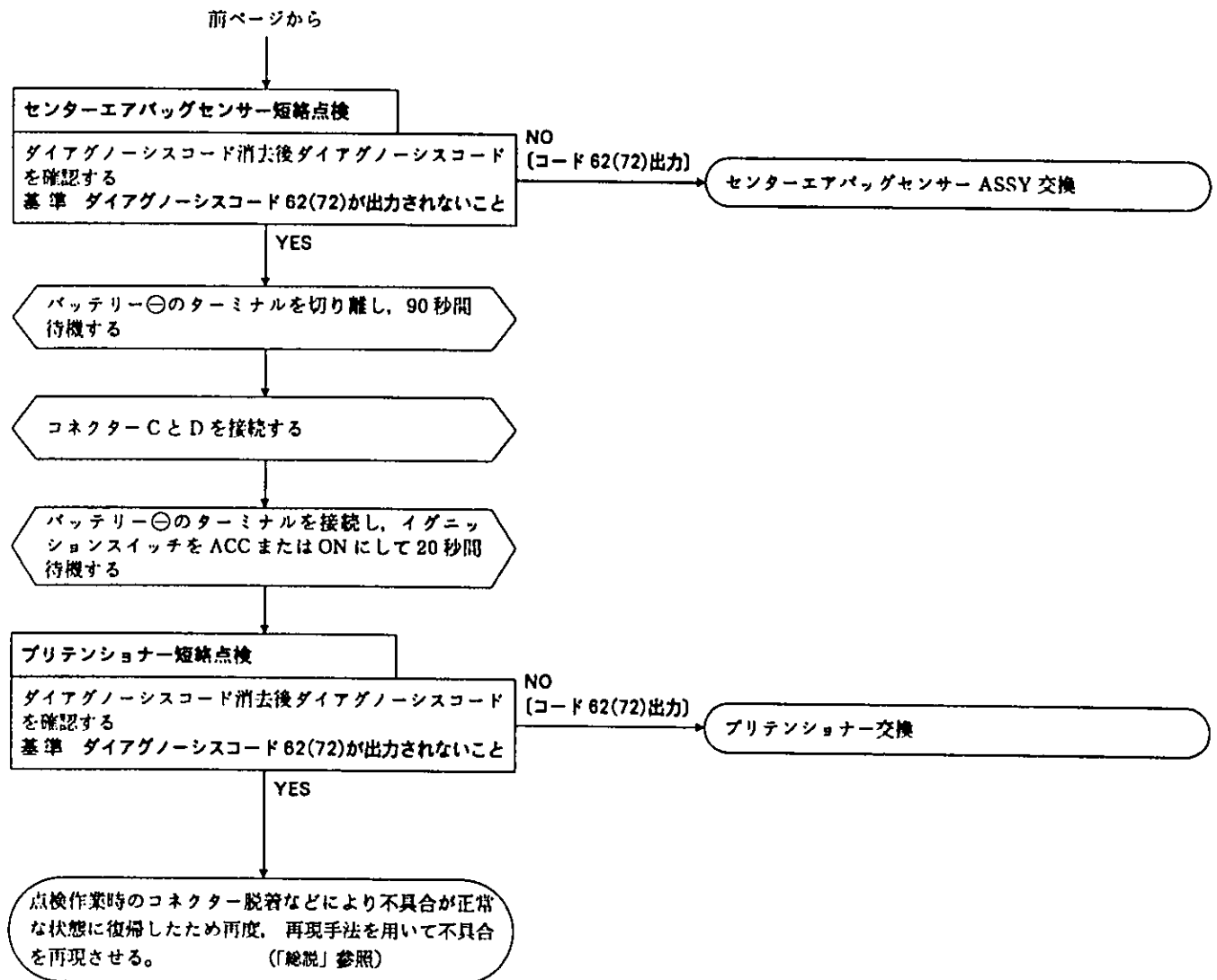
解説

点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火(展開)信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



```

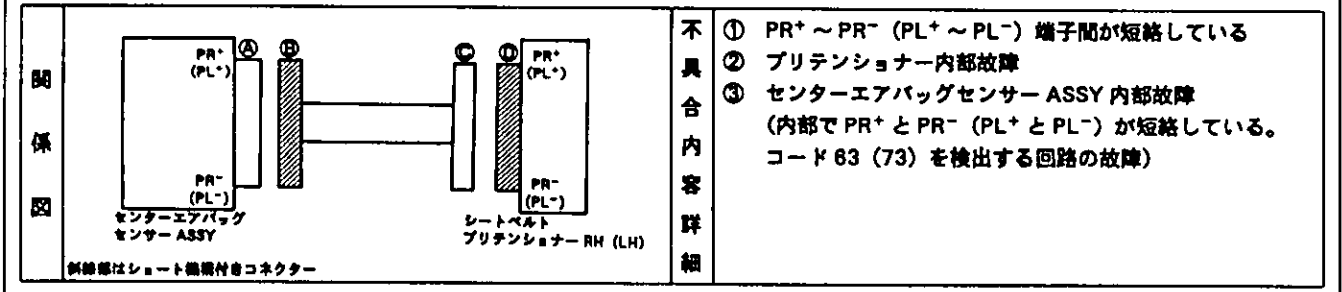
    graph TD
      A[コネクタ A と B, C と D を切り離す] --> B[バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にする]
      B --> C[コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検]
      C -- NO --> D[ワイヤハーネス (B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換]
      C -- YES --> E[バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する]
      E --> F[コネクタ A と B を接続する]
      F --> G[コネクタ C の PR+, PR- (PL+, PL-) 端子間を短絡させる]
      G --> H[バッテリー ⊖ のターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する]
      H --> I[次のページへ]
  
```



10

17 ダイアグ 63, 73 点火回路 (PR+ ~ PR- (PL+ ~ PL-) 端子間短絡)

**解説**  
 点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル (コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火 (展開) 信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。



```

    graph TD
        Start([コネクタ A と B, C と D を切り離す]) --> Step1{コネクタ A と B を接続する}
        Step1 --> Step2{コネクタ C の PR+ と PR- (PL+ と PL-) 端子間を短絡する}
        Step2 --> Step3{バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する}
        Step3 --> Check1{センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検}
        
        Check1 -- YES --> Step4{バッテリーの ⊖ ターミナルを切り離し、90 秒間待機する}
        Step4 --> Step5{コネクタ C と D を接続する}
        Step5 --> Step6{バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する}
        Step6 --> Check2{プリテンショナー短絡点検}
        
        Check2 -- YES --> Note1([点検作業時のコネクタ脱着などにより不具合が正常な状態に復帰したため再度、再現手法を用いて不具合を再現させる。(「総説」参照)])
        Note1 --> Step1
        
        Check1 -- NO [コード 63(73)出力] --> Step7([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
        
        Check2 -- NO [コード 63(73)出力] --> Step8([プリテンショナー交換])
        
        Step1 --> Check3{コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検}
        Check3 -- YES --> Step1
        Check3 -- NO --> Step9([ワイヤハーネス (B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換])
    
```

コネクタ B ~ コネクタ C 間短絡点検  
 コネクタ C の PR+, PR- (PL+, PL-) 端子にテスター棒をあて、コネクタ B ~ コネクタ C 間の抵抗値を確認する  
 基準値 ∞Ω  
 注意 このときコネクタ B のショート機構を解除する

ワイヤハーネス (B ~ C 間), コネクタ B および C の修理または交換

センターエアバッグセンサー ASSY 短絡点検  
 ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する  
 基準 ダイアグノーシスコード 63 (73) が出力されないこと

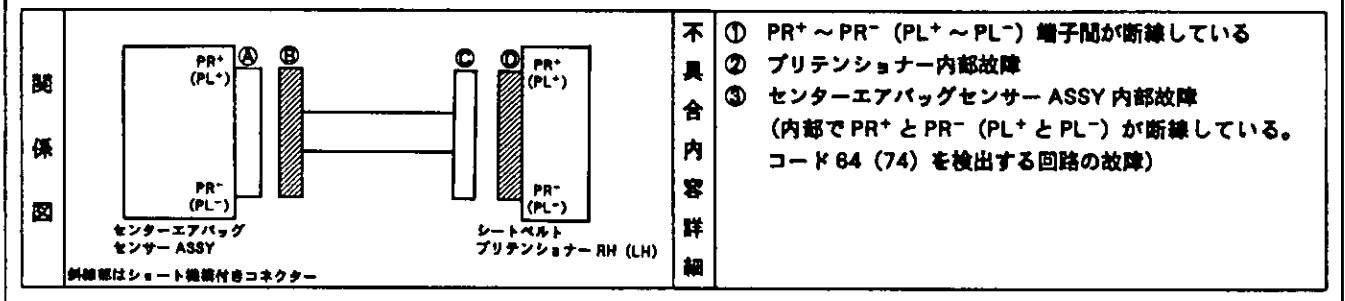
プリテンショナー短絡点検  
 ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する  
 基準 ダイアグノーシスコード 63 (73) が出力されないこと

10

18      **ダイアグ 64, 74**      **点火回路 (PR<sup>+</sup> ~ PR<sup>-</sup> (PL<sup>+</sup> ~ PL<sup>-</sup>) 端子間断線)**

**解説**

点火回路は、センターエアバッグセンサー ASSY、サイドエアバッグセンサー ASSY、スパイラルケーブル(コンビネーションスイッチ内蔵)、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーで構成されている。この回路は展開条件が成立したとき点火(展開)信号を出力し、エアバッグ、サイドエアバッグおよびプリテンショナーを展開させる。

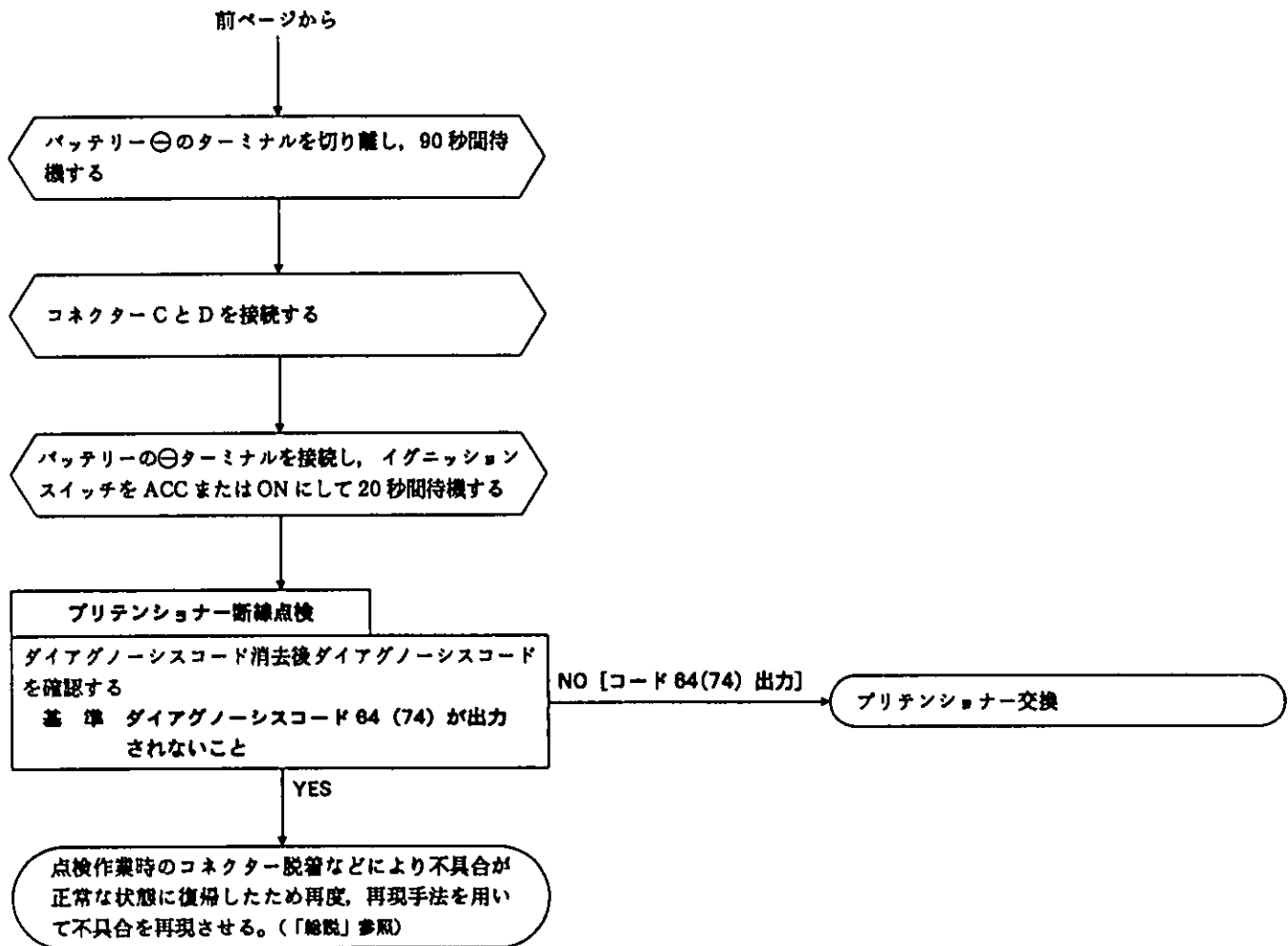


- ① PR<sup>+</sup> ~ PR<sup>-</sup> (PL<sup>+</sup> ~ PL<sup>-</sup>) 端子間が断線している
- ② プリテンショナー内部故障
- ③ センターエアバッグセンサー ASSY 内部故障 (内部で PR<sup>+</sup> と PR<sup>-</sup> (PL<sup>+</sup> と PL<sup>-</sup>) が断線している。コード 64 (74) を検出する回路の故障)

```

    graph TD
      Start([コネクター A と B, C と D を切り離す]) --> Step1[コネクター B ~ コネクター C 間断線点検  
コネクター C の PR+, PR- (PL+, PL-) 端子にテスター棒をあて、コネクター B ~ コネクター C 間の抵抗値を確認する  
基準値 1Ω以下]
      Step1 -- NO --> Repair([ワイヤハーネス (B ~ C 間), コネクター B および C の修理または交換])
      Step1 -- YES --> Step2([コネクター A と B を接続する])
      Step2 --> Step3([コネクター C の PR+, PR- (PL+, PL-) 端子間を短絡させる])
      Step3 --> Step4([バッテリーの ⊖ ターミナルを接続し、イグニッションスイッチを ACC または ON にして 20 秒間待機する])
      Step4 --> Step5[センターエアバッグセンサー ASSY 断線点検  
ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する  
基準 ダイアグノーシスコード 64 (74) が出力されないこと]
      Step5 -- YES --> NextPage[次のページへ]
      Step5 -- NO [コード 64 (74) 出力] --> Repair2([センターエアバッグセンサー ASSY 交換])
    
```

10



19 電源電圧系

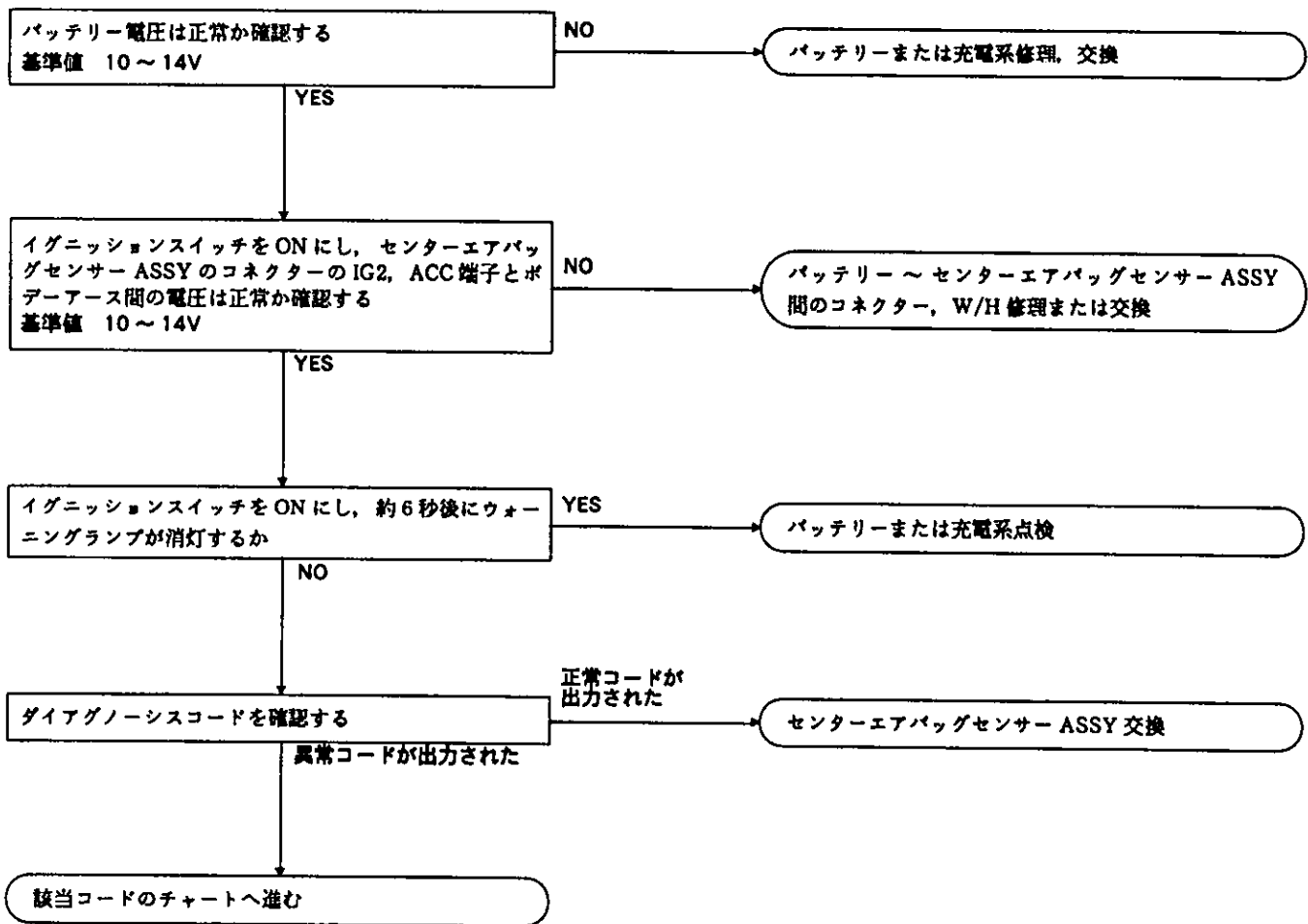
解説

・エアバッグシステムはバッテリーの電圧が低下した場合にも、確実に作動するようにセンターエアバッグセンサー ASSY 内に昇圧回路 (DC-DC コンバーター) を備えている。万一、何かの理由でバッテリーの電圧が低下した場合センターエアバッグセンサー ASSY はウォーニングランプを点灯させ、警告する。その後バッテリーの電圧が正常に復帰すれば約 10 秒後にウォーニングランプを消灯する。  
 ・この不具合が他と異なるところは、次の 1 点である。

- ① 不具合が解消すると約 10 秒後にウォーニングランプを消灯する。

不具合内容詳細

| ダイアグノーシスコード            | 不 具 合 内 容       |
|------------------------|-----------------|
| ウォーニングランプ点灯かつ<br>正常コード | ① 車両のバッテリー電圧の低下 |



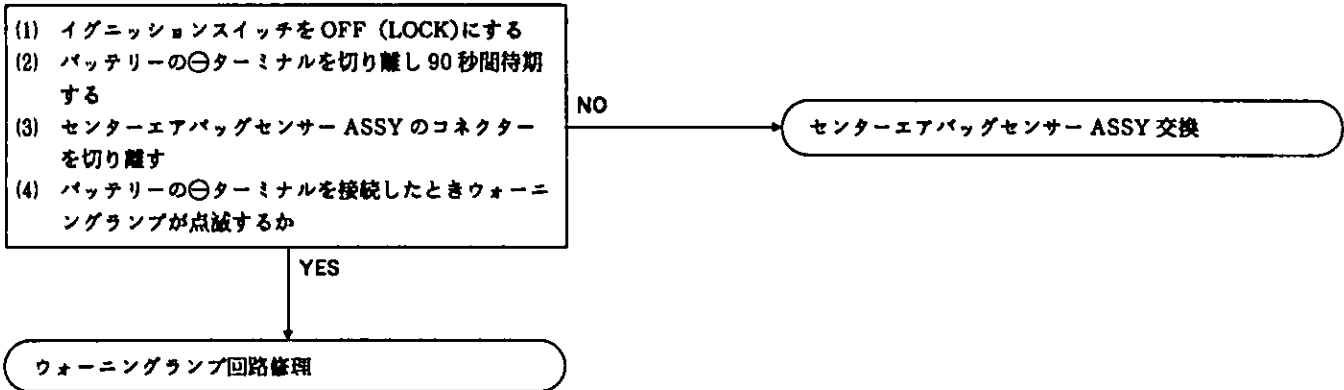
10

20

## IG スイッチ OFF 時ウォーニングランプ常灯

## 解 説

- ・システムが正常な場合、ウォーニングランプはイグニッションスイッチを ACC または ON にしてから約 6 秒間だけ点灯し、その後消灯する。
- ・万一、システムに不具合が発生すると、6 秒経過後もウォーニングランプを点滅し続けてドライバーに警告する。
- ・また、イグニッションスイッチが ACC または ON 状態でダイアグノーシスコネクターの Tc-E1 端子間を短絡したときウォーニングランプの点滅によりダイアグノーシスコードを表示する。

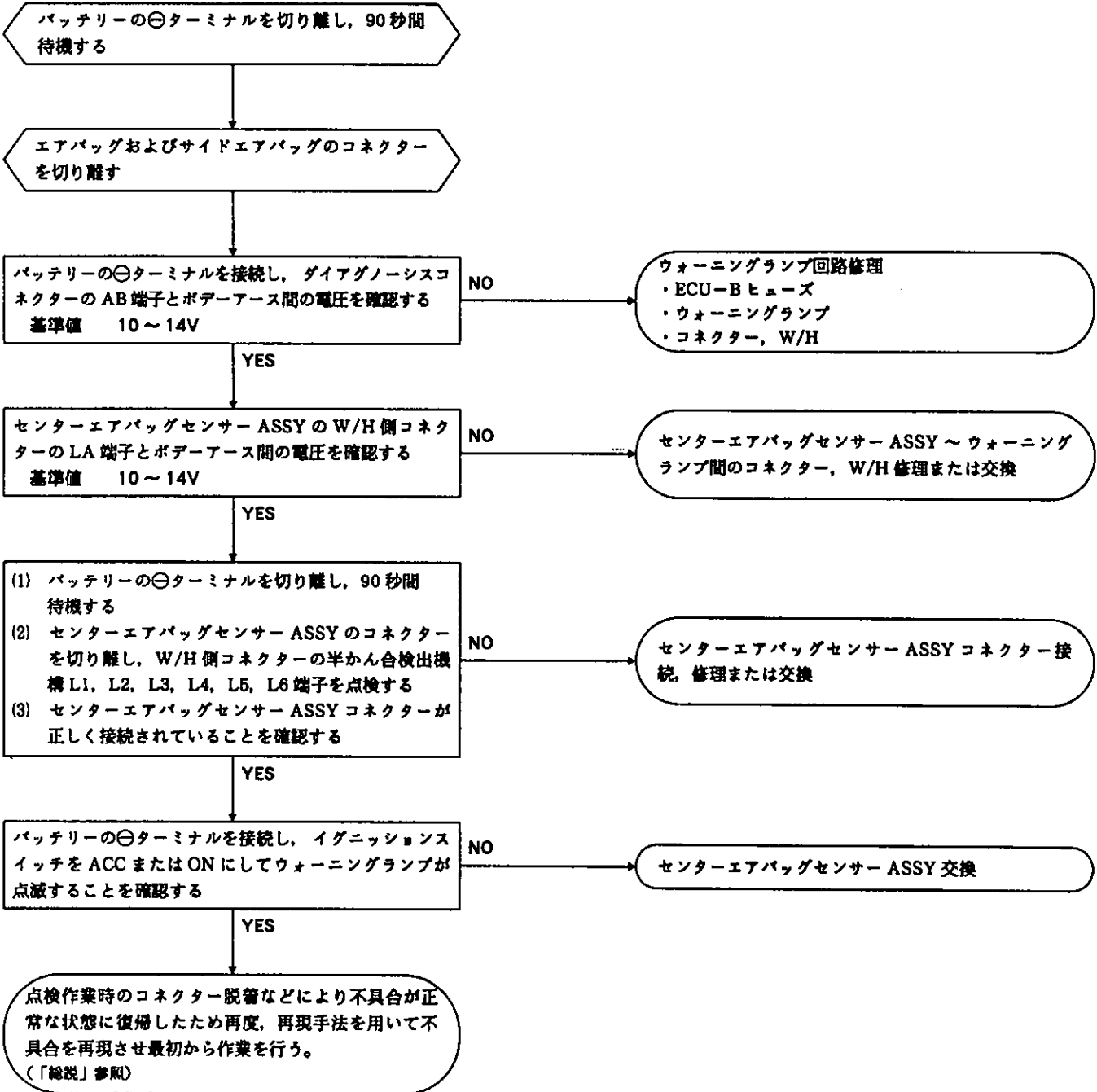


10

|    |             |
|----|-------------|
| 21 | ウォーニングランプ不灯 |
|----|-------------|

**解説**

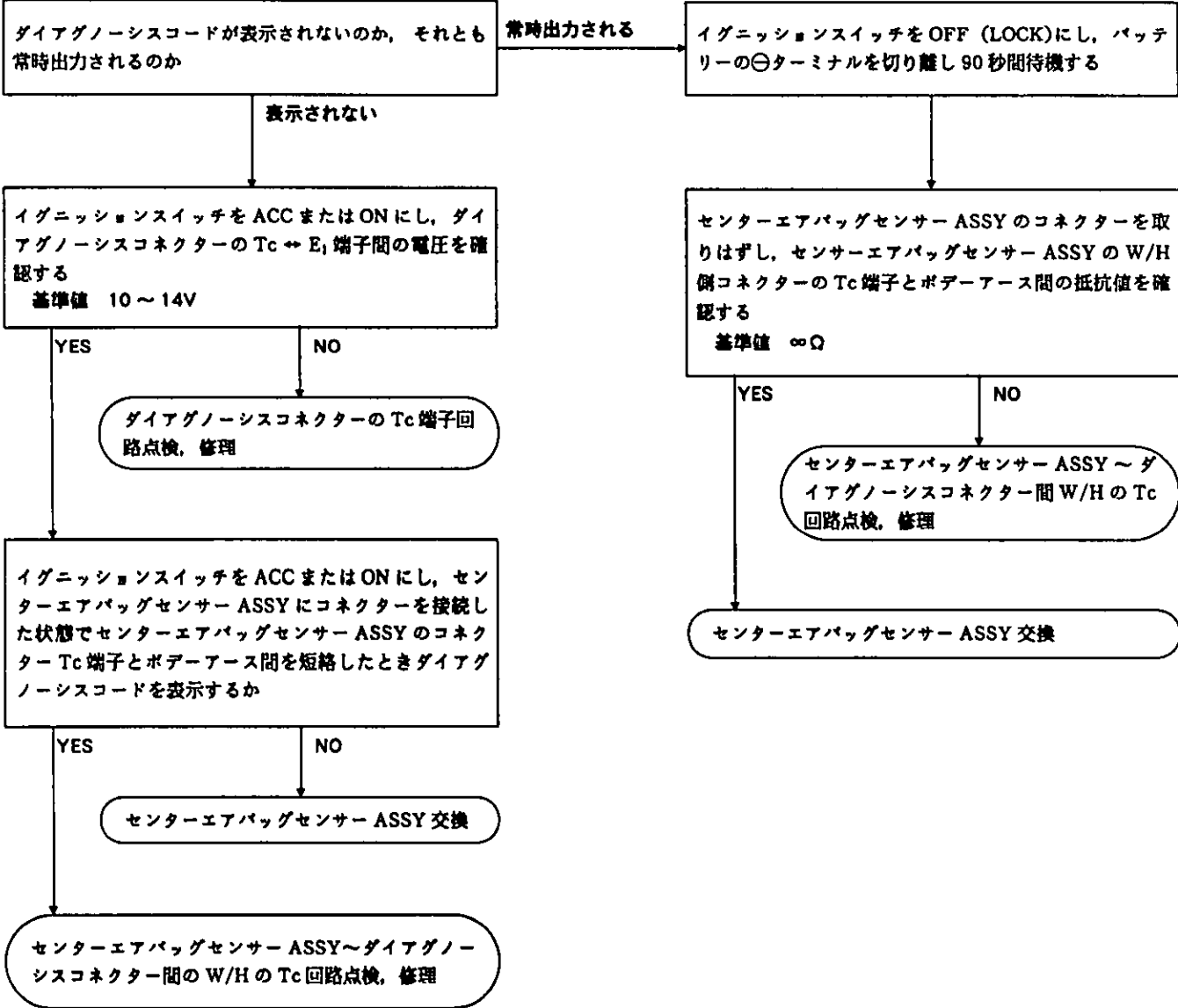
- ・システムが正常な場合、ウォーニングランプはイグニッションスイッチを ACC または ON にしてから約 6 秒間だけ点灯し、その後消灯する。
- ・万一、システムに不具合が発生すると、6 秒経過後もウォーニングランプを点滅しドライバーに警告する。



10

22 Tc 端子回路

**解説**  
 ダイアグノーシスコネクターの Tc-E<sub>1</sub> 端子間を短絡することにより、センターエアバッグセンサー ASSY はダイアグノーシスモードにセットされダイアグノーシスコードを出力し、ウォーニングランプの点滅で表示する。

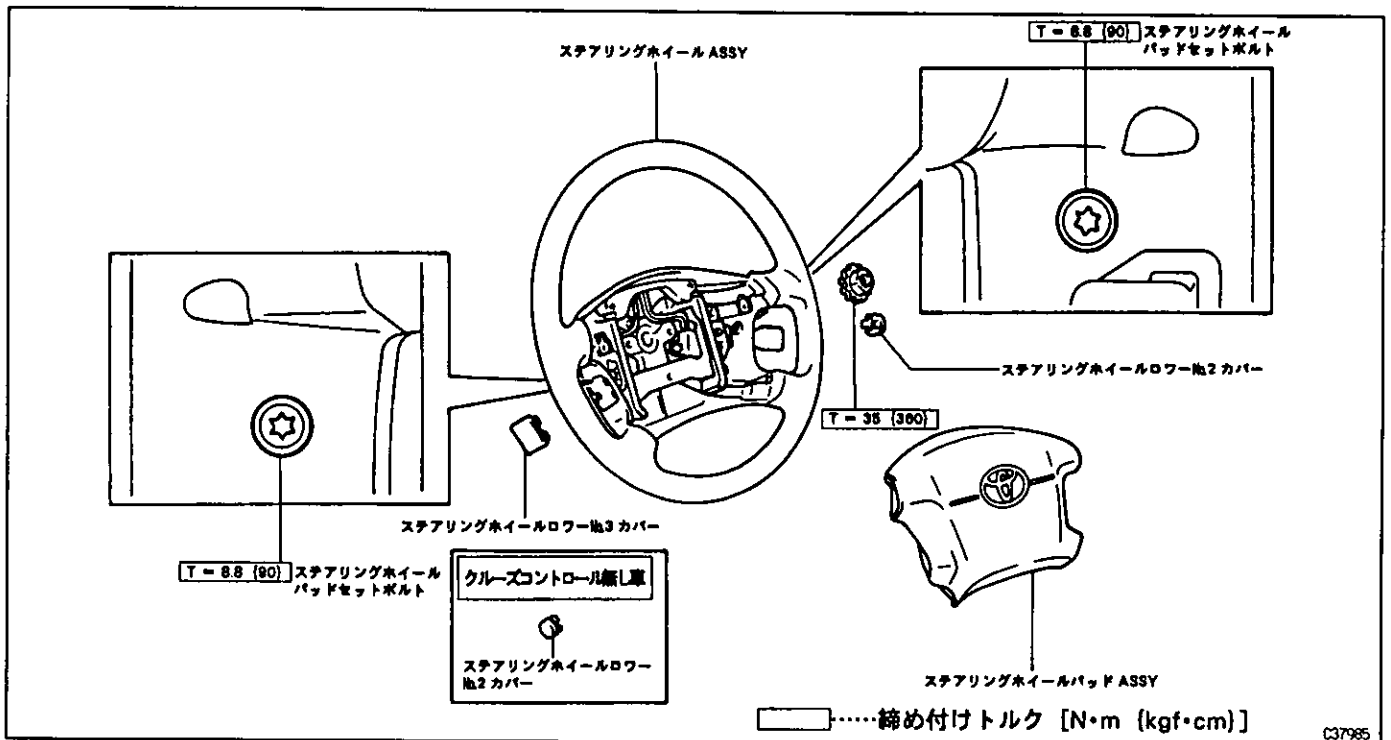


10

## ステアリングホイール &amp; パッド

T0082848

## 脱着構成図



C37985

10

ステアリングホイール & パッド取りはずし  
作業上の留意点

## 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」 - 「取り扱い・作業上の注意」参照)

## 2 電源切り離し

(「注意事項」 - 「全般的な注意事項」参照)

**注意** フロントタイヤは直進状態にする。

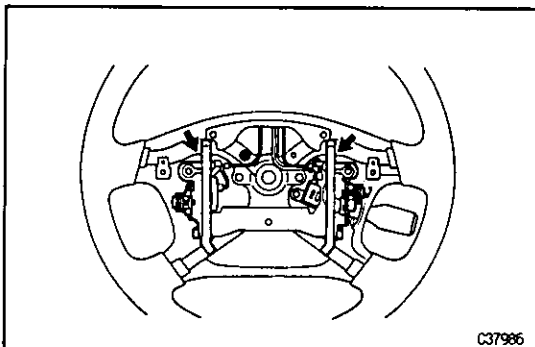
## 3 ステアリングホイールパッド外観点検

(「注意事項」 - 「取り扱い・作業上の注意」参照)

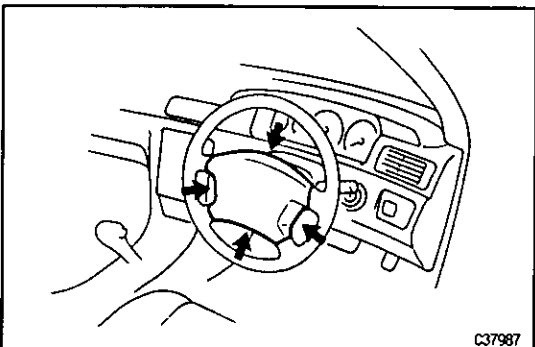
## 4 ステアリングホイール外観点検

基準 次の項目に該当する場合はステアリングホイールを新品と交換する。

- ① ステアリングホイール金属ブラケット部の変形。
- ② 新品のパッドが無理なく取り付けられない。
- ③ パッドを取り付けたとき、パッドとステアリングホイールが干渉する。また、すき間が均一でない。



C37986



C37987

ステアリングホイール & パッド取り付け  
作業上の留意点

1 スパイラルケーブルセンタリング

- (1) IGスイッチがOFF (LOCK) になっていることを確認する。
- (2) バッテリーの⊖ターミナルがはずしてあることを確認する。  
**注意** ターミナルをはずした場合はその後90秒間作業を始めない。
- (3) フロントタイヤの直進状態を確認する。
- (4) スパイラルケーブルを反時計方向にロックするまで回す。  
(参考) スパイラルケーブルは最大約5回転します。
- (5) スパイラルケーブルをロックした位置から時計方向に2.5回転戻し、図のセンターマークを合わせる。

2 ステアリングセンター位置確認

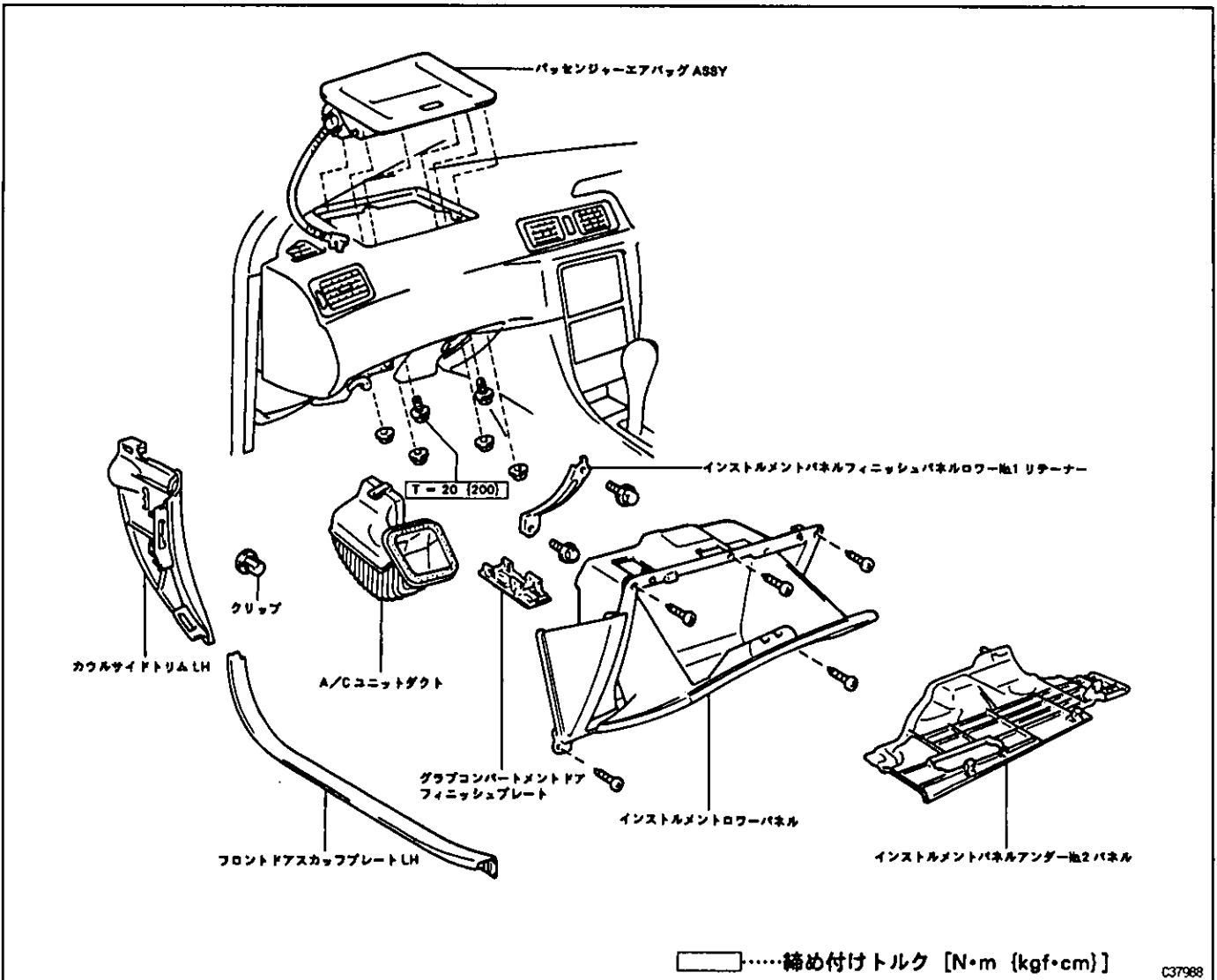
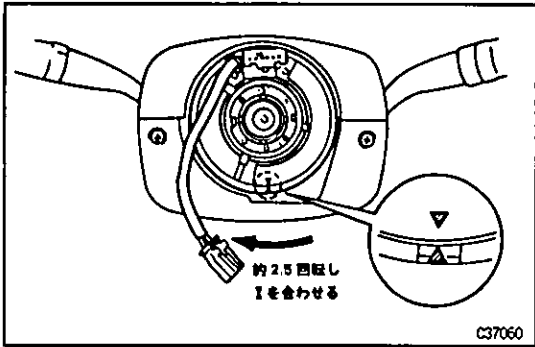
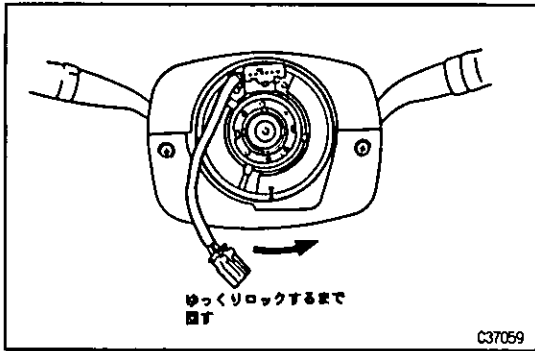
3 エアバッグウォーニングランプ確認

(「トラブルシューティング」—「ダイアグノーシス点検」参照)

パッセンジャーエアバッグ ASSY

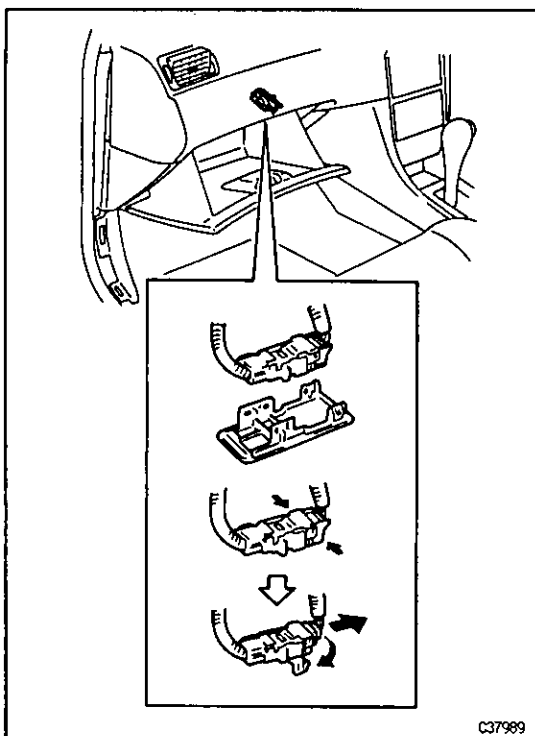
T0062647

脱着構成図

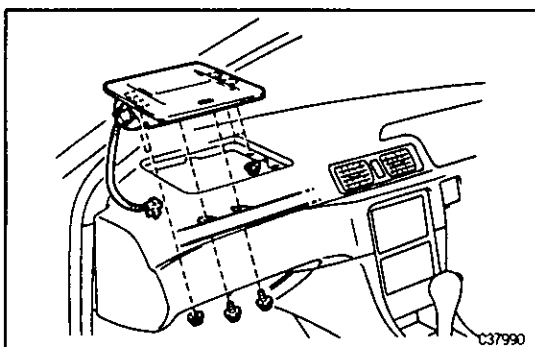


10

C37988



C37989



C37990

## パッセンジャーエアバッグ ASSY 取りはずし 作業上の留意点

### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

### 2 電源切り離し

(「注意事項」—「一般的な注意事項」参照)

### 3 グラブコンパートメントドアフィニッシュプレート 取りはずし

- (1) フィニッシュプレートを取りはずす。
- (2) コネクターをフィニッシュプレートから取りはずす。
- (3) エアバッグ用コネクターを切り離し、インストールパネルアンダー-No.2 カバーのオープニングホールに押し込む。

### 4 パッセンジャーエアバッグ ASSY 取りはずし

**注意** ・パッセンジャーエアバッグ ASSY はエアバッグ面を上に向けて置き、内部に異物等混入しないように保管および組み付けを行う。

・取り扱い・作業上の注意を確認する。

- (1) ボルト 2 本をはずし、パッセンジャーエアバッグ ASSY をインストールパネルラインホースメント ASSY から切り離す。
- (2) ナット 4 個およびツメのかん合をはずし、パッセンジャーエアバッグ ASSY をインストールパネル ASSY から取りはずす。

### 5 パッセンジャーエアバッグ ASSY 外観点検

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

## パッセンジャーエアバッグ ASSY 取り付け 作業上の留意点

### 1 パッセンジャーエアバッグ ASSY 組み付け

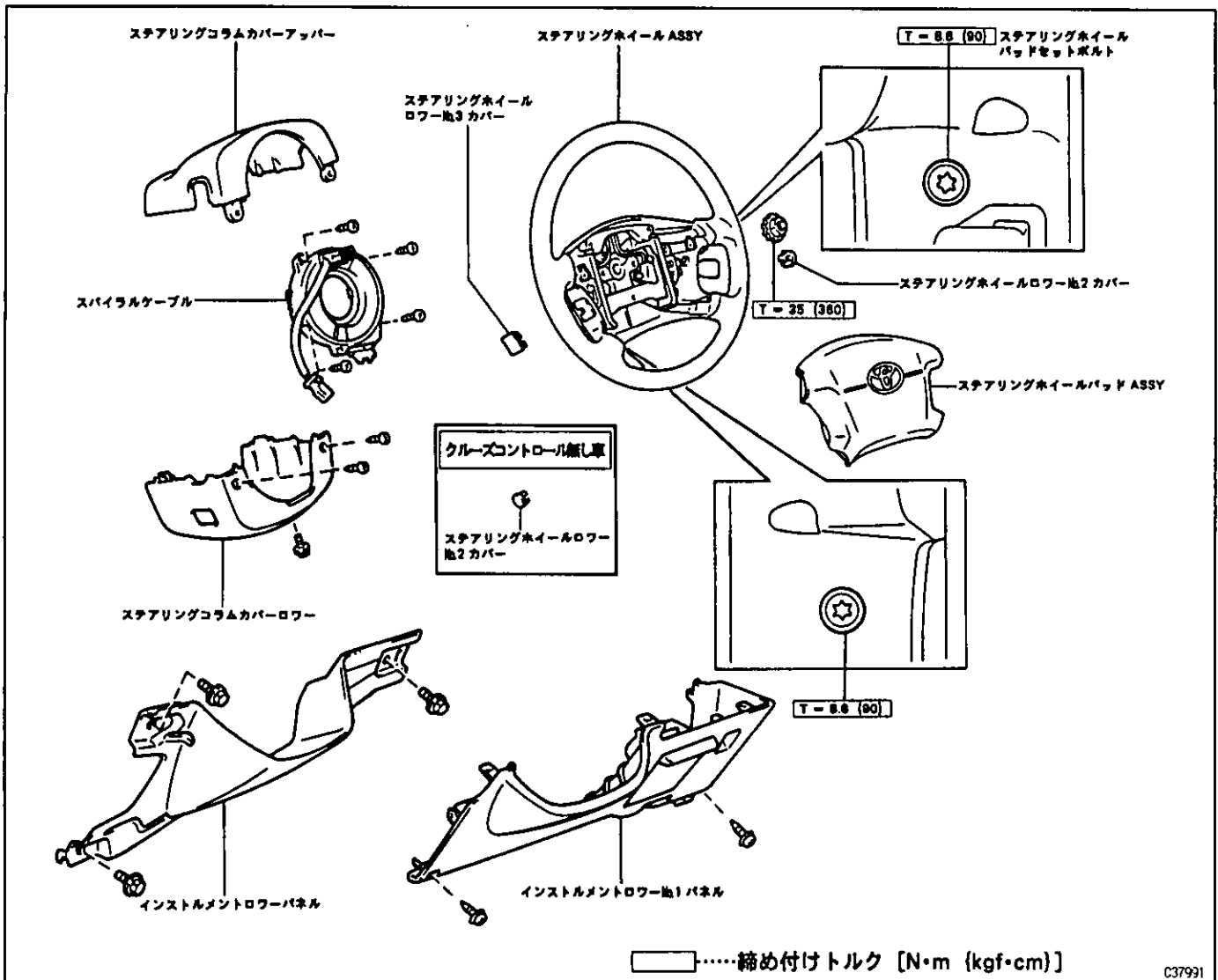
**注意** パッセンジャーエアバッグ ASSY はエアバッグ面を上に向けて置き、内部に異物などが混入しないように保管および組み付けを行う。

### 2 エアバッグウォーニングランプ確認

(「トラブルシューティング」—「ダイアグノーシス点検」参照)

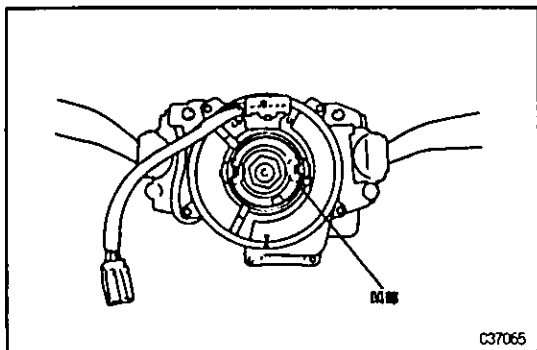
# スパイラルケーブル

## 脱着構成図



10

C37991



### スパイラルケーブル取り付け作業上の留意点

#### 1 スパイラルケーブル点検

(「単体点検」 - 「スパイラルケーブル」 参照)

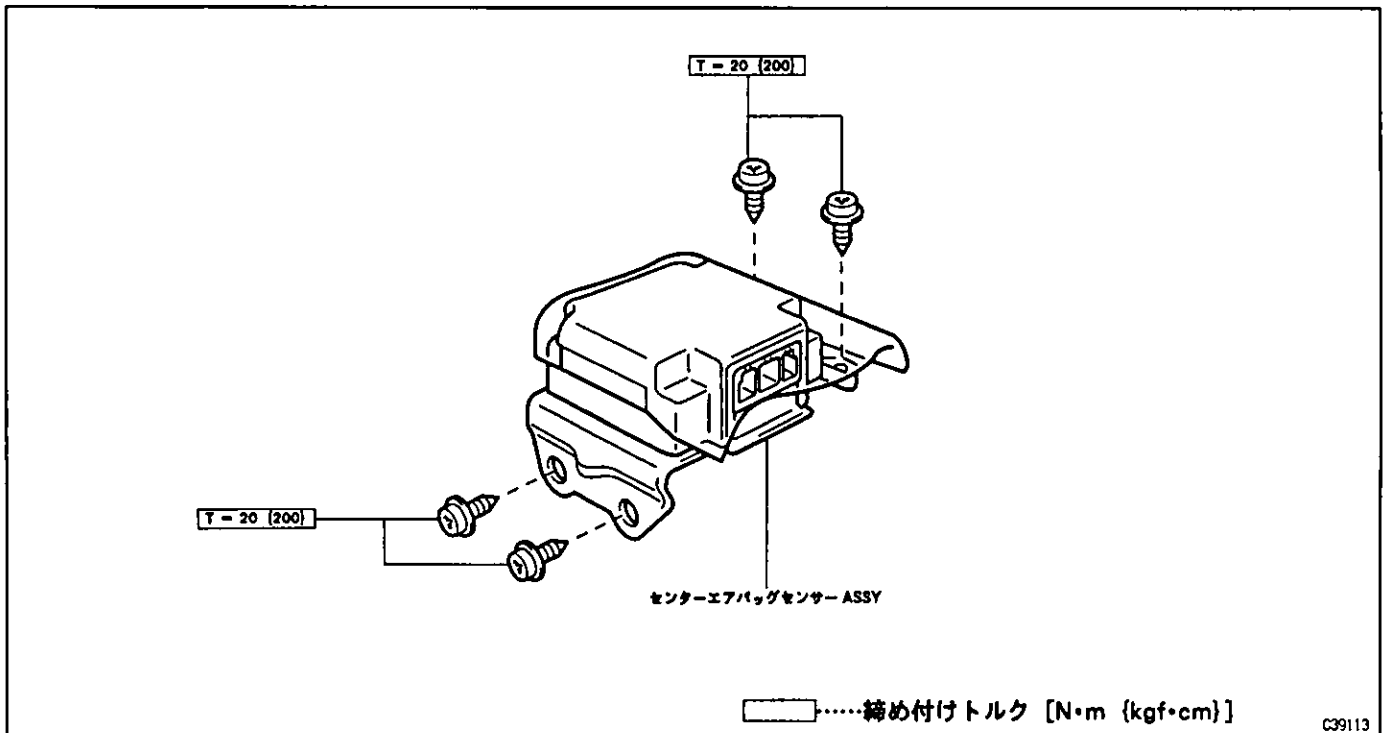
#### 2 スパイラルケーブル取り付け

(1) 図のようにキャンセルカムの凹に、ケーブルの凸を挿入してスクリュー4本およびコネクターを付け、ケーブルを取り付ける。

**注意** スパイラルケーブルを新品に交換する場合、ハンドルに取り付ける前にロックピンを抜く。

## センターエアバッグセンサー ASSY

## 脱着構成図



## センターエアバッグセンサー ASSY 取りはずし

## 作業上の留意点

## 1 取り扱い・作業上の注意確認

〔注意事項〕—「取り扱い・作業上の注意」参照

## 2 電源切り離し

〔注意事項〕—「一般的な注意事項」参照

## 3 センターエアバッグセンサー ASSY 取りはずし

**注意** コネクターの脱着は、バッテリーの⊖ターミナルをはずしてから 90 秒以上放置したことを確認してから行う。

- (1) エアバッグ用コネクターを切り離す。
- (2) トルクソケットレンチ (T40) を使用して、トルクスボルト 4 本をはずしセンサー ASSY を取りはずす。

## 4 センターエアバッグセンサー ASSY 外観点検

**基準** 次の項目に該当する場合はセンサー ASSY を新品と交換する

- ① センター ASSY を落下させた
- ② コネクター部のすり傷、ひび入り、割れ
- ③ センサーの変形、ひび入り、割れ

**注意** ・センサー ASSY 回路の抵抗測定は絶対に行わない。

・センサー ASSY は絶対に分解修理しない。

〔参考〕 センサーの電気的な点検で異常のある場合は、センサー ASSY を新品と交換する。

〔単体点検〕—「センターエアバッグセンサー ASSY」参照

## センターエアバッグセンサー ASSY 取り付け

## 作業上の留意点

## 1 センターエアバッグセンサー ASSY 取り付け

- (1) IGスイッチがOFF (LOCK) になっていることを確認する。
- (2) バッテリーの⊖ターミナルがはずしてあることを確認する。  
**注意** ターミナルをはずした場合はその後90秒間作業を始めない。
- (3) トルクソケットレンチ (T40) を使用して、センターエアバッグセンサー ASSY をトルクスボルト4本で取り付ける。
- (4) エアバッグ用コネクタを接続する。
- (5) センサー ASSY にガタがないことを確認する。
- (6) 防滴シートがめくれ上がったりかみ込んでいないか確認する。  
**注意** 防滴シートはコネクタ上を確実に覆っていること。

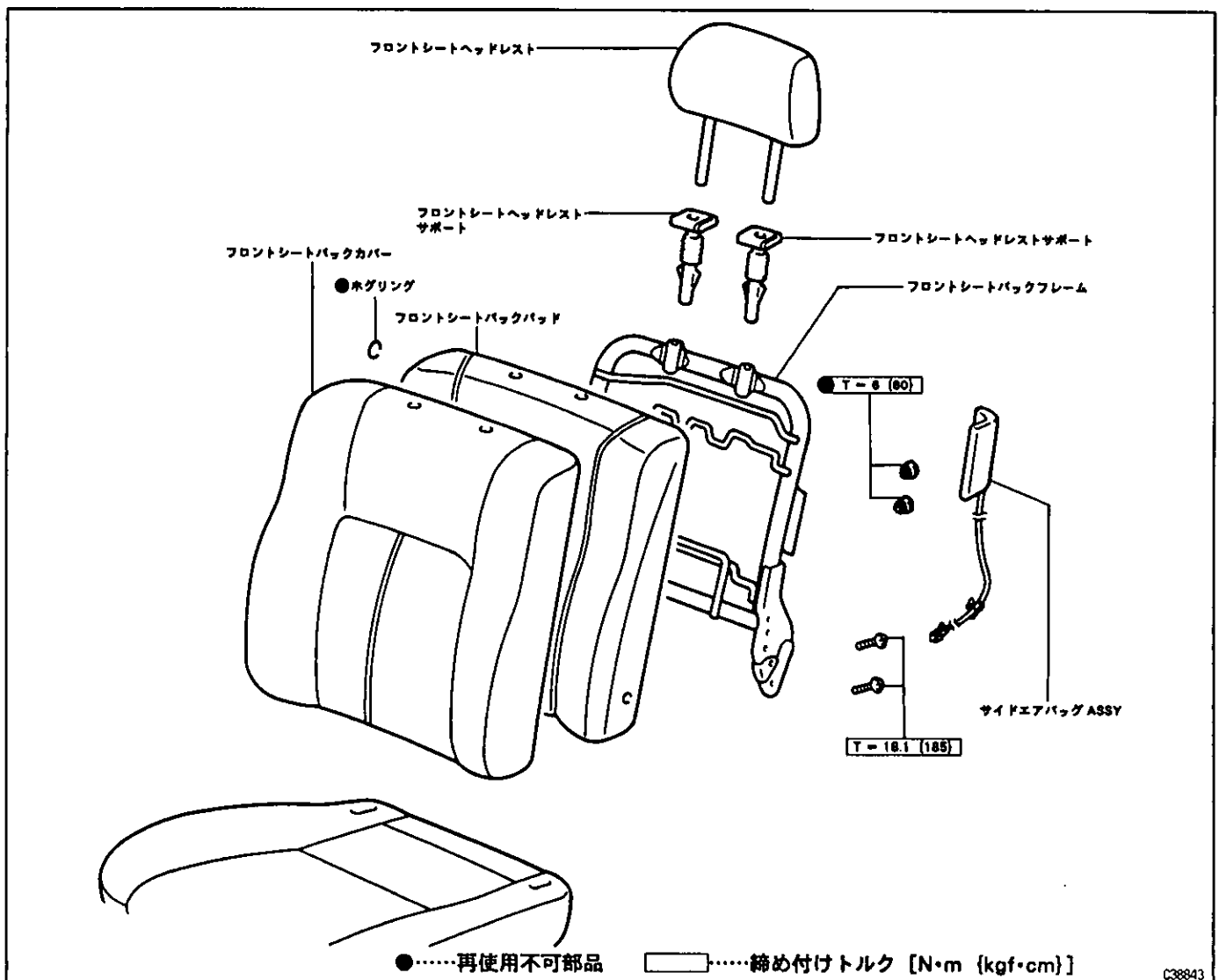
## 2 エアバッグウォーニングランプ確認

(「トラブルシューティング」—「ダイアグノーシス点検」参照)

## サイドエアバッグ ASSY

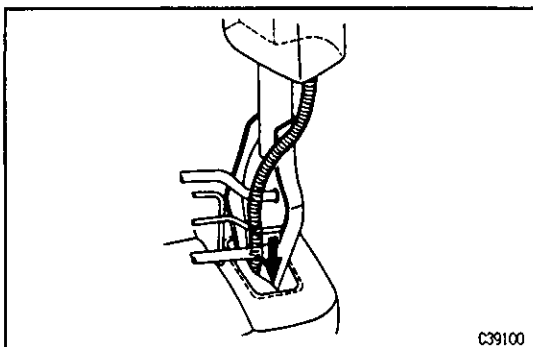
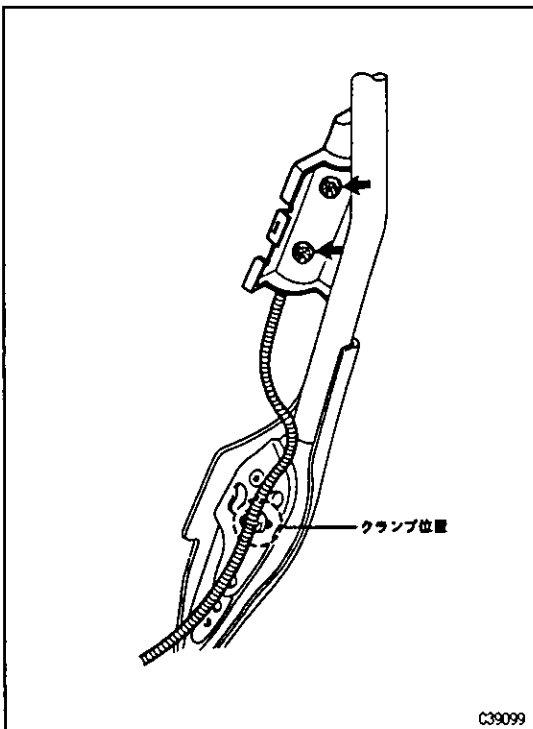
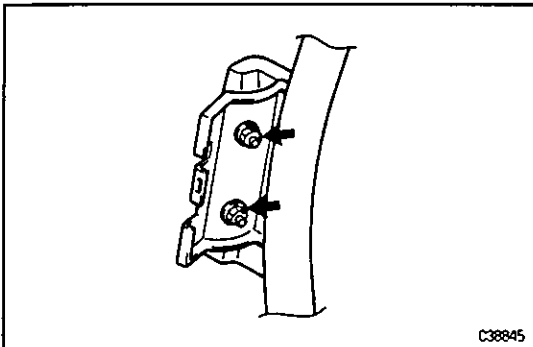
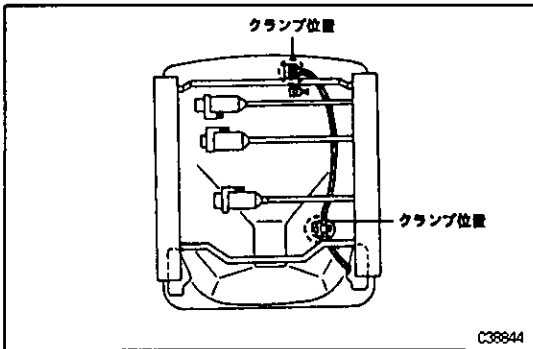
T0062866

## 脱着構成図



10

C38843



## サイドエアバッグ ASSY 取りはずし作業上の留意点

### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

### 2 電源切り離し

(「注意事項」—「全般的な注意事項」参照)

### 3 フロントシート取りはずし

(「ボデー」—「フロントシート」参照)

### 4 サイドエアバッグ ASSY 取りはずし

- (1) サイドエアバッグ用コネクタをブラケットから取りはずす。
- (2) クランプ2箇所をはずし、シート下からサイドエアバッグ用ワイヤハーネスを引き出す。
- (3) ナット2個をはずし、サイドエアバッグ ASSY を取りはずす。

### 5 サイドエアバッグ ASSY 外観点検

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

## サイドエアバッグ ASSY 取り付け作業上の留意点

**注意** シートバックカバーのフックがシートフレームに確実に取り付けられていないとサイドエアバッグ ASSY とシートバックカバーの位置関係がずれ、正常にサイドエアバッグが展開しない恐れがあるため以下の作業要領を遵守する。

(参考) サイドエアバッグはシートバックカバーの縫い目を破りバッグが展開するようになっている。フックをシートフレームにかけ、サイドエアバッグ ASSY を取り付けることにより位置関係を保つようになっている。

### 1 サイドエアバッグ ASSY 取り付け

- (1) ナット2個でサイドエアバッグ ASSY を取り付ける。
- (2) サイドエアバッグ用ワイヤハーネスをフロントシートバックフレームにクランプする。
- (3) フロントシートバックフレームにシートカバーをかぶせ、ホグリリングで取り付ける。

(「ボデー」—「フロントシート」参照)

- (4) サイドエアバッグ ASSY を取り付ける前にシートバックカバーのフックが確実にシートフレームに取り付けていることを確認する。

**注意** フックが取り付けしていない場合は、「カチッ」という音がするまでフックを取り付ける。

- (5) サイドエアバッグ用ワイヤハーネスをシートクッション孔から通す。
- (6) サイドエアバッグ用ワイヤハーネスをシートフレームにクランプさせる。
- (7) サイドエアバッグ用コネクタをブラケットに取り付ける。

### 2 フロントシート取り付け

(「ボデー」—「フロントシート」参照)

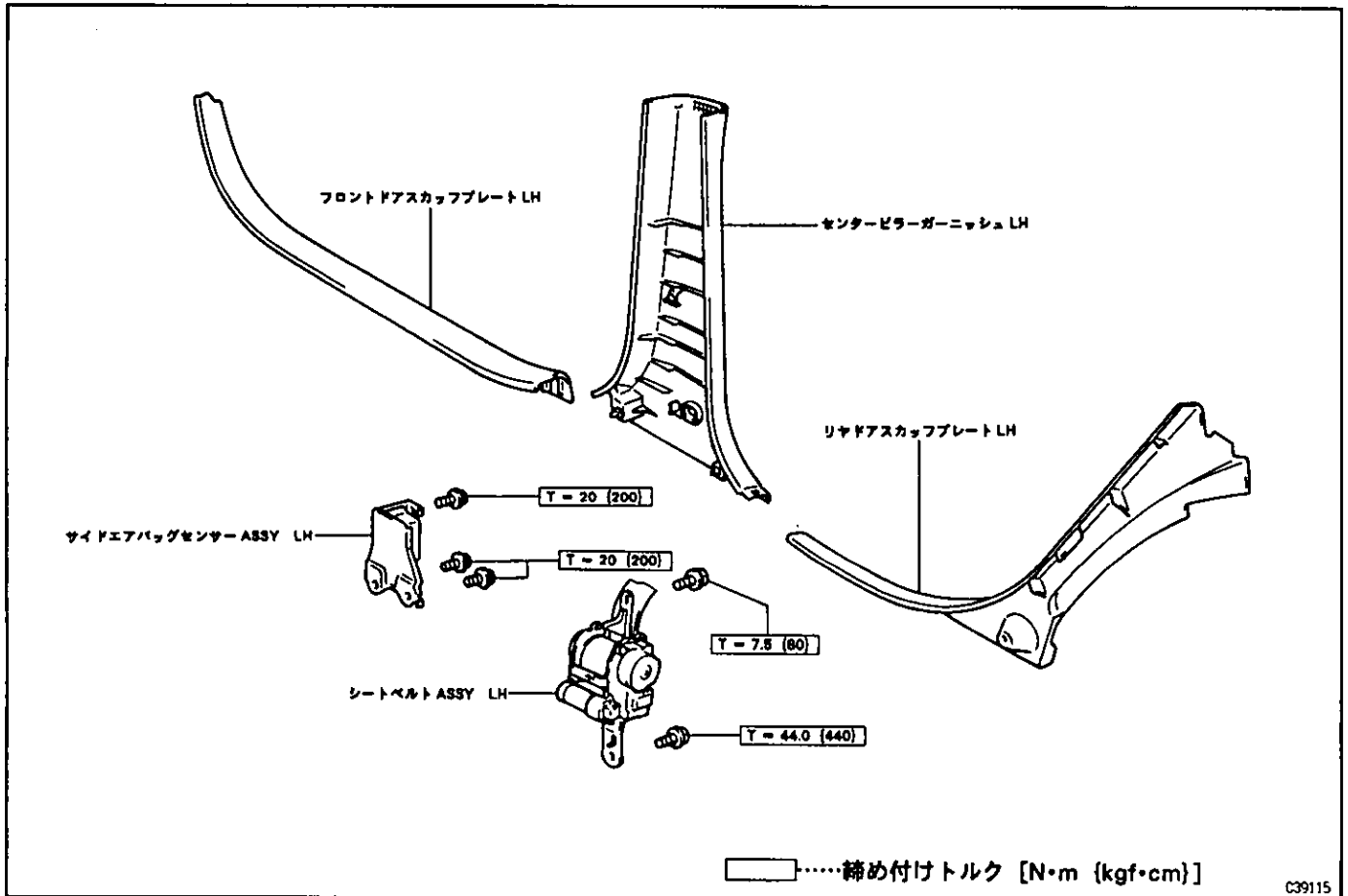
### 3 エアバッグウォーニングランプ確認

(「トラブルシューティング」—「ダイアグノーシス点検」参照)

## サイドエアバッグセンサー ASSY

T00E2546

## 脱着構成図



10

## サイドエアバッグセンサー ASSY

## 取りはずし作業上の留意点

## 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

## 2 電源切り離し

(「注意事項」—「全般的な注意事項」参照)

## 3 サイドエアバッグセンサー ASSY 取りはずし

- (1) エアバッグ用コネクターをサイドエアバッグセンサー ASSY から切り離す。
- (2) トルクソケットレンチ (T40) を使用して、トルクスボルト 3 本をはずしセンサー ASSY を取りはずす。

## 4 サイドエアバッグセンサー ASSY 外観点検

**基準** 次の項目に該当する場合はセンサー ASSY を新品と交換する。

- ① センサー ASSY を落下させた。
- ② コネクター部のすり傷、ひび入り、割れ。
- ③ センサーの変形、ひび入り、割れ。

- 注意**
- ・センサー ASSY 回路の抵抗測定は絶対に行わない。
  - ・センサー ASSY は絶対に分解修理しない。

(参考) センサーの電気的な点検で異常のある場合は、センサー ASSY を新品と交換する。

(「単体点検」—「センターエアバッグセンサー ASSY」参照)

## サイドエアバッグセンサー ASSY

## 取り付け作業上の留意点

## 1 サイドエアバッグセンサー ASSY 取り付け

- (1) IG スイッチが OFF (LOCK) になっていることを確認する。
- (2) バッテリーの⊖ターミナルがはずしてあることを確認する。

**注意** ターミナルをはずした場合はその後 90 秒間作業を始めない。

- (3) トルクソケットレンチ (T40) を使用して、サイドエアバッグセンサー ASSY をトルクスボルト 3 本で取り付ける。
- (4) サイドエアバッグセンサー ASSY にコネクターを接続する。

**注意** コネクターをかみ込ませない。

- (5) サイドエアバッグセンサー ASSY にガタがないことを確認する。

## 2 エアバッグウォーニングランプ確認

(「トラブルシューティング」—「ダイアグノーシス点検」参照)

## 単体点検

T0062500

## スパイラルケーブル

## 1 スパイラルケーブル点検

- (1) スパイラルケーブルコネクター各端子間の抵抗値を測定する。

**基準**

| 測定条件   | 測定端子記号                          | 抵抗値  |
|--|---------------------------------|------|
| 通常状態   | D <sup>+</sup> ↔ D <sup>+</sup> | 1Ω以下 |
| ショート機構解除<br>(「コネクターショート機構」—<br>「コネクターショート機構<br>の解除」参照) | D <sup>+</sup> ↔ D <sup>-</sup> | ∞Ω   |
| 通常状態   | D <sup>+</sup> ↔ D <sup>-</sup> | 1Ω以下 |
| 通常状態   | D <sup>-</sup> ↔ D <sup>-</sup> | 1Ω以下 |

JA1900

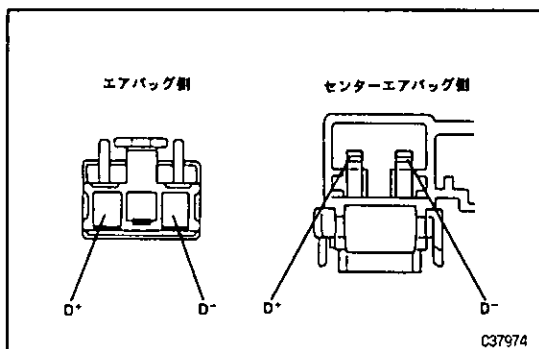
**注意** テスターリードは端子に強く接触しない。

## センターおよびサイドエアバッグセンサー ASSY

## 1 センターおよびサイドエアバッグセンサー ASSY 点検

- (1) センターおよびサイドエアバッグセンサー ASSY の点検はトラブルシューティングの指示に従って行う。

(「トラブルシューティング」—「トラブルシューティングの進め方」参照)



C37974

## エアバッグ、シートエアバッグおよび プリテンショナー廃却時の注意

エアバッグ（ステアリングホイールパッドおよび  
パッセンジャーエアバッグ）、シートエアバッグ  
およびプリテンショナー廃却時の注意

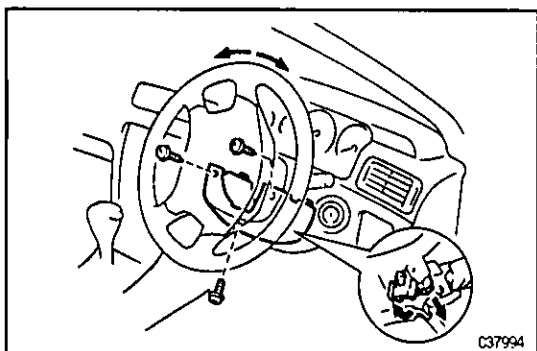
- 1 屋外の安全を確保できる場所で行う。
- 2 エアバッグおよびプリテンショナーを展開する場合は、SSTを使用してステアリングホイールパッド、パッセンジャーエアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナーから5 m以上離れる。
- 3 展開したバッグおよびプリテンショナーは大変高温になっているため展開後30分は放置しておく。
- 4 展開したエアバッグおよびプリテンショナーに水などをかけない。
- 5 展開したエアバッグおよびプリテンショナーの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
- 6 展開したエアバッグおよびプリテンショナーはビニール袋に入れて密閉し廃棄する。
- 7 作業終了時は、必ず手を水洗いする。
- 8 絶対に未展開の状態ですテアリングホイールパッド、パッセンジャーエアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナーを廃棄しない。
- 9 すでに展開したステアリングホイールパッド、パッセンジャーエアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナーを廃棄する場合も「エアバッグ廃却」の要領で作業を実施する。

10

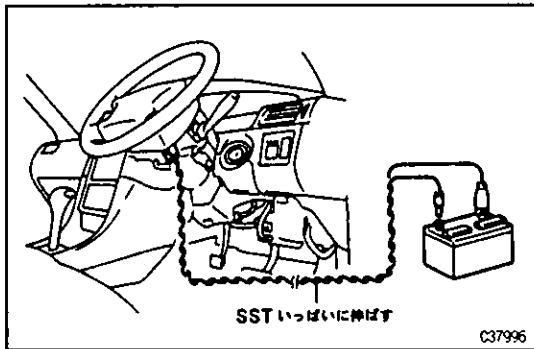
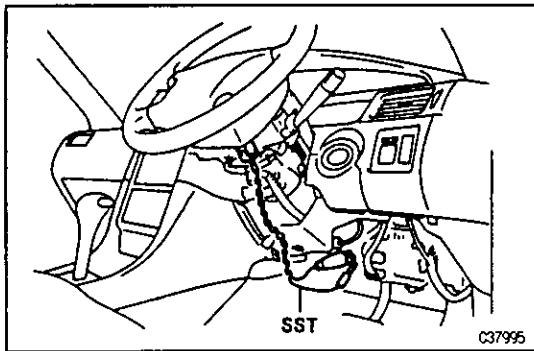
## エアバッグ (ステアリングホイールパッド) 廃却

エアバッグシステム装着車廃車時の展開要領

- 1 取り扱い・作業上の注意確認  
(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)
- 2 電源切り離し  
(「注意事項」—「全般的な注意事項」参照)
- 3 インストルメントローワーNo.1パネル取りはずし
- 4 インストルメントローワーパネル  
(3, 4は「ボデー」—「インストルメントパネル ASSY」参照)
- 5 ステアリングコラムカバーローワー取りはずし
  - (1) ステアリングホイールを左右に90°回転させコラムカバー上面のスクリュー2本をはずす。
  - (2) スクリューをはずし、ステアリングコラムカバーローワーを取りはずす。
- 6 エアバッグ用コネクター切り離し
  - (1) スパイラルケーブルからエアバッグ用コネクターを切り離す。



C37994



## 7 エアバック展開

**注意** ステアリングホイールおよびステアリングホイールパッドに  
ガタがないことを確認する。

- (1) SST のワニ口と端子をショートさせる。

S S T 09082-00710

- (2) SST のコネクタとエアバッグ用コネクタ（黄色の 2P）を接続する。

- (3) SST を車両からいったいに伸ばした位置にバッテリーを置く。

**注意** ・このとき全ドアおよびウィンドウは、閉じる。

・車室内および周囲に人がいないことを確認する。

- (4) もう一度車室内および周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。

- (5) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、エアバッグを展開する。

**注意** 展開前に必ず大きな声で注意を促す。

## ステアリングホイールパッド単品廃却時の展開要領

**注意** ・作業はイグニッションスイッチを OFF (LOCK) し、バッテリーの⊖ターミナルをはずした後 90 秒経過してから開始する。

・作業時などパッドを一時的にでも取りはずす場合は、二重ロックタイプコネクタをロックし、必ずパッド面を上にして保管する。またパッドの上に物を置いたり、パッドの重ね置きをしない。

・エアバッグの展開作業は必ず屋外で行う。

### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

### 2 電源切り離し

(「注意事項」—「全般的な注意事項」参照)

### 3 ステアリングホイールパッド取りはずし

(「ステアリング」—「チルトステアリングコラム ASSY」

—「ステアリングホイールパッド取りはずし」参照)

### 4 ステアリングホイールパッドコネクタ取りはずし

- (1) ステアリングホイールパッド裏面のコネクタをインフレーターカバーから取りはずす。

### 5 ステアリングホイールパッド固定

- (1) ステアリングホイールパッドの取り付け穴 2 個に、それぞれプレートワッシャーを通したボルトを手で十分に締め付ける。

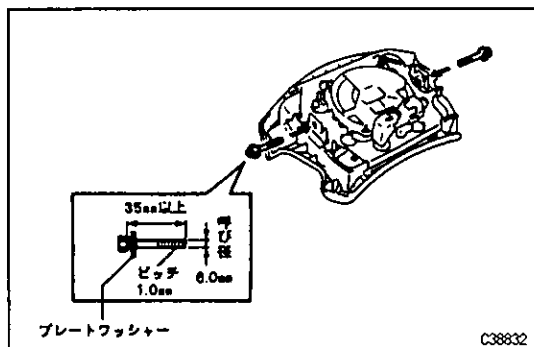
ボルト 首下長さ 35mm 以上、ピッチ 1.0mm、呼び径 6.0mm

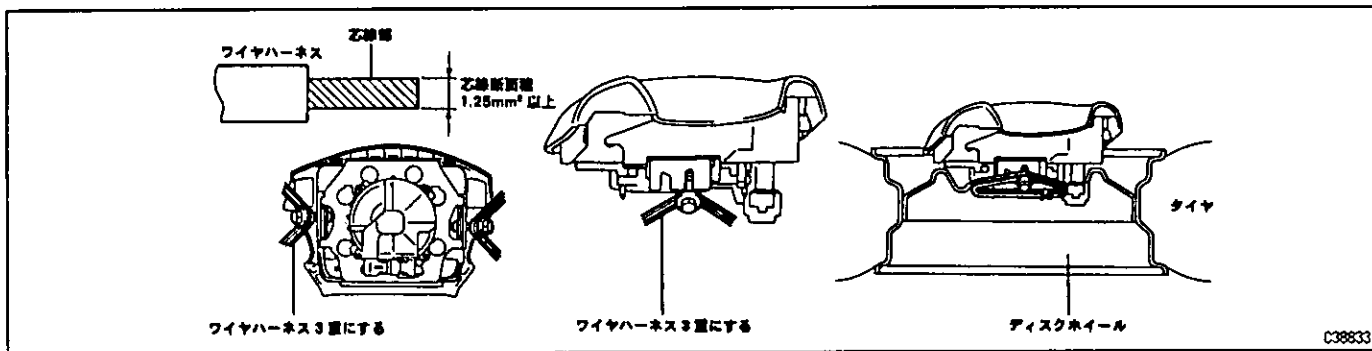
- (2) 自動車ワイヤハーネス（芯線断面積 1.25mm<sup>2</sup>以上）を使用してディスクホイールにステアリングホイールパッドを固定する。

**注意** 次の指示を厳守する。指示に従わない場合、展開したエアバッグが飛び非常に危険である。

- ① エアバッグ展開時、ワイヤハーネスには約 1 トンの力が加わるためワイヤハーネスを 3 重にしてしっかりと固定する。

- ② 必ずエアバッグ展開面が上を向くように取り付ける。



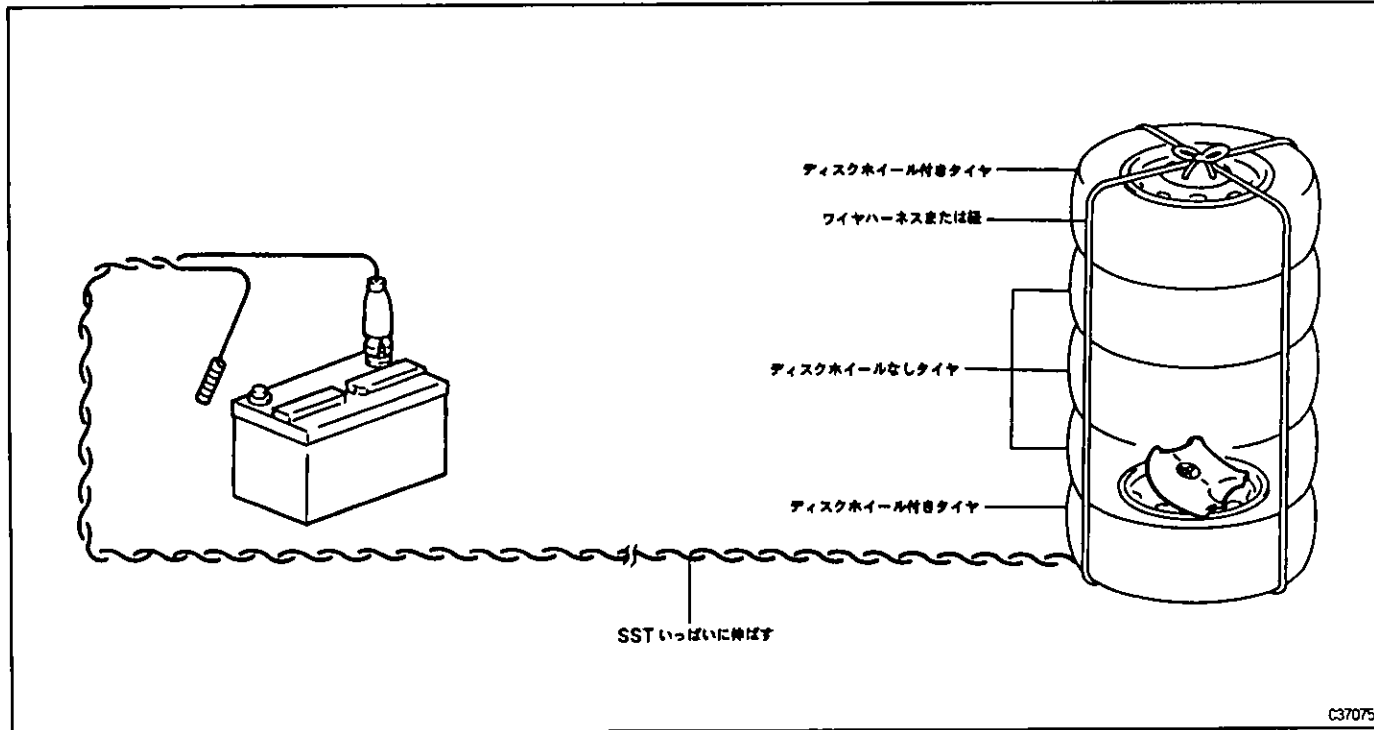


## 6 エアバッグ展開

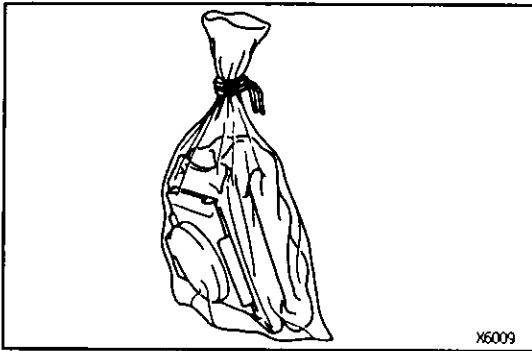
**注意** エアバッグの展開作業は必ず屋外で行う。

- (1) SST のワニ口と端子をショートさせる。  
SST 09082-00710
- (2) SST のコネクタとエアバッグ用コネクタ（黄色の 2P）をディスクホイールの下側で接続する。
- (3) 図のようにステアリングホイールパッドを固定したディスクホイールの上にタイヤを 3 本以上重ね、一番上にディスクホイール付きのタイヤを置く。
- (4) タイヤ相互をワイヤハーネスや紐などで固定し展開時の飛散防止を図る。
- (5) もう一度周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。
- (6) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、エアバッグを展開する。

**注意** 展開前に必ず大きな声で注意を促す。



10



X6009

## エアバッグ廃却要領

- (1) 展開したエアバッグはビニール袋に入れて密閉し廃棄する。
- 注意**
- ・展開したエアバッグは大変高温になっているため展開後 30 分は放置しておく。
  - ・展開したエアバッグに水などをかけない。
  - ・展開したエアバッグの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
  - ・作業終了時には、必ず手を水洗いする。

絶対に未展開の状態でステアリングホイールパッドを廃棄しない

## パッセンジャーエアバッグ ASSY

### (助手席側エアバッグ) 廃却

#### エアバッグシステム装着車を廃車する場合

#### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

#### 2 電源切り離し

(「注意事項」—「一般的な注意事項」参照)

#### 3 グラブコンパートメントドアフィニッシュプレート取りはずし

- (1) フィニッシュプレートを取りはずす。
- (2) コネクターをフィニッシュプレートから取りはずす。
- (3) エアバッグ用コネクターを切り離し、インストルメントパネルアンダーNo2 カバーのオープニングホールに押し込む。

#### 4 エアバッグ展開

**注意** パッセンジャーエアバッグ ASSY にガタがないことを確認する。

- (1) SST のワニ口と端子をショートさせる。  
S S T 09082-00710
- (2) SST のコネクターとコネクター (黄色の 2P) を接続する。
- (3) SST を車両からいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。  
**注意** ・このとき全ドアおよびウィンドウは、閉じる。  
・車室内および周囲に人がいないことを確認する。
- (4) もう一度車室内および周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。
- (5) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、エアバッグを展開する。  
**注意** 展開前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

#### パッセンジャーエアバッグ ASSY

#### 単品廃却時の展開要領

#### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

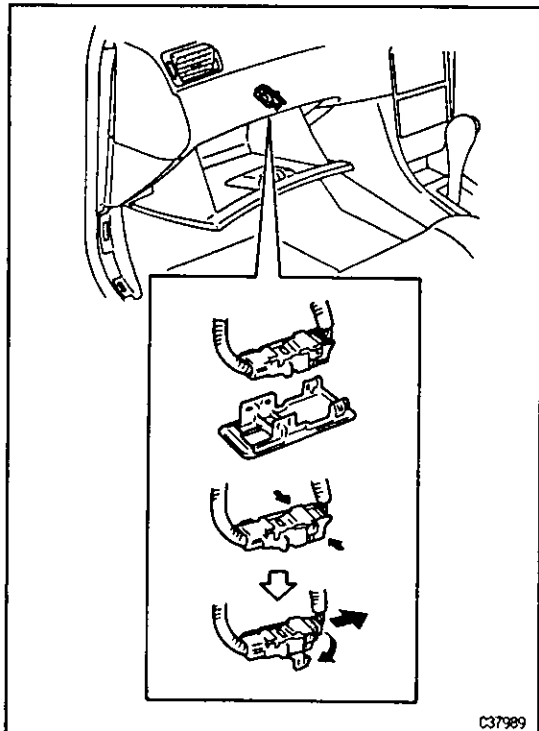
#### 2 電源切り離し

(「注意事項」—「一般的な注意事項」参照)

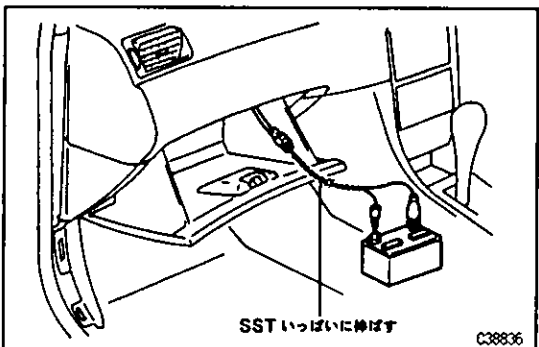
#### 3 パッセンジャーエアバッグ ASSY 取りはずし

(「パッセンジャーエアバッグ ASSY」

—「パッセンジャーエアバッグ ASSY 取りはずし作業上の留意点」参照)

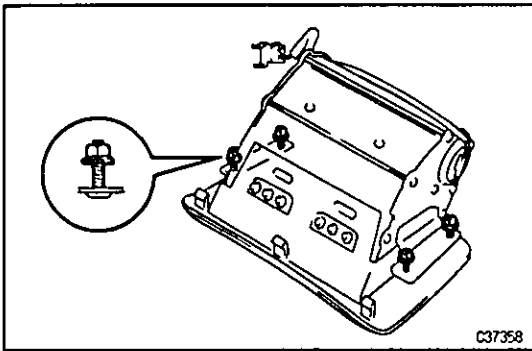


C37989



SST いっばいに伸ばす

C38836



#### 4 パッセンジャーエアバッグ ASSY 固定

- (1) パッセンジャーエアバッグ ASSY 取り付けナット 4 個を取り付ける。
- (2) 自動車ワイヤハーネス (芯線断面積 1.25mm<sup>2</sup>以上) を使用してタイヤにパッセンジャーエアバッグ ASSY を固定する。

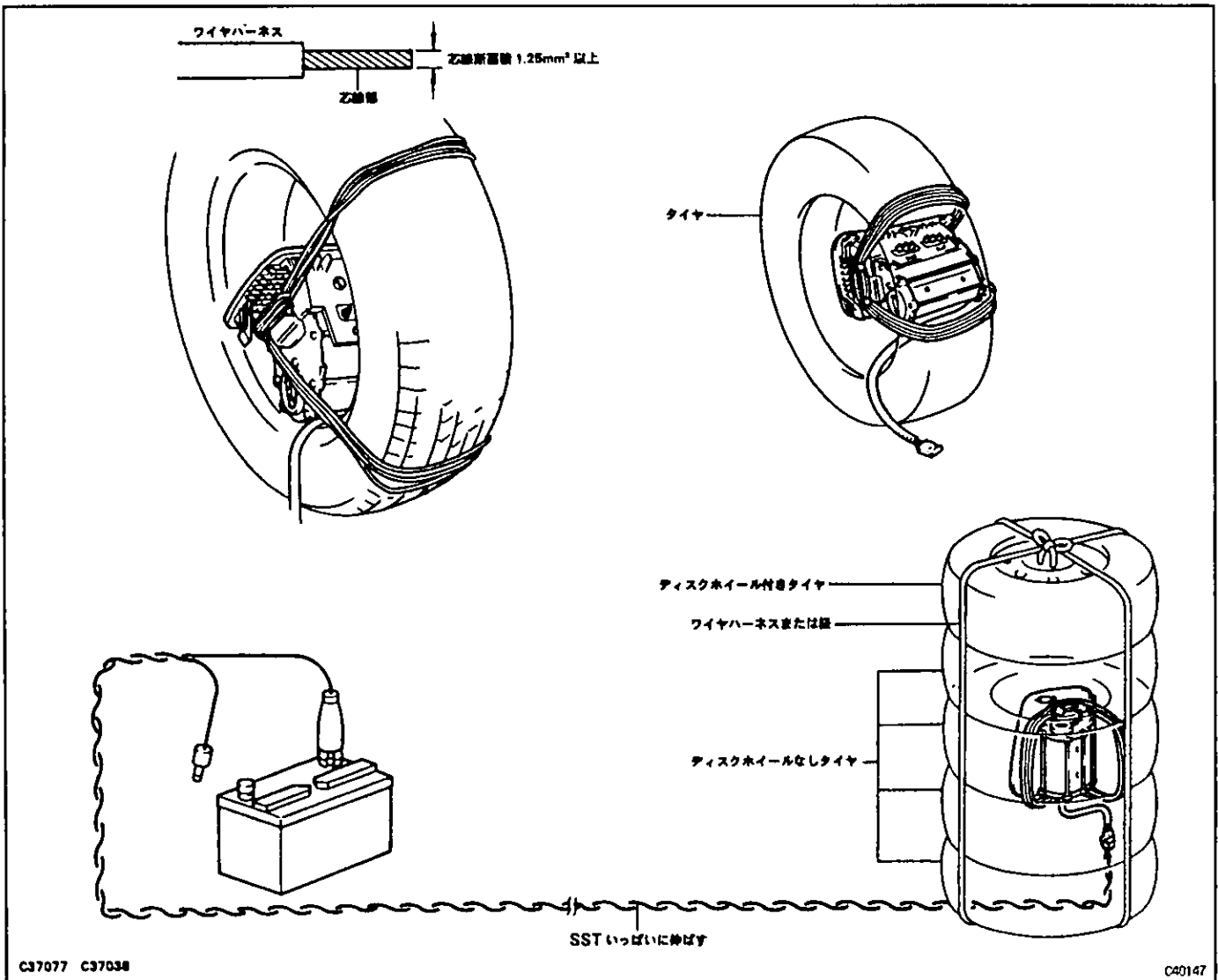
**注意** 次の指示を厳守する。指示に従わない場合、展開したエアバッグが飛び非常に危険である。

- ① エアバッグ展開時、ワイヤハーネスには約 1 トンの力が加わるためワイヤハーネスを 3 重にしてしっかりと固定する。
- ② 必ずエアバッグ展開面がタイヤ中心を向くように取り付ける。

#### 5 パッセンジャーエアバッグ展開

**注意** パッセンジャーエアバッグの展開作業は必ず屋外で行う。

- (1) SST のワニ口と端子をショートさせる。  
S S T 09082-00710
- (2) SST のコネクターとエアバッグ用コネクター (黄色の 2P) を接続する。



- (3) 図のようにタイヤを2本重ねた上に、パッセンジャーエアバッグ ASSY を固定したタイヤを重ね、さらにその上にタイヤ1本以上と、一番上にディスクホイール付きのタイヤを置く。
- (4) タイヤ相互をワイヤハーネスや紐などで固定し展開時の飛散防止を図る。
- (5) SST をパッセンジャーエアバッグからいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。
- (6) もう一度周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。
- (7) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、パッセンジャーエアバッグを展開する。

**注意** 展開前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

### パッセンジャーエアバッグ廃却要領

- (1) 展開したエアバッグはビニール袋に入れて密閉し廃棄する。
  - 注意** ・展開したエアバッグは大変高温になっているため展開後 30 分は放置しておく。
  - ・展開したエアバッグに水などをかけない。
  - ・展開したエアバッグの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
  - ・作業終了時には、必ず手を水洗いする。

絶対に未展開の状態でパッセンジャーエアバッグを廃棄しない

T0021607

### サイドエアバッグ廃却

#### サイドエアバッグシステム装着車廃却時の展開要領

#### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

#### 2 電源切り離し

(「注意事項」—「全般的な注意事項」参照)

#### 3 フロントシート取りはずし

(「ボデー」—「フロントシート」参照)

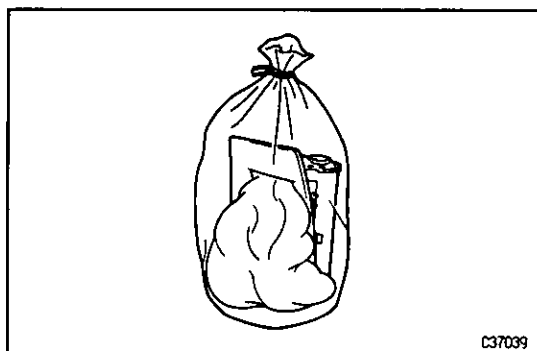
#### 4 サイドエアバッグ用コネクター切り離し

- (1) シート裏のサイドエアバッグ用コネクターを切り離す。

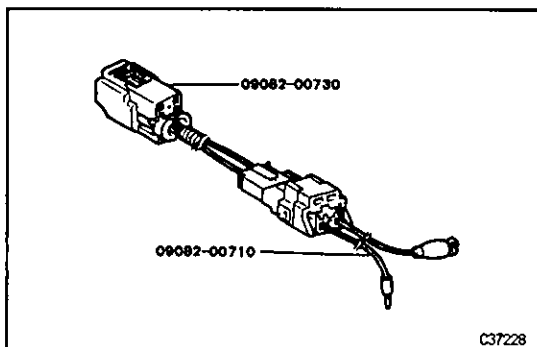
#### 5 サイドエアバッグ展開

- (1) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス1を取り付ける。  
S S T 09082-00710 09082-00730
- (2) SST のワニ口と端子をショートさせる。
- (3) SST のコネクターとエアバッグ用コネクター (黄色の 2P) を接続する。
- (4) ボルト 4 本でフロントシートを取り付ける。
- (5) SST を車両からいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。
  - 注意** ・このとき全ドアおよびウィンドウを閉じる。
  - ・車室内および周囲に人がいないことを確認する。
- (6) もう一度車室内および周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。
- (7) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、エアバッグを展開する。

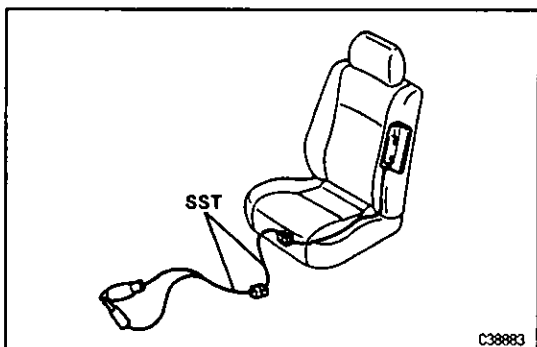
**注意** 展開前に必ず大きな声で注意を促す。



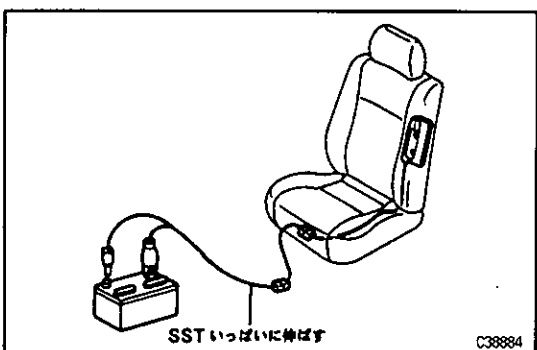
C37039



C37228



C38883



C38884

サイドエアバッグ単品廃却時の展開要領

- **注意** ・作業はイグニッションスイッチを OFF (LOCK) し、バッテリーの⊖ターミナルをはずした後 90 秒経過してから開始する。
- ・サイドエアバッグの展開作業は必ず屋外で行う。

1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

2 電源切り離し

(「注意事項」—「全般的な注意事項」参照)

3 サイドエアバッグ ASSY 取りはずし

(「サイドエアバッグ」—「サイドエアバッグ ASSY 取りはずし作業上の留意点」参照)

4 サイドエアバッグ ASSY 固定

- (1) サイドエアバッグ取り付けナット 2 個を取り付ける。
- (2) 自動車ワイヤハーネス (芯線断面積 1.25mm<sup>2</sup>以上) を使用してタイヤにサイドエアバッグ ASSY を固定する。

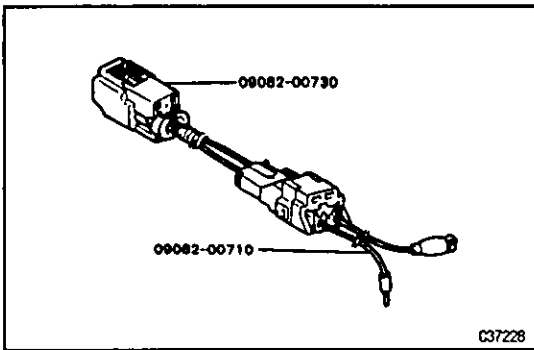
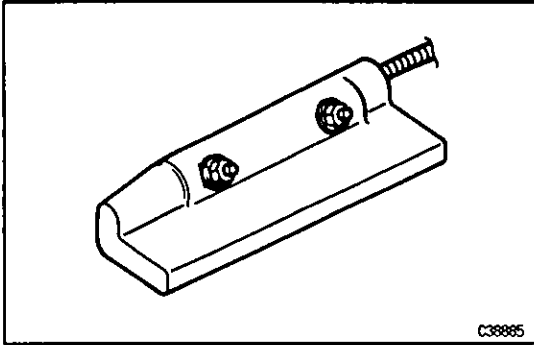
● **注意** 次の指示を厳守する。指示に従わない場合、展開したサイドエアバッグが飛び非常に危険である。

- ① エアバッグ展開時、ワイヤハーネスには約 1 トンの力が加わるためワイヤハーネスを 3 重にしてしっかりと固定する。
- ② 必ず展開面がタイヤ中心を向くように取り付ける。

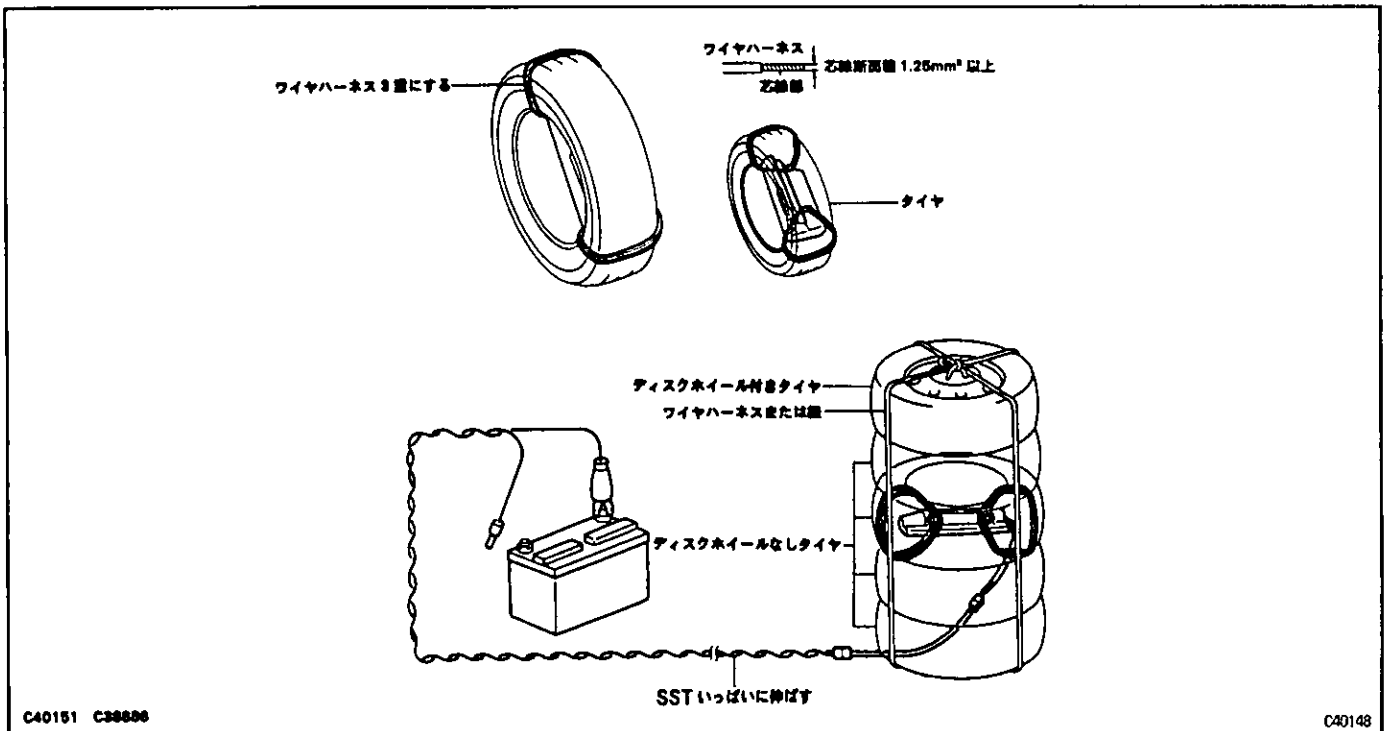
5 サイドエアバッグ展開

● **注意** サイドエアバッグの展開作業は必ず屋外で行う。

- (1) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス 1 を取り付ける。  
S S T 09082-00710 09082-00730
- (2) SST のワニ口と端子をショートさせる。
- (3) SST のコネクターとエアバッグ用コネクター (黄色の 2P) を接続する。



10



- (4) 図のようにタイヤを2本を重ねた上に、サイドエアバッグ ASSY を固定したタイヤを重ね、さらにその上にタイヤ1本以上と一番上にディスクホイール付きのタイヤを置く。
- (5) タイヤ相互をワイヤハーネスや紐などで固定し展開時の飛散防止を図る。
- (6) SST をサイドエアバッグからいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。
- (7) もう一度車室内および周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。
- (8) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、エアバッグを展開する。

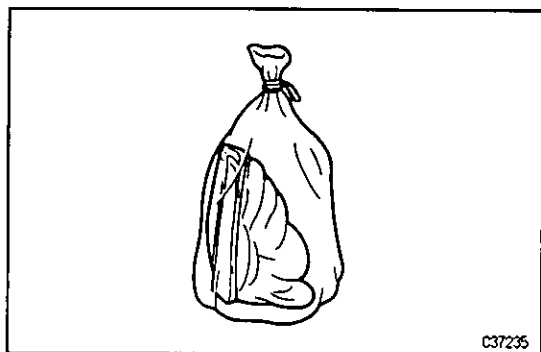
**注意** 展開前に必ず大きな声で注意を促す。

### サイドエアバッグ廃却要領

- (1) 展開したサイドエアバッグはビニール袋に入れて密閉し廃棄する。

- 注意**
- ・展開したサイドエアバッグは大変高温になっているため展開後 30 分は放置しておく。
  - ・展開したサイドエアバッグに水などをかけない。
  - ・展開したサイドエアバッグの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
  - ・作業終了時には、必ず手を水洗いする。

絶対に未展開の状態ですべてサイドエアバッグを廃棄しない



C37235

## プリテンショナー

TOOLS 143

### (シートベルト ASSY) 廃却

#### プリテンショナー装着車廃車時の展開要領

##### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」 - 「取り扱い・作業上の注意」参照)

##### 2 電源切り離し

(「注意事項」 - 「全般的な注意事項」参照)

##### 3 センターピラーローガーニッシュ取りはずし

(「ボデー」 - 「ルーフヘッドライニング」参照)

##### 4 プリテンショナー展開

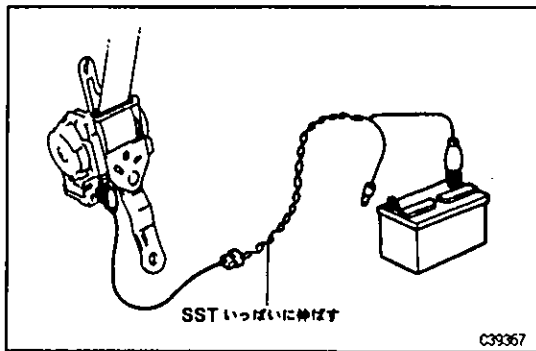
- (1) シートベルトをセットする。

- 注意**
- ・インナーベルト取り付け部にガタがないことを点検する。
  - ・シートベルトにたるみがないことを点検する。

- (2) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス2を取り付ける。

S S T 09082-00710 09082-00740

- (3) SST のワニ口と端子ををショートさせる。
- (4) SST のコネクターとプリテンショナーのコネクターを接続する。



- (5) SST を車両からいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。  
**注意** ・このとき全ドアおよびウィンドウは閉じる。  
 ・車室内および周囲に人がいないことを確認する。
- (6) もう一度周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。
- (7) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、プリテンショナーを展開する。  
**注意** 展開前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

## プリテンショナー (シートベルト ASSY)

### 単品廃却時の展開要領

#### 1 取り扱い・作業上の注意確認

(「注意事項」—「取り扱い・作業上の注意」参照)

#### 2 電源切り離し

(「注意事項」—「全般的な注意事項」参照)

#### 3 プリテンショナー (シートベルト ASSY) 取りはずし

(「ボデー」—「フロント&リヤシートベルト」参照)

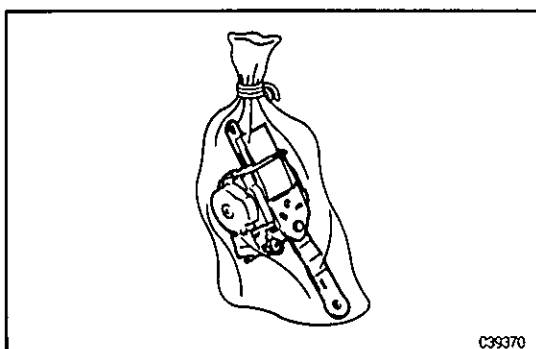
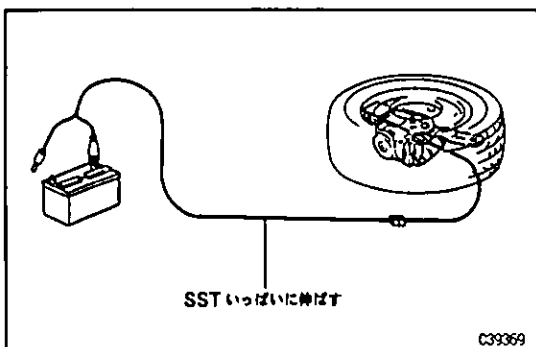
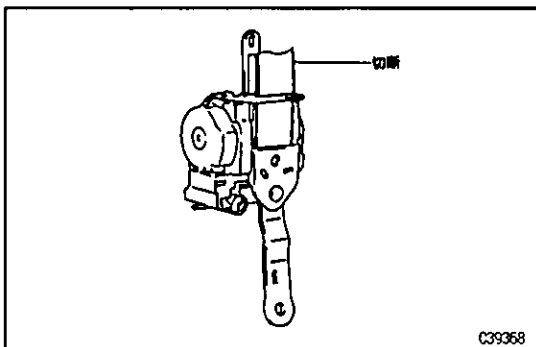
#### 4 プリテンショナー展開

- (1) シートベルトをリトラクター部の所で切断する。
- (2) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス2を取り付ける。  
 SST 09082-00710 09082-00740
- (3) SST のワニ口と端子ををショートさせる。
- (4) SST のコネクターとプリテンショナーのコネクターを接続し、コネクター側を上にして地面に置く。
- (5) ディスクホイール付きタイヤ1本をプリテンショナーにかぶせる。
- (6) SST をプリテンショナーからいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く
- (7) もう一度周囲の安全を確認したのち、SST のワニ口をバッテリーの⊖に接続する。
- (8) SST の端子をバッテリーの⊕に接続し、プリテンショナーを展開する。  
**注意** 展開前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

### プリテンショナー廃却要領

- (1) 展開したプリテンショナーはビニール袋に入れ密封し廃却する。  
**注意** ・展開したプリテンショナーは大変高温になっているため展開後 30 分は放置しておく  
 ・展開したプリテンショナーに水などをかけない。  
 ・展開したプリテンショナーを取り扱う時は、保護めがねおよび手袋を着用する。  
 ・作業終了時には、必ず手を水洗いする。

絶対に未展開の状態ではプリテンショナーを廃棄しない



10

## センターおよび サイドエアバッグセンサー ASSY 廃却

- **注意** ・衝突によりエアバッグが展開した場合は、必ずセンサー ASSY を交換する。
- ・コネクタの脱着およびセンサー ASSY の脱着は、必ずバッテリーの⊖ターミナルをはずした後、90 秒以上経過していることを確認してから行う。